

TEPRA

TEPRA Label Editor SPC10 取扱説明書

セットアップ

基本

機能

付録

本書はWindows用「TEPRA Label Editor SPC10」について説明しております。
iOS/Android、macOS用のラベルソフトについては、当社ホームページ
(<https://www.kingjim.co.jp/>) をご覧ください。



はじめに

このたびは、「テプラ」をお買い上げいただき、ありがとうございます。

「TEPRA Label Editor SPC10」をお使いいただく際は、本書をよくお読みになり、正しくお使いください。

「TEPRA Label Editor SPC10」を本書とともに末永くご愛用いただきますよう、心からお願ひ申し上げます。

- ソフトウェア使用許諾契約書につきましては、インストール時にご確認ください。
- 本製品の使用を原因とする損害・逸失利益などにつきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書は、Windows 用「TEPRA Label Editor SPC10」について書かれています。Windows 用「写真情報ラベルソフト TEPRA Exif Labeler」、iOS/Android、macOS 用「TEPRA LINK 2」、macOS 用「写真情報ラベルソフト TEPRA Exif Labeler」については、当社ホームページ (<https://www.kingjim.co.jp/>) をご覧ください。また、対応する「テプラ」本体の機能や操作およびテープカートリッジの使いかたについては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 本書は、基本ソフト Windows 11/10 のいずれかがコンピュータにセットアップされていること、またそれらのコンピュータを使用するうえでの基本的な用語や操作について、既に理解されていることを前提に書かれています。用語や基本操作などについての不明な点は、ご使用いただいているコンピュータや OS のマニュアルなどをご覧ください。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書は「TEPRA Label Editor SPC10」の完成前に作成されるため、一部仕様と異なる箇所が存在する可能性があります。
また、実際の画面とは異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書の作成には万全を期しておりますが、万一、ご不明な点などお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

!! 注意 !!

本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

キングジム、KING JIM、テプラ、TEPRA は株式会社キングジムの商標または登録商標です。
Microsoft、Windows、Excel は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

macOS は Apple Inc. の商標です。

QR コードは、株式会社デンソーウエーブの登録商標です。

Google、Android は Google LLC の商標です。

Bluetooth ワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、(株) キングジムはこれらの商標を使用する許可を受けています。

PANDUIT、回転ラベルは Panduit Corporation の登録商標です。

その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

●安全上のご注意…必ずお守りください！

お使いになる方々や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

ご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、取扱説明書は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

- 表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合いを、次のように説明しています。



この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

- 次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。



△ 表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



長時間の使用による目などの疲労に注意しましょう。



「テプラ」で得られるラベルについて



塩化ビニールのように可塑剤入り材料などの被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じことがあります。使用目的や被着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●本書の使いかた

本書は次の表記で記述します。

メニュー、コマンド、ダイアログボックスについて

【表記】	【説明】
[ファイル]	メニュー名は「」で囲みます。
[ファイル] - [開く]	コマンド名はメニュー名のあとに「」で囲みます。 続けておこなう操作は「」 - 「」と表示します。
[キャンセル]	ボタン名は「」で囲みます。
[定型]	タブ名は「」で囲みます。
「用紙の置き方」	項目名は「」で囲みます。

マウスの操作について

【表記】	【説明】
○ポイント	マウスカーソルを目的の位置に合わせる操作です。
○クリック	マウスの左ボタンを1回押す操作です。
○ダブルクリック	マウスの左ボタンを続けて2回クリックする操作です。
○ドラッグ	マウスの左ボタンを押したままマウスを移動し、目的の位置でボタンを離す操作です。

その他

【表記】	【説明】
①②	操作手順を示しています。
<Shift>	パソコンのキーボードのキーを示しています。
参照☞	関連する事項の参照ページを案内します。必要に応じて参照先をお読みください。
MEMO	知っておくと便利な補足情報を説明しています。
!!注意!!	その機能の制限や条件など注意していただきたいことを説明しています。

本文中で使用している画面は、日本語 Windows 10 の画面を例に説明しています。

本書に掲載している画面例は開発中のものを使用しているため、実際の画面とは異なる場合があります。また、お使いのパソコンの環境により、表示される画面が異なる場合があります。

目次

はじめに	
● 安全上のご注意…必ずお守りください！	1
● 本書の使いかた	2
● 目次	3
セットアップ編	
● パソコンにインストールする	6
動作環境	6
アプリケーション、プリンタドライバを インストールする	7
アプリケーション、プリンタドライバを アンインストールする	12
共有プリンタとして使う場合の インストール手順	15
● パソコンと「テプラ」本体を接続する	16
基本編	
● 「TEPRA Label Editor SPC10」の	
起動～終了	18
起動する	18
アップデート通知機能	18
新規作成	19
ファイルを開く	21
履歴から呼び出す	22
「TEPRA Label Editor SPC10」を 終了する	23
● 画面各部の名称	24
● テープ設定を変更する	26
● TEPRA Label Editor SPC10 の	
基本操作	28
文字を入力する	28
データ設定画面からテキストを 入力する	30
図形を描画する	32
印刷する	33
文書を保存する	37
● 文字の編集	38
書体を変更する	38
文字サイズを変更する	39
縦書きにする	40
装飾を指定する	41
● 図形の編集	44
● ブロックを編集する	47
移動する	47
複写する	47
回転する	48
反転する	49
前面・背面に移動する	50
位置を揃える	51
ブロックをロックする	53
ブロックをグループ化する	53
削除する	54
機能編	
● 文字を翻訳する	56
翻訳のコツ	59
● 流し込み機能	60
流し込み操作の流れ	60
データを新規作成する	61
既にあるデータを読み込む	62
データを入力する	63
データを流し込む	64
データを流し込み印刷する	65
データを保存する	66
行や列を挿入する	67
行や列を削除する	67
セルを挿入する	68
セルを削除する	68
行を並び換える（ソート）	69
データを検索する	70
テキスト以外のデータを入力する	72
列のタイトルを変更する	75
● ラベルカタログで作成する	76
カタログから選んで作成する	76
ラベルデザインをカタログに 追加する	78
お気に入りに登録する	80
● 複数ラベルを作成する	81
● 備品管理ラベルを作成する	83
● ケーブルラベリングをする	85
ケーブル表示ラベルを作成する	85
ケーブルラップを作成する	87
フラッグラベルを作成する	90
パッチパネルを作成する	92
フェイスプレートを作成する	94
● 外枠を挿入する	96
● イメージファイルを挿入する	97

● スクリーンキャプチャを挿入する	99
● 絵文字・記号を挿入する	100
● バーコードを挿入する	101
● QRコードを挿入する	105
● カスタマバーコードを挿入する	108
● 表組みを挿入する	110
● 連番を設定する	112
● 日付・時刻を挿入する	116
● 地紋を挿入する	117
● 貼り合わせラベルを印刷する (貼り合わせ印刷)	118
貼り合わせラベルを作成する	118
貼り合わせラベルを印刷する	118
● りぼん連続印刷をする	120
● お名前タグ印刷をする	121
● カットラベル印刷をする	122
● カットラベル・バンドウイットに 印刷する	124
回転ラベルを作成する	124
セルフラミネートラベルを作成する ...	127
● ハーフカット深さを設定する	130
● ピック＆プリント印刷をする	132
● 市販のアプリケーションから印刷する ...	134
Word や Excel などから印刷する	134
SPC10-API を利用する	135
● Web ページを利用する	136
キングジムストアを利用する	136
ラベルデザインをダウンロードする ...	136
お知らせ通知機能を利用する	136

付録

● テープカートリッジを使いわかる	139
● 故障かな？ と思ったら	141
印刷を実行しても「テプラ」本体が 動作しない	141
機能が選択できない	141
文字がきちんと印刷されない	142
途中までしか印刷されない	142
ラベル印刷後、自動カットされない... .	142
文字が欠けたり、カスレる	142
印刷位置がおかしい	143
ハーフカットがうまくできない	143
● 索引	144
● アフターサービスについて	巻末

セットアップ編

本製品をはじめてお使いの方はここからお読みください。
必要なソフトをパソコンにインストールします。

●パソコンにインストールする

動作環境

インストールする前に、お使いのパソコンが以下の条件に合っているかを確認してください。

インストールできるパソコンの条件

対応 OS	日本語 Windows 11/10 (Windows10 は 32bit 版、64bit 版に対応) ※各 OS の推奨環境以上でお使いください ※Windows をアップグレードしたパソコンでは正しく動作しないことがあります。
対応 PC	PC/AT 互換機 対応 OS が正常に動作するパーソナルコンピュータ
ハードディスク 占有容量	約 154MB
ディスプレイ	解像度 1024 × 768 (XGA) /High Color 以上
インター フェイス	USB 接続 有線 LAN 接続 (10BASE-T/100BASE-TX) ※対象機種：SR-R7900P/SR5900P 無線 LAN 接続 (IEEE 802.11b/g/n) ※対象機種：SR-R7900P/SR5900P Bluetooth® 接続 ※対象機種：SR5500P

!!注意!!

- ・対応 OS 以外の Windows 8.1/8/7/Vista/XP/2000/Me/98SE/98/NT での動作は保証しません。
- ・お使いのパソコン環境によっては、正しく動作しない場合があります。
- ・他の OS のエミュレート環境での動作は保証できません。
- ・バージョンの古いソフトウェアがインストールされている場合は、アンインストールをおこなったあとに新しいソフトウェアをインストールしてください。
- ・SPC10 Ver.2.01 以下 /SPC9/SPC3/SPC7/SPC5 を PC にインストール済で TEPRA Label Editor SPC10 をインストールされる場合、必ず SPC10 Ver.2.1 以下 /SPC9/SPC3/SPC7/SPC5 をアンインストールしてから TEPRA Label Editor SPC10 のインストールをおこなってください。
- ・TEPRA Label Editor SPC10 をインストールしたパソコンでは、SPC10 Ver.2.1 以下 /SPC9/SPC3/SPC7 のプリンタドライバは追加できません。
- ・パソコンへのインストールは、必ず Administrator 権限で実行してください。Administrator 権限でおこなわない場合、インストールに失敗し、ソフトウェアが正しく動作しません。
- ・本ソフトウェアの対応機種につきましては、当社ホームページ (<https://www.kingjim.co.jp/>) をご確認ください。
- ・ウイルス対策ソフトの影響により、インストールに失敗することやソフトウェアが正しく動作しない場合があります。お使いのウイルス対策ソフトの説明書などをご確認の上、インストール時にウイルス対策ソフトを停止するなどの対処をしてください。
また、本ソフトウェアの動作に必要なプログラムが、ウイルスとして誤検出される場合があります。正しく動作しなくなった場合は一旦アンインストールをおこない、再インストールをお試しください。
- ・TEPRA Label Editor SPC10 をお使いの際は、必ず付属のプリンタドライバをご使用ください。
異なる組み合わせでは印刷できません。
- ・PC 用 Bluetooth® アダプタは使用しないでください。
- ・最新バージョン情報は当社ホームページ (<https://www.kingjim.co.jp/>) でご確認ください。
- ・ディスプレイのテキストサイズを既定のサイズより大きくすると、ウィンドウが画面からはみ出し操作できなくなることがあります。

アプリケーション、プリンタドライバをインストールする

以下のソフトをインストールします。

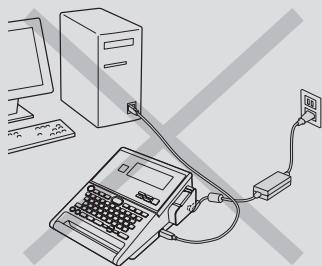
「TEPRA Label Editor SPC10」	パソコンを利用して画像やイラストを挿入したり「流し込み印刷」などができる、ラベル編集ソフトです。
ネットワーク設定確認ツール	「テプラ」本体のネットワーク設定を確認、変更できるユーティリティです。「テプラ」本体を有線 LAN や無線 LAN で接続する場合のみインストールしてください（対象機種：SR-R7900P/SR5900P）。
プリンタドライバ	パソコンから「テプラ」本体で印刷するために必要なソフトです。

「テプラ」本体の接続方法（USB/ ネットワーク /Bluetooth®）は、プリンタドライバのインストール途中で選択します。ネットワーク接続のインストールについての詳細は、SR-R7900P は同梱の取扱説明書を、SR5900P は同梱の「セットアップガイド」を参照してください。また、Bluetooth® 接続のインストールについての詳細は、当社ホームページ（<https://www.kingjim.co.jp/>）に掲載されている「セットアップガイド」を参照してください（対象機種：SR5500P）。本書では、USB ケーブルで接続する手順を説明しています。

!! 注意 !!

画面で指示されるまで「テプラ」本体をパソコンに接続しないでください。

USB ケーブルで接続する場合、画面による指示があるまで「テプラ」本体をパソコンに接続して電源を入れないでください。



「テプラ」本体の接続を指示する画面



- ・プリンタドライバをインストールしていない状態で「テプラ」本体をパソコンに接続して電源を入れると、[新しいハードウェアの追加] 画面が表示される場合があります。すぐに [キャンセル] をクリックし、パソコンから「テプラ」本体をはずしてください。
- ・本取扱説明書は、「TEPRA Label Editor SPC10」とプリンタドライバのインストールや使いかたについて説明する内容になっており、Windows やパソコンの操作については詳しく説明しておりません。また、Windows やパソコンについて、最低限の操作（マウス操作やファイルの扱いなど）を習得されていることを前提しておりますので、必要な場合は Windows やパソコンの説明書をお読みください。
- ・1 台のパソコンに同じ機種の「テプラ」本体を複数接続する場合、接続する台数分のプリンタドライバが必要になります。2 台目以降のプリンタドライバは、別の「テプラ」本体を接続すると自動的にプリンタドライバのコピーが作成されます。このとき新たにインストールされたプリンタドライバの名前には「コピー」がつきます。
- ・複数ユーザーで使用する場合はインストール後、一度ログオフしてから「別ユーザー」としてご使用ください。
- ・インストールの際は、ウィルス対策ユーティリティなどのプログラムを終了してからおこなってください。「TEPRA Label Editor SPC10」が正常にインストールされない場合があります。

① パソコンの電源を入れ、Windows を起動する
起動しているソフトウェアがあれば終了してください。ウィルス対策ユーティリティなどのプログラムも終了してください。

② 当社ホームページ (<https://www.kingjim.co.jp/>) から、「TEPRA Label Editor SPC10」ソフトウェアをダウンロードする

③ ダウンロードしたファイルをデスクトップなどに保存し、ファイルを解凍したあと、表示された SPC10_xxx フォルダ中の SetUp.exe ファイルを実行する

インストールプログラムが起動します。

[ユーザー アカウント制御] の画面が表示された場合は、[続行] または [はい] をクリックし継続してください。



MEMO

右の画面が表示されるときは、既にアプリケーションまたはプリンタドライバがインストールされています。インストール項目を追加する場合は、[機能の追加／変更] で変更できます。
古いバージョンのアプリケーションがインストールされているときは、表示に従いアンインストールしてから本ソフトをインストールしてください。



④ [アプリケーションとドライバのインストール] をクリックする

プリンタドライバのみをインストールすることもできますが、ここでは、アプリケーション、プリンタドライバの両方をインストールします。

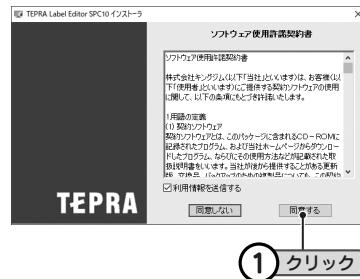
MEMO

[ドライバのみのインストール] をクリックした場合は、手順⑤のあと、手順⑨に進みます。



⑤ ソフトウェア使用許諾契約の内容を確認して同意する場合は【同意する】をクリックする

同意しない場合は【同意しない】をクリックしてください。インストールは中止されます。



⑥ インストールする機能をチェックし【次へ】をクリックする

インストールが開始されます。

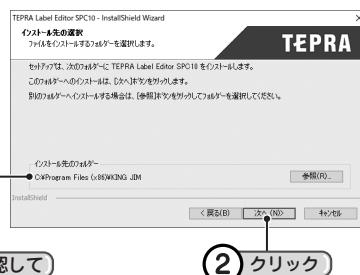
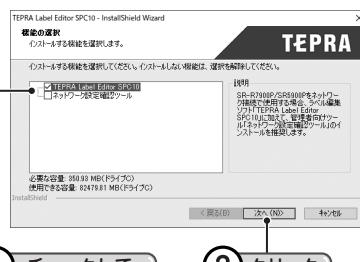
「ネットワーク設定確認ツール」は接続している「テプラ」本体のネットワーク設定を確認、変更できるユーティリティです（対象機種：SR-R7900P/SR5900P）。

MEMO

「ネットワーク設定確認ツール」はIPアドレスや無線LANのセキュリティなどを確認／変更する場合に選択してください。あとから追加でインストールすることもできます。

⑦ インストール先を確認し、【次へ】をクリックする

インストール先を変更する場合は【参照】をクリックすると変更できます。



次へ進みます →

⑧ それぞれ必要な項目をチェックし【完了】をクリックする

アプリケーションのインストールが終了すると、インストールされたフォント一覧とショートカットの作成を確認する画面が表示されます。

続いてプリンタドライバのインストールに進みます。



!! 注意 !!

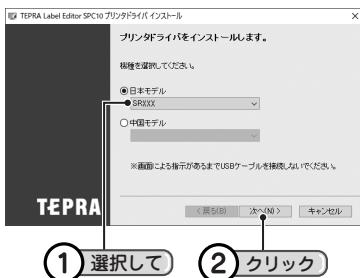
お使いのパソコンの環境によって、プリンタドライバのインストール画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。表示されるまで、しばらくお待ちください。

⑨ 機種を選択し、【次へ】をクリックする

右側の【▼】をクリックして表示されるリストからパソコンと接続する機種を選択します。

MEMO

接続する機種以外を選択するとインストールできません。



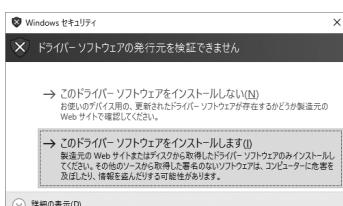
⑩ パソコンとの接続方法を選択する画面が表示されるときは、接続方法を選択し、【次へ】をクリックする

手順⑨でUSB接続専用の機種を選択した場合は接続方法を選択する画面が表示されません。次の説明に進んでください。



以降は、USBケーブルで接続する手順について説明します。有線LANまたは無線LANで接続する手順については、SR-R7900Pは同梱の取扱説明書を、SR5900Pは同梱の「セットアップガイド」を参照してください。また、Bluetoothで接続する手順については、当社ホームページ(<https://www.kingjim.co.jp/>)に掲載されている「セットアップガイド」を参照してください(対象機種: SR5500P)。

「Windowsセキュリティ」の画面が表示された場合は、「このドライバーソフトウェアをインストールします」をクリックし継続してください。



⑪ 画面に表示される指示に従って「テプラ」本体をパソコンに接続する

参照☞ P.16 「パソコンと「テプラ」本体を接続する」

「新しいハードウェア」のインストールが実行されます。しばらくするとインストールが完了し、完了画面が表示されます。



MEMO

「新しいハードウェア」のインストールが実行されない場合

手順⑪の画面が表示されるより前に、USBケーブルを「テプラ」本体とパソコンに接続していると、インストールが正しくおこなわれません。

手順⑪の画面を表示させたままUSBケーブルをはずし、再び接続してください。

ハードウェア検出ウィザードが表示された場合

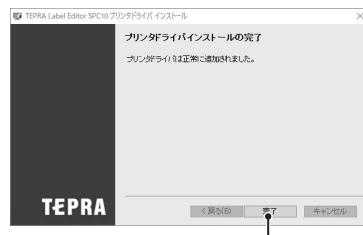
インストール時に、まれに「ハードウェア検出ウィザード」が表示される場合があります。「Windows Update の接続」では「いいえ、今回は接続しません」を選択します。「インストール方法」は「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択します。

上記手順でインストールが完了しない場合は、「一覧または特定の場所からインストールする」を選択し、下記ディレクトリ内の「inf」ファイルを参照してください。

「C: (お使いのOSインストールドライブ) ¥Windows¥System32¥DriverStore¥FileRepository
¥tepp***¥TEPP***.inf」

⑫ [完了] をクリックする

インストールが終了します



!! 注意 !!

プリンタの削除は「プログラムのアンインストール」かインストールプログラムで削除してください。

参照☞ P.12 「アプリケーション、プリンタドライバをアンインストールする」

MEMO

ネットワーク管理者の方へ

「テプラ」本体をパソコンとUSBケーブルで接続する場合、ネットワーク上のWindows 11/10パソコンにUSBケーブルで接続し、共有プリンタに設定して印刷することができます。ただし、ネットワークの環境や、ネットワーク上のパソコンにインストールされているデバイスによっては、共有プリンタとして正常に機能しないことがあります。

共有プリンタで使用する場合は、サーバ側とクライアント側の双方にインストールが必要です。

参照☞ P.15 「共有プリンタとして使う場合のインストール手順」

アプリケーション、プリンタドライバをアンインストールする

!!注意!!

- ・アプリケーション、プリンタドライバのアンインストールは、必ず下記に記載の手順でおこなってください。
- ・プリンタドライバをアンインストールするときは、パソコンと「テプラ」本体を接続しているUSBケーブルをはずしてからおこなってください。

- 1** インストールの際に当社ホームページ(<https://www.kingjim.co.jp/>)からダウンロードしたファイルを解凍したあと、表示されたSPC10_xxxフォルダ中のSetUp.exeファイルを実行する

インストールプログラムが起動します。



1 クリック

- 2** [削除] をクリックする

アンインストールの準備が整うと、確認の画面が表示されます。

MEMO

「ネットワーク設定確認ツール」をインストールしている場合は、アプリケーションのアンインストールで「TEPRA Label Editor SPC10」と同時にアンインストールされます。コントロールパネルの「プログラムの追加と機能」で【変更】をクリックすると、アプリケーションとプリンタドライバを個別に指定してアンインストールできます。

- 3** [はい] をクリックする

アンインストールが開始されます。



1 クリック

MEMO

ここで【いいえ】をクリックすると、アプリケーションのアンインストールを中止します。

④ [完了] をクリックする

TEPRA Label Editor SPC10 に関するアンインストールされたフォント一覧が表示されます。

続いて、プリンタドライバのアンインストールに進みます。

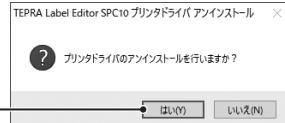


① クリック

⑤ [はい] をクリックする

プリンタの選択画面に進みます。

① クリック



はい(Y)

いいえ(N)

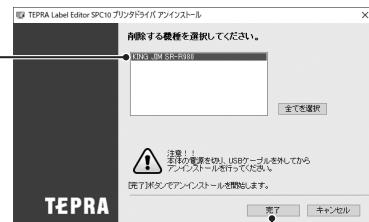
MEMO

ここで [いいえ] をクリックすると、プリンタドライバのアンインストールを中止します。

⑥ 削除する機種をネガ表示にし、[完了] をクリックする

プリンタドライバのアンインストールが開始されます。

[全てを選択] をクリックすると、インストールされているすべてのプリンタドライバのアンインストールをおこないます。



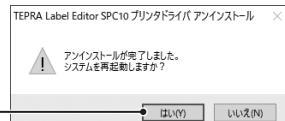
① ネガ表示にして

② クリック

⑦ [はい] をクリックする

パソコンが再起動されます。

① クリック



はい(Y)

いいえ(N)

!! 注意 !!

- ・プリンタドライバをアンインストールした場合は、必ずパソコンを再起動してください。
- ・プリンタの削除は「プログラムのアンインストール」かインストールプログラムで削除してください。

MEMO

TEPRA Label Editor SPC10 とプリンタドライバのアンインストールは、[コントロールパネル] – [プログラムのアンインストール] からでも操作できます。ただし、インストールプログラムからのアンインストールとは異なり、アプリケーション用 (TEPRA Label Editor SPC10) とプリンタドライバ用 (TEPRA Label Editor SPC10 プリンタドライバ) と分かれていますので、ご注意ください。



アプリケーションを
アンインストールする場合

プリンタドライバを
アンインストールする場合

共有プリンタとして使う場合のインストール手順

「テプラ」本体をパソコンと USB ケーブルで接続する場合、ネットワーク環境下の 1 台のパソコンに USB ケーブルで「テプラ」本体を接続し、共有プリンタに設定することで別のパソコンから印刷することができます。

下記の方法でプリンタドライバをインストールしてください。

サーバ側の操作：

- ① サーバとなるパソコンに、あらかじめパスワード付きのユーザーアカウントを登録しておく
- ② ①のユーザーでログインし、当社ホームページからダウンロードしたインストールプログラムを起動し、インストールする
参照☞ P.7 「アプリケーション、プリンタドライバをインストールする」
- ③ プリンタフォルダから、インストールされた「テプラ」のプリンタドライバを「共有」に設定する

クライアント側の操作：

- ④ クライアント側でインストール操作の手順⑩（USB 接続専用の機種の場合は手順⑨）までおこなう
参照☞ P.7 「アプリケーション、プリンタドライバをインストールする」
- ⑤ 手順①で、Explorer などを使いネットワーク上のサーバとなるパソコンにログインし、共有設定されている「テプラ」のプリンタのアイコンをダブルクリックする
- ⑥ しばらくして手順⑫の画面になるので【完了】をクリックする

!! 注意 !!

- クライアントパソコンもインストールの際は、ウィルス対策ユーティリティなどのプログラムを終了してからおこなってください。
- 共有プリンタとして使う場合、64bit 版 OS は、OS の制限により使えない場合があります。
- サーバ側が 64bit 版 OS、クライアント側が 32bit 版 OS の場合は、クライアント側の操作が上記と異なります。クライアント側でも、インストール操作の手順⑪までおこない、「テプラ」本体を接続してプリンタドライバをインストールしてから、サーバ側にログインして共有設定されている「テプラ」のプリンタアイコンをダブルクリックすることで、共有プリンタの使用ができるようになります。
- ドライバインストール時にウィルス対策ユーティリティなどのプログラムが常駐していると「Option UI Manager Service」を不正プログラムとして誤検出する場合があります。その場合は画面表示を確認し、【許可】または【OK】にしてください。

●パソコンと「テプラ」本体を接続する

接続については、「テプラ」本体取扱説明書も合わせて参照してください。

① 「テプラ」本体に AC アダプタを接続する

② 「テプラ」本体に USB ケーブルを接続する

有線 LAN で接続する場合は、「テプラ」本体に LAN ケーブルを接続し、「テプラ」本体の電源を ON にします（対象機種：SR-R7900P/SR5900P）。

無線 LAN で接続する場合は、「テプラ」本体の電源を ON にしてから、無線機能を有効にします（対象機種：SR-R7900P/SR5900P）。

Bluetooth® で接続する場合は、「テプラ」本体の電源を ON にしてから、Bluetooth® 機能を有効にします（対象機種：SR5500P）。

③ 「テプラ」本体にテープカートリッジをセットする

「テプラ」Grand は、テープカートリッジとインクリボンカートリッジをセットします。

④ 「テプラ」本体の電源を ON にする

電源ボタンがなくパソコンと USB ケーブルで接続することで電源が ON になる機種もあります。

テープカートリッジをセットした直後は、テープ送りを実行し、テープのたるみを取ります。

⑤ 「テプラ」本体を PC リンク状態にする

「テプラ」本体に PC リンク状態へ切り替えるボタンがある場合は、ボタンを押して PC リンク状態にします。

!! 注意 !!

- USB ハブを使用した場合の動作については、保証できません。
- PC リンク状態へ切り替える方法については、「テプラ」本体の取扱説明書をご覧ください。
- パソコンにプリンタドライバをインストールしていない状態で「テプラ」本体をパソコンに接続して電源を入れると、[新しいハードウェアの追加] 画面が表示される場合があります。すぐに [キャンセル] をクリックしパソコンから「テプラ」本体をはずして、インストールプログラムでプリンタドライバをインストールしてからご使用ください。
参照☞ P.7 「アプリケーション、プリンタドライバをインストールする」
- 1 台のパソコンに同じ機種の「テプラ」本体を USB ケーブルで複数接続する場合、接続する台数分のプリンタドライバが必要になります。2 台目以降のプリンタドライバは、別の「テプラ」本体を接続すると自動的にプリンタドライバのコピーが作成されます。このとき新たにインストールされたプリンタドライバの名前には「コピー」がつきます。
- PC 用 Bluetooth® アダプタは使用しないでください。
- パソコン接続には市販の USB ケーブルをご使用ください（USB2.0/1.1 ケーブル A-B タイプ）

基本編

「TEPRA Label Editor SPC10」でラベルを作るときの基本操作について説明します。

●「TEPRA Label Editor SPC10」の起動～終了

起動する

① 「TEPRA Label Editor SPC10」を起動する

デスクトップの「TEPRA Label Editor SPC10」アイコンをダブルクリックします。



MEMO

インストール時に、「デスクトップにショートカットを作成する」のチェックを外した場合は、デスクトップの「TEPRA Label Editor SPC10」アイコンがありません。以下の方法で起動してください。

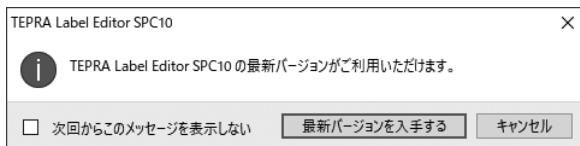
Windows 11/10 の「スタート」画面で、[すべてのアプリ] - [TEPRA] - [TEPRA Label Editor SPC10] をクリックします。

!!注意!!

ディスプレイのテキストサイズを規定のサイズより大きくすると、ウィンドウが画面からはみ出しあげ操作できなくなることがあります。

アップデート通知機能

TEPRA Label Editor SPC10 に新しいバージョンがリリースされると、お知らせを通知します。通知は、TEPRA Label Editor SPC10 を起動したときに表示されます。



MEMO

- インターネットブラウザが起動し、TEPRA Label Editor SPC10 のダウンロードページを表示します。
- アップデート通知機能の利用には、インターネットへの接続環境が必要です。インターネットに接続されたパソコンから利用してください。
- 「次回からこのメッセージを表示しない」にチェックを付ける、または「[設定] - [環境設定] - [一般] タブ内の「起動時にアプリケーションの更新通知を表示する」のチェックをはずすと、次回以降アップデート通知は表示されません。

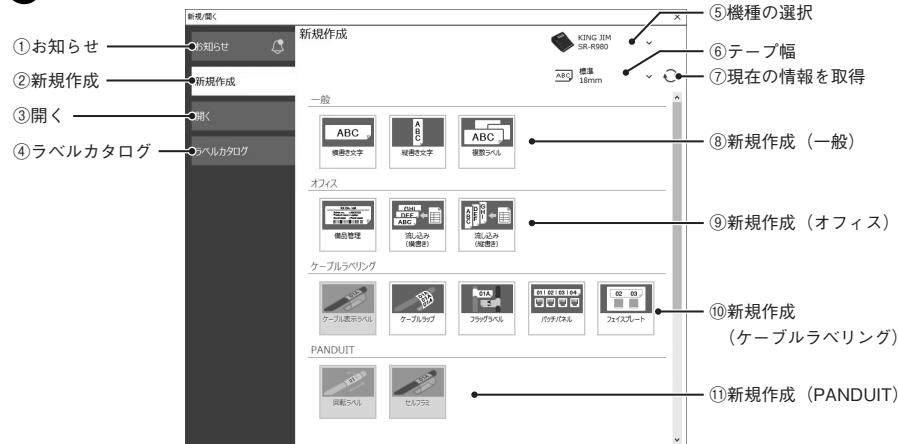
新規作成

ラベルを新規に作るときは、最初に作成方法を選択します。

① 「TEPRA Label Editor SPC10」を起動する

〔新規 / 開く〕画面が表示されます。

② 〔新規 / 開く〕画面で各項目を設定する



①お知らせ

: 当社からのお知らせやおすすめ情報を届けします。

②新規作成

: ラベルを新しく作成するときにこのタブを選択します。

③開く

: 最近使ったファイルや、過去に作成したラベルのデータを開くときにこのタブを選択します。

④ラベルカタログ

: ラベルカタログからデザインを選択してラベルを作成するときにこのタブを選択します。

参照☞ P.76 「ラベルカタログで作成する」

⑤機種の選択

: 接続している「テプラ」本体の機種を選択します。

⑥テープ幅

: 使用するテープの種類、幅を選択します。

⑦現在の情報を取得

: 接続している「テプラ」にセットされているPROテープカートリッジの情報を取得し、自動でテープ幅を設定します。

⑧新規作成 (一般)

: 横書きラベル、縦書きラベル、複数ラベルを新規で作成するときに選択します。

⑨新規作成 (オフィス)

: 備品管理ラベル、流し込み（横書き）ラベル、流し込み（縦書き）ラベルを新規で作成するときに選択します。

⑩新規作成
(ケーブルラベリング)

: ケーブルラベルを新規で作成するときに、5種類のデザインから選択します。

参照☞ P.85 「ケーブルラベリングをする」

⑪新規作成 (PANDUIT)

: カットラベル・パンドウイットを新規で作成するときに選択します。

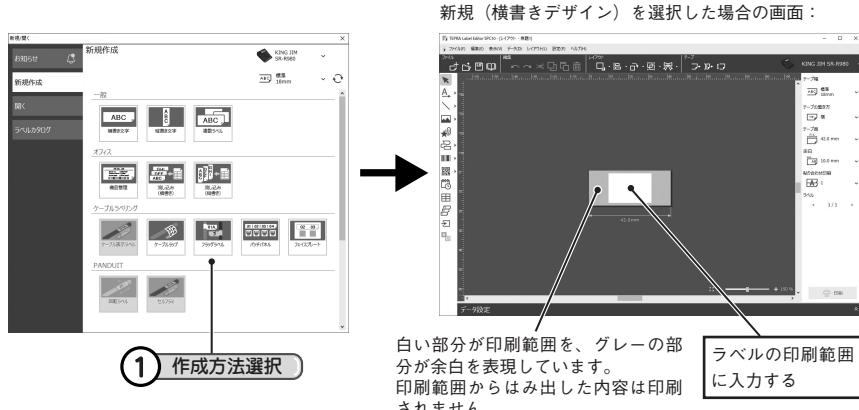
参照☞ P.124 「カットラベル・パンドウイットに印刷する」

次へ進みます →

③ ⑤～⑦で機種やテープを設定後、ラベル作成方法（⑧～⑩）の中から作りたいラベルのボタンをクリックする

レイアウト編集画面に設定したテープが表示され、入力や編集が可能になります。

参照☞ P.28 「文字を入力する」



MEMO

- ・[新規 / 開く] 画面は、ツールバーの [新規ファイル] をクリックするか [ファイル] - [新規作成] を指定すると開きます。
- ・テープの長さや幅、余白は、テープ設定ツールバーの各ボタンで変更できます。
参照☞ P.26 「テープ設定を変更する」
- ・ハーフカット搭載機種で「ハーフカットしない」に設定している場合、およびハーフカット未搭載機種では、入力された内容やテープ設定に関わらず、約 20mm 以下のラベルは印刷できません。約 20mm 以下のテープ長を設定した場合、最短約 20mm のラベルで印刷されます。
- ・「ハーフカットエラーを検出する」をチェックをした場合、ラベルの長さによってハーフカットしろが長くなる場合があります（対象機種：SR-R7900P）。
- ・「余白」で「フチなし」にチェックを付けると、ラベル端まで印刷できます。フチなし印刷は、印字が欠けたり乱れたりする場合があります。「フチなし」は、フチなし印刷対応機種の場合のみチェックできます（対象機種：WR1000）。
- ・「テープ種類」でカットラベルを選択したときは、ラベル形状の目安としてラベル範囲（白い部分）が表示されます。カットラベルは、カットラベル対応機種のみ選択できます（対象機種：SR-R980/SR970/SR5900P）。
- ・ブロックの位置関係がわかりづらいときは、[表示] メニューでグリッドやガイドラインを表示することもできます。
- ・「テープ種類」で「りぽん」または「備品管理」を選択したときは、レイアウト編集画面にテープ専用画面が表示されます（対象機種：SR-R980/SR-R680/SR-R7900P）。
- 参照☞ P.83 「備品管理ラベルを作成する」
- 参照☞ P.110 「表組みを挿入する」
- 参照☞ P.120 「りぽん連続印刷をする」
- 参照☞ P.121 「お名前タグ印刷をする」

ファイルを開く

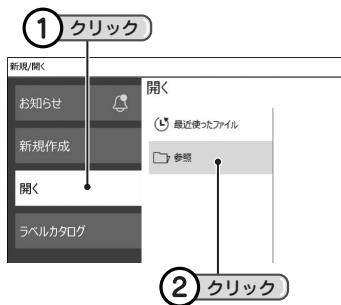
ファイルに保存してあるラベルを表示するには、目的のファイルを開きます。

- ①** [新規 / 開く] 画面の [開く] – [参照] をクリックする

[開く] 画面が表示されます。

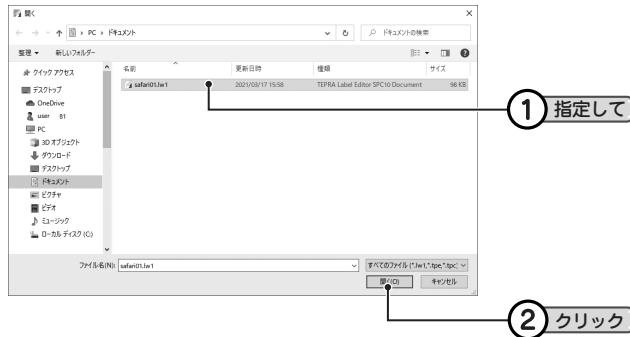
MEMO

[ファイル] – [開く] を選択しても、[開く] 画面が表示されます。



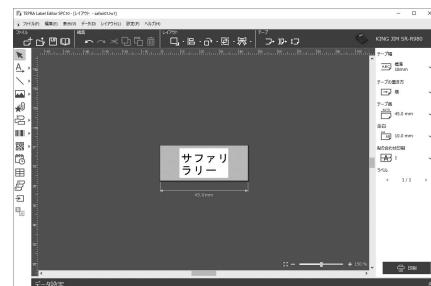
- ②** ファイルを指定して [開く] をクリックする

[開く] 画面にファイルがない場合は、フォルダを切り替えて保存した場所を表示させます。



指定したファイルが表示され編集ができます。

参照☞ P.28 「文字を入力する」



MEMO

- TEPRA Label Editor SPC10 では「TEPRA Label Editor SPC10 ファイル (lw1) 形式」、「TEPRA SPC10 ファイル (tpe) 形式」、「SPC9 DRAW3 ファイル (tpc) 形式」のファイルのみ開くことができます。その他のアプリケーションソフトとは互換性がありません。
- TEPRA Label Editor SPC10 で「tpe 形式」「tpc 形式」のファイルを開くと、レイアウトが崩れる場合があります。また、以下のオブジェクトを含むファイルを TEPRA Label Editor SPC10 で開くと次の通りになります。
 - ・文字地紋、創作地紋：表示されません。
 - ・アートテキスト：通常のテキストとなります。
 - ・イメージの型抜き：型抜きされていないイメージとなります。
 - ・定型外国语語：フォントを正しく表示できません。
- ここでは事前に「safari01」というファイルを保存していた場合を例に説明しています。初期状態では「safari01」というファイルは存在しません。

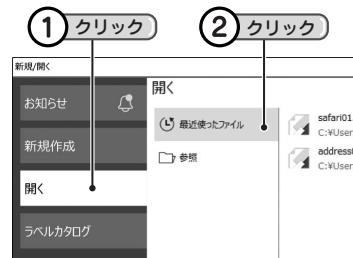
参照☞ P.37 「文書を保存する」

履歴から呼び出す

最近使用したファイルの一覧が表示され、選択して呼び出せます。履歴には最大 25 ファイルまで表示できます。

① [新規 / 開く] 画面の [開く] – [最近使ったファイル] をクリックする

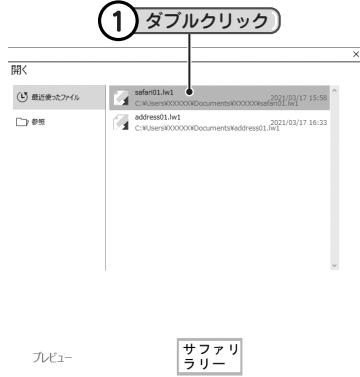
履歴が一覧表示されます。



② 開きたいファイルをダブルクリックする

指定したファイルが表示され編集ができます。

参照☞ P.28 「文字を入力する」



MEMO

ここでは事前に「safari01」というファイルを直前に使用していた場合を例に説明しています。初期状態では履歴にファイルは存在しません。

参照☞ P.37 「文書を保存する」

「TEPRA Label Editor SPC10」を終了する

① 画面右上の × をクリックする

文書が保存されていれば、そのままウィンドウが閉じます。



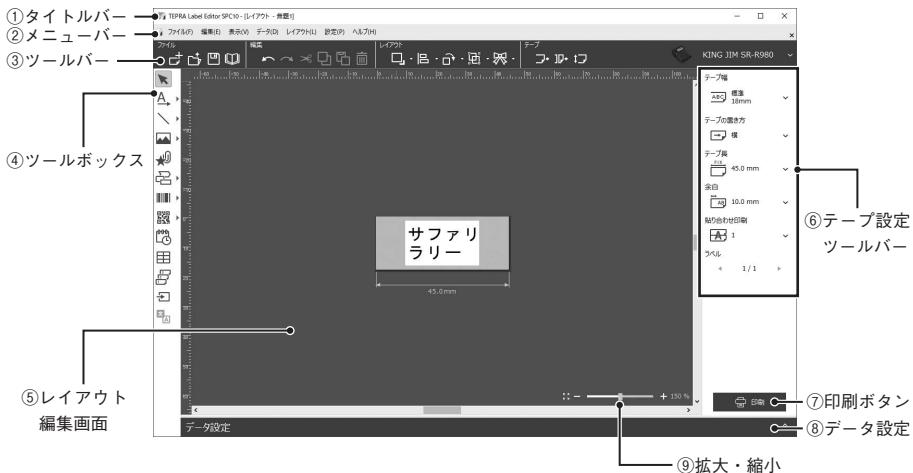
MEMO

TEPRA Label Editor SPC10 の終了は、[ファイル] - [終了] を選択しても実行できます。

!! 注意 !!

文書を保存しないまま終了操作をおこなったときは、保存を確認する画面が表示され、[はい] を選択すると [名前を付けて保存] 画面が表示されます。保存を確認する画面で [いいえ] を選択すると、作った内容が破棄され TEPRA Label Editor SPC10 を終了します。一度データの内容が破棄されると、元に戻すことができませんので充分注意してください。

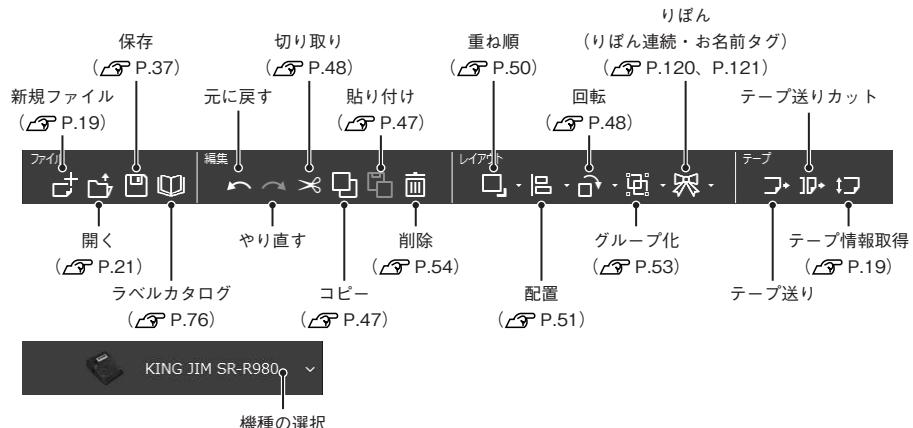
画面各部の名称



① タイトルバー : 作成中のラベルのファイル名などを表示します。

② メニューバー : 主な機能がメニューの中に含まれています。

③ ツールバー : 編集に役立つ機能がアイコン表示されています。



MEMO

「テプラ」プリンタドライバを複数インストールしている場合、ツールバーの「機種の選択」から接続している「テプラ」本体の機種を変更できます。



④ツールボックス

-  └─ ブロック編集 (☞ P.47)
-  └─ 文字挿入 (☞ P.28)
-  └─ 図形 (☞ P.32)
-  └─ イメージ / スクリーンキャプチャ (☞ P.97、P.99)
-  └─ 絵文字・記号 (☞ P.100)
-  └─ 外枠 / 地紋 (☞ P.96、P.117)
-  └─ バーコード (☞ P.101)
-  └─ QR コード (☞ P.105)
-  └─ 日付・時刻 (☞ P.116)
-  └─ 表組み (☞ P.110)
-  └─ 連番 (☞ P.112)
-  └─ 流し込み枠の設定
-  └─ 翻訳 (☞ P.56)

⑤レイアウト編集画面：作成中のラベルのイメージを表示します。

⑥テープ設定ツールバー：テープに関する設定をおこないます (☞ P.26)。

⑦印刷ボタン：作成したラベルを印刷します。

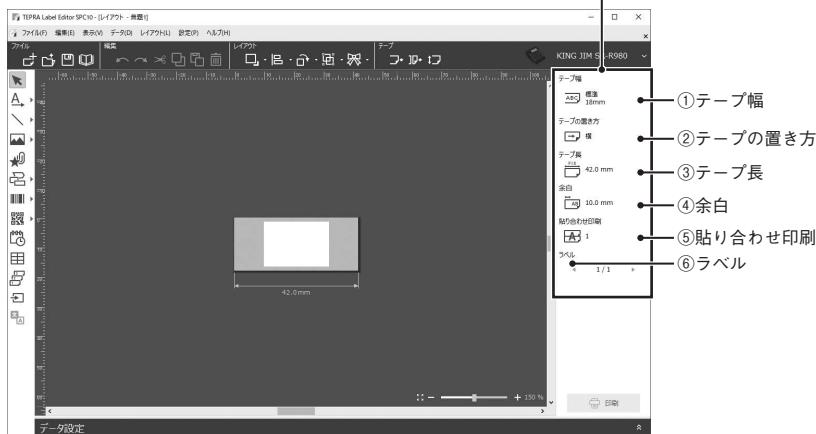
⑧データ設定：データ設定画面を呼び出し、流し込み印刷用のデータを作成します。

⑨拡大・縮小：レイアウト編集画面を拡大・縮小します。

●テープ設定を変更する

テープの長さや幅、余白などはテープ設定ツールバーで変更できます。

テープ設定ツールバー：レイアウト編集画面右側に表示されます。



- ①テープ幅 : 使用するテープの種類と幅を選択します。
- ②テープの置き方 :

縦	テープが縦置きで表示されます(テキストは縦書きになります)。
横	テープが横置きで表示されます(テキストは横書きになります)。
- ③テープ長 : テープの長さを「自動」か「定長」のどちらかで設定します。
- 自動 : 文章の長さに応じてテープの長さが自動的に調節されます。
- 定長 : 長さを数値で設定してラベルを作ります。
- ④余白 : ラベル前後の余白を数値で指定します。
- ⑤貼り合わせ印刷 : テープ幅×倍率で貼り合わせるテープを作成します。
例えば「2倍」の場合、画面ではテープが2枚貼り合わされた状態で表示されます。
- ⑥ラベル : 作成するラベルが複数ある場合、各ラベルのレイアウト編集画面に移動できます。

MEMO

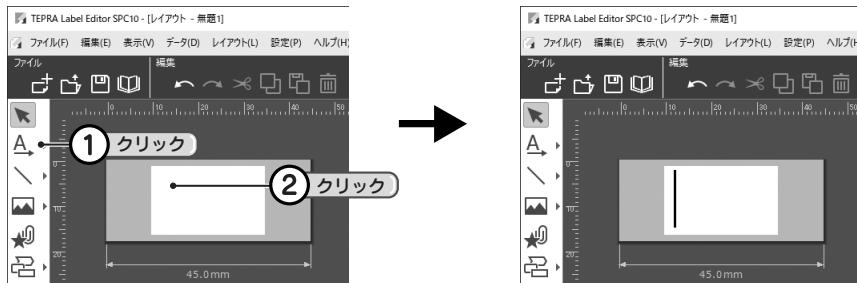
- 定長印刷で指定するラベルの長さは目安です。実際のできあがりの長さと完全には一致しません。
 - テープ長を定長にした場合、テープ長さはテキストボックスに直接入力するか、テキストボックス横の上下ボタンで 10mm ~ 3,000mm の範囲で指定します。
 - 「余白」で「フチなし」にチェックを付けると、ラベル端まで印刷できます。フチなし印刷は、印字が欠けたり乱れたりする場合があります。「フチなし」は、フチなし印刷対応機種の場合のみチェックできます（対象機種：WR1000）。
 - カットラベルを選択したときは、ラベル端まで印刷できます。カットラベルは、カットラベル対応機種のみ選択できます（対象機種：SR-R980/SR970/SR5900P）。
- 参照☞ P.122 「カットラベル印刷をする」
- 「りぽん」または「備品管理」を選択したときは、レイアウト編集画面にテープ専用画面が表示されます（対象機種：SR-R980/SR-R680/SR-R7900P）。
- 参照☞ P.83 「備品管理ラベルを作成する」
- 参照☞ P.110 「表組みを挿入する」
- 参照☞ P.120 「りぽん連続印刷をする」
- 参照☞ P.121 「お名前タグ印刷をする」

TEPRA Label Editor SPC10 の基本操作

ここでは、例として横書きのラベルを作成する手順を説明します。

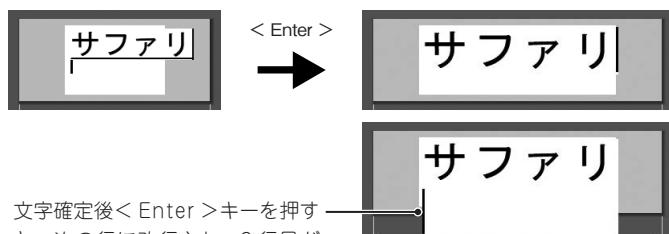
文字を入力する

- ① ツールボックスの A (横書き文字) をクリックし、文字を入力する位置をクリックする
文字を入力できる状態になります。



- ② 文字を入力する

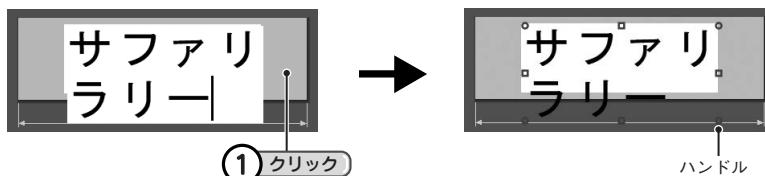
文字入力後、キーボードの<変換>キーで変換し、<Enter>キーで確定します。



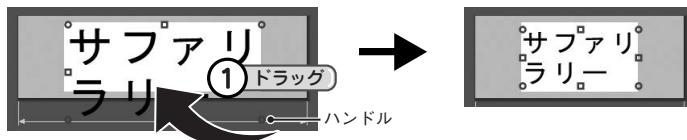
文字確定後<Enter>キーを押す
と、次の行に改行され、2行目が
入力できます。

- ③ テキストブロック以外の場所をクリックする

テキストブロックがハンドルつきで表示されます。



- ④ カドのハンドルをドラッグして、テキストブロックの枠サイズをラベル幅に合わせる

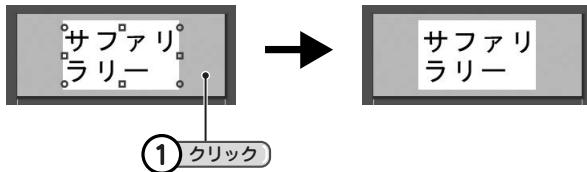


MEMO

- ハンドル表示中のテキストブロックは、内容、位置、枠サイズを変更できます。
枠サイズを変更するときは、ハンドルをドラッグします。
カドのハンドルをドラッグすると、縦横比を変えずに文字サイズを拡大、縮小できます。
また、キーボードの<Shift>もしくは<Ctrl>キーを押しながらハンドルをドラッグすると、テキストブロックの縦横比を自由に変更しながら文字を拡大、縮小できます。
- 表示されるオブジェクトのサイズ・位置はイメージです、実際のラベルとは誤差があります。
- 文字を縦書きにするときは、ハンドル表示中にテキスト設定画面の「A」(縦書き)をクリックします。
参照 P.40 「縦書きにする」
- テキストブロックを複数使って、縦書きと横書きが混在するラベルを作成することもできます。

⑤ テキストブロック以外の場所をクリックする

ハンドルが消えてテキストブロックが確定します。



MEMO

改行したテキストブロックを1行に戻す場合は、次の操作をしてください。

① テキストブロックをダブルクリックして「テキスト編集」の状態にする

テキストブロック内に文字カーソルが表示され、文字を入力できる状態になります。

② 文字カーソルを1行目の行末に移動し、<Delete>キーを押す

改行が削除され、1行になります。文字カーソルを2行目の行頭に移動してから<BackSpace>キーを押して、改行を削除することもできます。

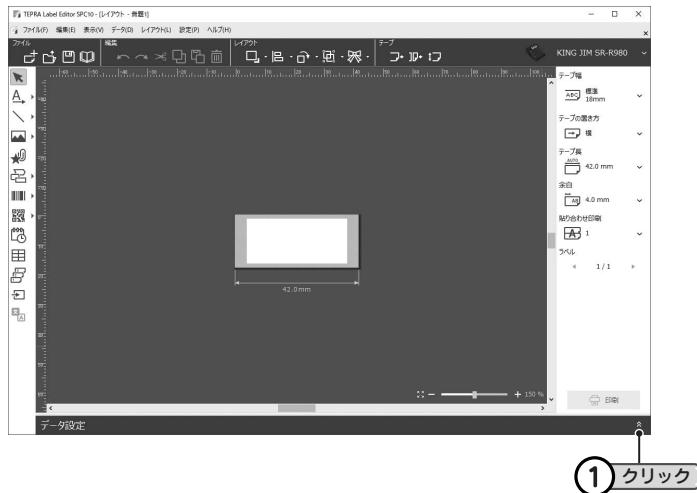


データ設定画面からテキストを入力する

TEPRA Label Editor SPC10 では、データ設定画面からテキストを入力することでラベルに入力内容を直接反映させることができます。

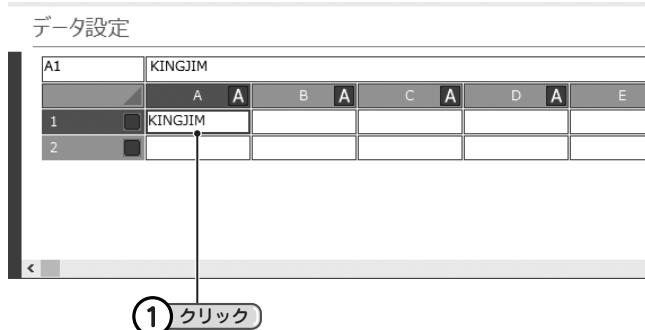
① 画面下部の「データ設定」から をクリックする

データ設定画面が表示されます。



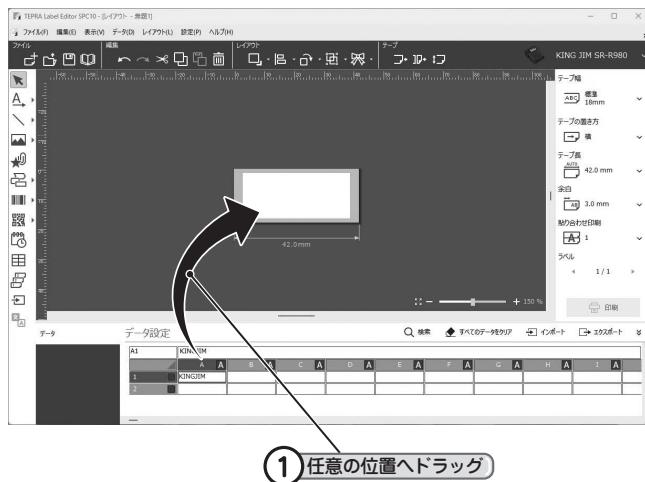
② データ設定画面でテキストを入力する

1枚目のラベルに印字したいテキストを A1 セルに入力します。



③ ラベルに入力内容をドラッグする

手順②で入力したテキストのうち、ラベルに反映したい列タイトルをドラッグします。



④ ラベルに反映される

ドラッグした位置にテキストボックスが表示され、データ設定画面の各セルに入力した内容が反映されます。

参照☞ P.64 「データを流し込む」

MEMO

- データ設定画面の1行目に入力した内容は、作成するラベルの1枚目に反映されます。2行目に入力した内容は、作成するラベルの2枚目に反映されます。
- テキストのフォントスタイルや修飾を変更したい場合は、テキストボックスをクリックし、表示されるテキスト設定画面から変更してください。
参照☞ P.38 「文字の編集」
- データ設定画面の **A** をクリックすると、セルの列属性をテキスト、イメージまたはバーコードに変更することができます。
- 列属性がイメージの場合、セルに入力された内容はレイアウト編集画面にイメージとして反映されます。
参照☞ P.72 「列属性を変更する」
- Excelなど既に作成されている外部データを **→** (インポート) で読み込んで利用することも可能です。また、データ設定画面で作成した内容を **→** (エクスポート) で Excelなどのデータ形式で保存することも可能です。(XLSX、XLS、CSV、txtデータに対応)
参照☞ P.62 「既にあるデータを読み込む」
参照☞ P.66 「データのみ保存する」
- データ設定画面の入力内容を全て削除したい場合、「すべてのデータをクリア」をクリックします。
※列属性、列タイトルは削除されません。

图形を描画する

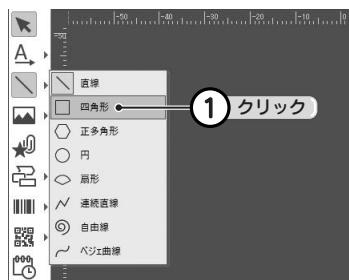
ツールボックスの图形ボタンを利用すると、さまざまな图形を描画できます。



- ＼(直線) 直線を描きます。
- (四角形) 四角形を描きます。
- (正多角形) 正多角形を描きます。
- (円) 円を描きます。
- ◇(扇形) 扇形、弓形、円弧を描きます。
- ↖(連続直線) 連続した直線で图形を描きます。
- ◎(自由線) フリー手で图形を描きます。
- ～(ベジェ曲線) ベジェ曲線を描きます。

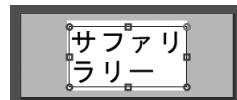
例：四角形を描画する

- 1 ツールボックスの【图形】ボタン右側の【▶】をクリックし、□(四角形)ボタンをクリックする



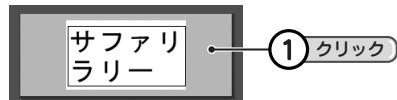
- 2 描画する始点から終点までマウスでドラッグする

四角形を描画できます。



- 3 図形以外の場所をクリックする

ハンドルが消えて图形が確定します。



MEMO

- ・四角形の場合は、右上カドのオレンジ色のハンドルをドラッグすると角の丸みを調整できます。
- ・正多角形の場合は、描画後に图形設定画面で多角形の角数と形を変更できます。
- ・扇形の場合は、点線で円を描画後に表示される半径のガイド線をドラッグして描画する角度を指定します。ドラッグ中に表示される点線を目安に扇形を描画できます。
- ・图形描画後、線種の変更などの編集は图形設定画面からおこないます。

参照☞ P.44 「图形の編集」

印刷する

① 「テプラ」本体に印刷するサイズに合ったテープカートリッジがセットされていることを確認する

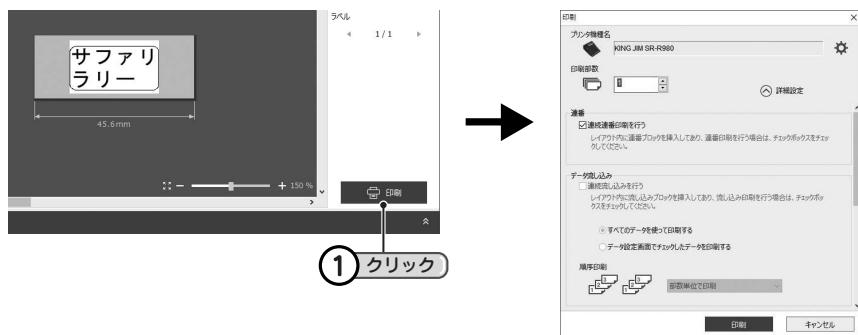
「テプラ」Grandは、テープカートリッジとインクリボンカートリッジがセットされていることを確認します。

② 「テプラ」本体をパソコンに接続し、電源を入れる

SR-R980/SR970/SR-R680/SR670/SR-R7900P/SR5900P/SR5500P/SR3900P/SR3700P/SR3500P/WR1000は、パソコンとUSB接続することで印刷可能状態になります。上記以外の「テプラ」本体の場合は【パソコンリンク】または【PCリンク】ボタンを操作します。

③ 【印刷】をクリックする

【印刷】画面が表示されます。



MEMO

- 【印刷】画面は、【ファイル】→【印刷】を選択しても表示されます。
- 印刷前にはラベル全体の長さやレイアウトを確認してください。

!! 注意 !!

- 印刷中や、テープ送り時にACアダプタ、USBケーブル、LANケーブルをはずさないでください。「テプラ」本体の電源をOFFにしたあとに、はずしてください。
- 長いラベルを印刷する場合、印刷開始までに時間がかかる場合があります。
- カットラベルを印刷するときは、必ずカットラベルの形状を確認してください。カットラベルの形状が一致しないと正しく印刷されません。

参照☞ P.122 「カットラベル印刷をする」

次へ進みます →

④ [印刷] 画面の内容を確認する



プリンタ機種 : プリンタ機種が接続している「テプラ」本体であることを確認します。違う「テプラ」本体が選択されているときは、[キャンセル] をクリックして印刷を中止し、ツールバーで機種を選択しなおしてください。

参照☞ P.24 「画面各部の名称」

印刷部数 : 同じラベルを複数印刷するときは、「印刷部数」を変更します。複数印刷を指定しても、「貼り合わせ印刷」、「流し込み」以外では順序印刷できません。

参照☞ P.65 「データを流し込み印刷する」

参照☞ P.118 「貼り合わせラベルを印刷する（貼り合わせ印刷）」

MEMO

- 上記 [印刷] 画面で (プロパティ) をクリックすると、用紙の設定、テープカットの方法、テープ幅確認メッセージの有無などを変更できる [プロパティ] 画面が表示されます。また、メニューバーで [ファイル] - [プリンタの設定] を選択しても、[プロパティ] 画面が表示されます。この [プロパティ] から変更したプリンタドライバの設定内容はアプリケーションを終了すると初期設定に戻ります。プリンタドライバの初期設定を変更したい場合は、[コントロールパネル] から開く [デバイスとプリンターの表示] 画面で設定してください。

⑤ 内容が正しければ [印刷] をクリックする

テープ幅確認のメッセージが表示されます。

⑥ テープ幅を確認する

- テープ幅設定値：新規作成時やテープ設定などで設定した
テープ幅が表示されます。
参照☞ P.19 「新規作成」
参照☞ P.26 「テープ設定を変更する」



- 装着テープ幅：「テプラ」本体に装着されているテープカートリッジのテープ幅が表示されます。

「テープ幅設定値」と「装着テープ幅」が異なっていると、目的の印刷結果が得られません。そのときは「キャンセル」をクリックして「テープ幅設定値」と「装着テープ幅」を合わせてください。

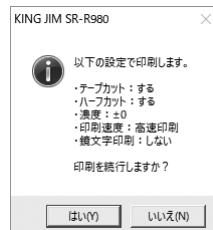
⑦ [OK] をクリックする

印刷設定確認メッセージが表示されます。

⑧ 印刷設定を確認する

カットや濃度等の設定値が表示されます。

- 参照☞ P.26 「テープ設定を変更する」



MEMO

テープ幅確認メッセージと印刷設定確認メッセージは表示しないように設定することもできます。表示しないように設定するには、「[プロパティ]」画面の「[オプション]」タブをクリックし、「テープ幅確認メッセージを表示する」または「印刷設定確認メッセージを表示する」のチェックマークをはずしてください。

⑨ [はい] をクリックする

印刷を開始します。「印刷中」の画面で「中止」をクリックすると、印刷を中止します。

!!注意!!

- ・「テープ」本体の印刷中や、テープ送り時に AC アダプタ、USB ケーブル、LAN ケーブルをはずさないでください。本体の電源を OFF にしたあとに、はずしてください。
- ・塗りつぶしの多い図形や太い文字を印刷すると、インクのにじみやツブレが発生することがあります。また、細い線や細い文字などは、カスレや抜けが発生することがあります。
- ・テープ設定ツールバーの「フチなし」にチェックを付けて印刷するとフチなし印刷になります。フチなし印刷は、印字が欠けたり乱れたりする場合があります。「フチなし」は、フチなし印刷対応機種の場合のみチェックできます（対象機種：WR1000）。
- ・カットラベルを選択したときは、ラベル端まで印刷できます。カットラベルは、カットラベル対応機種のみ選択できます（対象機種：SR-R980/SR970/SR5900P）。
参照☞ P.122 「カットラベル印刷をする」
- ・テープが終了するなどで印刷が中断されたときに印刷再開を設定する画面が表示された場合は、印刷を再開するかキャンセルするかを選択できます（対象機種：SR-R980/SR970/SR-R680/SR670/SR-R7900P/SR5900P）。
- ・一部の「テープ」本体ではテープの種類を自動で識別し、最適な設定で印刷をおこないます（対象機種：SR-R980/SR-R680/SR-R7900P）。[プロパティ] で指定した印刷設定で印刷することで品質を保証できないテープについては自動的に印刷設定を変更します。
参照☞ P.139 「テープカートリッジを使いわかる」
- ・ピック＆プリント印刷を設定しているときは、連続印刷をしても印刷されたテープを引き抜くまで次の印刷が開始されません。ピック＆プリント印刷は、対応機種のみ選択できます（対象機種：SR-R980/SR-R7900P）。
- 参照☞ P.132 「ピック＆プリント印刷をする」

文書を保存する

作ったラベルの保存は、現在のファイル名でそのまま保存する「上書き保存」と、別のファイル名を入力して保存する「名前を付けて保存」があります。

① ツールバーの[■]（保存）をクリックする

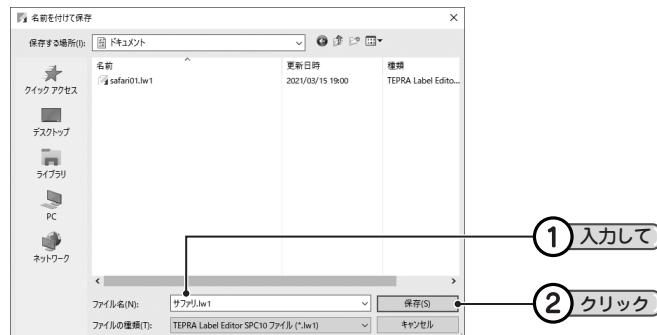
ファイルを開いた場所に同じ名前で上書き保存します。新規に作成したラベルの場合は、[名前を付けて保存]画面が表示されます（手順②へ）。



② ファイル名を入力して [保存] をクリックする

作った文書が保存され、レイアウト編集画面に戻ります。

「保存する場所」のフォルダを切り替えて保存場所を変更することもできます。



MEMO

- 上書き保存は、[ファイル] - [上書き保存]を選択しても実行できます。
- 別のファイル名で保存する場合は、[ファイル] - [名前を付けて保存]を選択します。[名前を付けて保存]を選択すると、手順②の[名前を付けて保存]画面が表示され、ファイルの名前を変更できます。

!! 注意 !!

- 上書き保存をおこなうと、開いたもとのファイルの内容が書き換わります。充分に確認してから上書き保存をしてください。
- TEPPRA Label Editor SPC10では「TEPPRA Label Editor SPC10ファイル(lw1)形式」で保存されます。「TEPPRA SPC10ファイル(tpc)形式」「SPC9 DRAW3ファイル(tpc)形式」のファイルを開いた場合も、「TEPPRA Label Editor SPC10ファイル(lw1)形式」でのみ保存することができます。
- 「TEPPRA Label Editor SPC10ファイル(lw1)形式」のファイルは「TEPPRA Label Editor SPC10」で使用可能な専用のファイル形式で、他のアプリケーションソフトではお使いになれません。

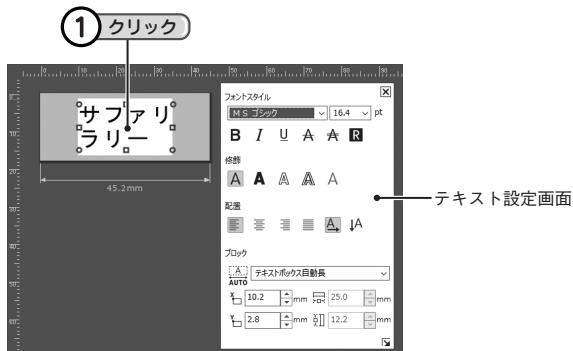
●文字の編集

入力した文字は、テキスト設定画面で書体やサイズを変更したり、装飾することができます。

書体を変更する

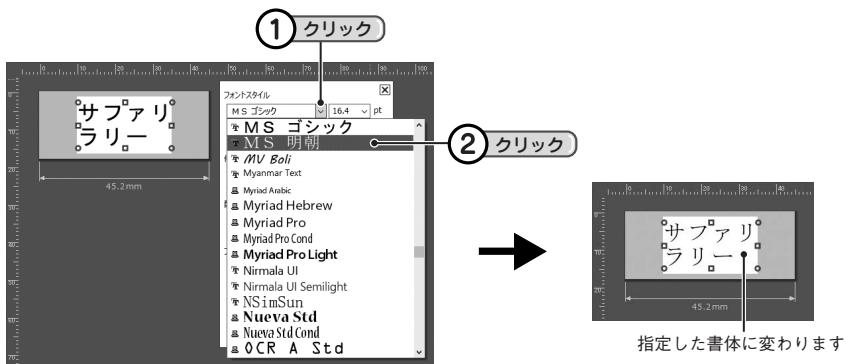
① テキストをクリックする

テキスト設定画面が表示されます。



② テキスト設定画面の【フォントスタイル】で書体を指定する

表示されるリストから書体を選択します。



MEMO

- パソコンに内蔵されている書体が指定できます。
- Unicodeにも対応しています。
- 一部のフォントを使用した場合、テキストブロックからはみ出して表示されます。表示されているテキストを白い印刷領域内に収めてください。その際、テキストブロックを動かすと残像が出ることがあるので、[表示] - [再表示]をおこなってください。

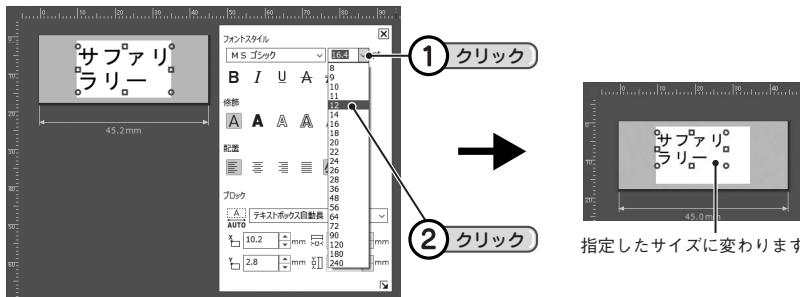
文字サイズを変更する

① テキストをクリックする

テキスト設定画面が表示されます。

② テキスト設定画面の【フォントスタイル】で文字サイズを指定する

表示されるリストから数値を選択するか、直接入力します。



MEMO

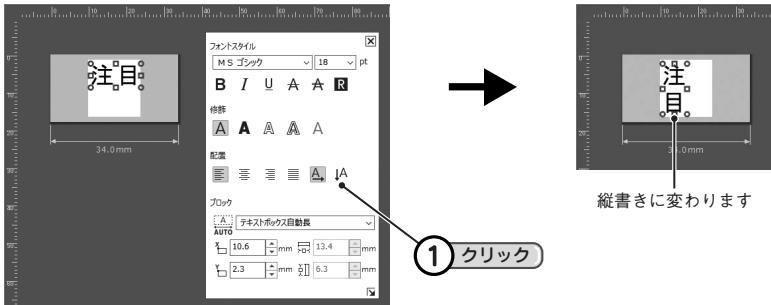
- 「テキストボックス自動長」に設定されているときは、入力文字数や文字サイズに合わせてテキストブロックのサイズが自動調整され、文字サイズを変更するとテキストブロックの大きさも文字に合わせて変わります。「テキストボックス固定長」に設定されているときは、テキストブロックの大きさはそのまま文字サイズのみ変更されます。
- 「テキストボックス固定長」で文字サイズを大きくしようとした場合、テキストブロックに文字が収まらなくなるときは文字サイズの変更が反映されません。
- 文字サイズは、テキストブロックのカドのハンドルをドラッグすると、縦横比を変えずに拡大、縮小できます。目的の文字サイズで指定するときは、上図のように数値を指定します。また、キーボードの<Shift>キーもしくは<Ctrl>キーを押しながらハンドルをドラッグすると、テキストブロックの縦横比を自由に変更しながら文字を拡大、縮小できます。

縦書きにする

① テキストをクリックする

テキストブロックがハンドルつきで表示されます。

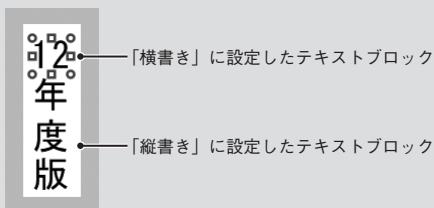
② テキスト設定画面の「A」(縦書き)をクリックする



MEMO

- ・縦書きで英数字を入力すると、文字は縦向きになります。
- ・テキストブロックを複数使うと、下図のように、縦書きと横書きが混在するラベルを作成することができます。

「テープの置き方」を「縦」に設定した場合

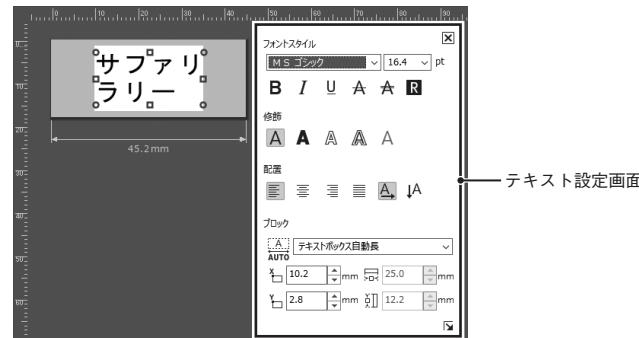


装飾を指定する

① テキストをクリックする

テキスト設定画面が表示されます。

② テキスト設定画面で装飾を指定する



- B** (太字) 文字を太字にします。
I (斜体) 文字を斜体にします。
U (下線) 文字に下線をつけます。
A (取り消し線) 文字に取り消し線をつけます。
AA (二重取り消し線) 文字に二重取り消し線をつけます。
R (白黒反転) 文字を白黒反転します。

A (装飾・装飾なし) 文字に「縁強調」「白抜き」「縁取り」「淡文字」の装飾を設定しません。
A (装飾・縁強調) 文字の輪郭を強調します。太いデザインの文字フォントや画数の多い漢字などは、ツブレが発生することがあります。
A (装飾・白抜き) 文字を白抜きにします。
A (装飾・縁取り) 文字に縁取りをつけます。
A (装飾・淡文字) 文字を淡い色にします。

≡ (左寄せ) 文字列をブロック内の左側に配置します。
≡ (中央合わせ) 文字列をブロック内の中央に配置します。
≡ (右寄せ) 文字列をブロック内の右側に配置します。
≡ (均等割付) 文字列をブロック内で均等に配置します。

A (横書き) 文字列を横書きにします。
↓A (縦書き) 文字列を縦書きにします。

AUTO (テキストボックス自動長) 入力文字数に合わせてテキストブロックのサイズを自動調整します。
FIX (テキストボックス固定長) テキストブロックのサイズを変更しません。入力文字数が増える場合は、文字サイズが小さくなります。

↖ ↗ (ブロックの座標) テキストブロックの左上の位置を指定します。
↔ ↔ (ブロックの大きさ) テキストブロックのサイズを表示します。ここでサイズを変更することはできません。

MEMO

- ・フォントや装飾は、テキストブロックを右クリックして[プロパティ]を選択しても変更できます。
- ・文字サイズは、カドのハンドルをドラッグすると、縦横比を変えずに拡大、縮小できます。また、キーボードの<Shift>キーもしくは<Ctrl>キーを押しながらハンドルをドラッグすると、テキストブロックの縦横比を自由に変更しながら文字を拡大、縮小できます。
- ・操作を間違えて編集した場合は、操作の直後であれば[編集]メニューの[元に戻す]またはundo(元に戻す)で直前の状態に戻すことができます。
- ・グラデーションなどの修飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字のツブレが発生することがあります。

[文字の設定] 画面

[文字の設定] 画面は、テキストブロックを選択してメニューバーの[編集] – [プロパティ] をクリックまたは、テキストブロックを右クリックして [プロパティ] を選択すると表示されます。

タブをクリックし、それぞれの項目を設定します。設定の結果は、右側のイメージで確認できます ([閲覧] タブは除く)。

設定変更後、[OK] をクリックすると設定が反映され、レイアウト編集画面に戻ります。

[文字] タブ



フォント 書体を選択します。
サイズ 文字サイズを選択します。
字体 字体を指定します。長体は縦長に、平体は横長になります。
スタイル 文字のスタイルを指定します。
枠 「テキストボックス自動長」と「テキストボックス固定長」を切り替えます。

[修飾] タブ



塗りつぶし 文字の表面を選択します。
白黒反転する 文字を白黒反転します。
太さ 反転したときの背景をベタ(インク色)にするか透明にするかを選択できます。
文字の輪郭 文字の輪郭を選択します。
太さ 輪郭の太さを選択します。

[影] タブ



影影の表面を選択します。

[間隔] タブ



文字間文字と文字の間を指定します。

行間行と行の間を指定します。

ベースライン文字のベースラインの位置を指定します。

[位置] タブ



プロックの座標テキストプロックの左上の位置を指定します。

プロックの大きさテキストプロックのサイズを表示します。

ここでサイズを変更することはできません。

プロックの回転角テキストプロックの回転角度を指定します。

MEMO

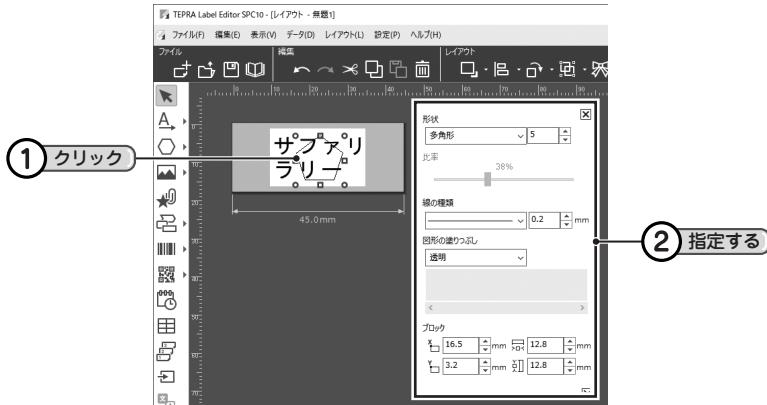
[文字の設定] 画面で変更した設定内容は、選択したテキストプロックのみに反映されますが、初期設定は変更されません。文字の設定の初期設定を変更したい場合は、[環境設定] 画面（[設定] - [環境設定] - [文字] - [スタイル] を選択）で変更できます。[環境設定] 画面での変更内容は、次回のテキストプロック挿入時より反映されます。

○図形の編集

図形は、図形設定画面で線の種類や表面の塗りつぶしを変更できます。

① 図形をクリックする

図形設定画面が表示されます。



② 図形設定画面で装飾を指定する

- 形状** : 多角形 / 星形の形状を編集できます。
角の数を 3 ~ 60 まで設定できます。
- 比率** : 星形の場合、中心から先端部分までの長さに対する、中心からくぼみ部分までの長さの比率を設定できます。比率が小さいほど頂点は細くとがった形状になります。
- 線の種類** : 実線、点線など線の種類を変更できます。線の太さを 0.1 ~ 5.0mm の範囲で設定できます。
- 図形の塗りつぶし** : 透明、ベタなど図形の塗りつぶしを変更できます。
- ブロック** : ブロックの座標…図形の左上の位置を指定します。
 ブロックの大きさ…図形のサイズを変更します。

MEMO

- 塗りつぶしを指定した際、テキストブロックが隠れて見えなくなってしまった場合は、図形ブロックを背面に移動してください。
参照☞ P.50 「前面・背面に移動する」
- 操作を間違えた場合は、直後であれば (元に戻す) で直前の状態に戻すことができます。

!! 注意 !!

塗りつぶしの多い図形を印刷すると、インクのにじみやツブレが発生することがあります。また、細い線は、カスレや抜けが発生することがあります。

[図形の設定] 画面

[図形の設定] 画面は、図形を選択してメニューバーの [編集] – [プロパティ] をクリック、図形プロックをダブルクリックまたは右クリックして [プロパティ] を選択すると表示されます。タブをクリックし、それぞれの項目を設定します。設定の結果は、右側のイメージで確認できます。設定変更後、[OK] をクリックすると設定が反映され、レイアウト編集画面に戻ります。

[線] タブ

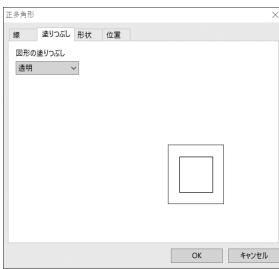


線の種類 線の種類を選択します。

線の太さ 線の太さを選択します。

マーカー 線を矢印にする場合の形状を指定します。

[塗りつぶし] タブ

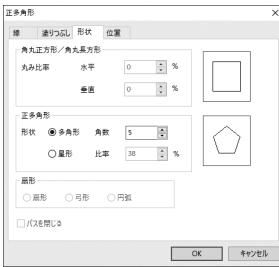


图形の塗りつぶし 図形の表面の模様を選択します。

「パターン」と「グラデーション」を選択した場合は、さらに模様やグラデーションの種類を選択できます。

連続直線や自由線、ベジェ曲線で描画した図形を塗りつぶすときは、あらかじめ [形状] タブの「パスを閉じる」で閉じた図形に設定してください。

[形状] タブ



角丸正方形／角丸長方形

..... 角の丸みを % で指定します。

正多角形 形状と角数を指定します。星形の場合は比率も指定します。

扇形 形状を扇形、弓形、円弧から選択します。扇形は円の中心から線が引かれた扇形になります。弓形は曲線部分を直線で結んだ状態、円弧は曲線部分のみの表示になります。

パスを閉じる 連続直線や自由線、ベジェ曲線で描画した図形を閉じた形状（線で囲まれた図形）にします。塗りつぶしを設定するには、この処理が必要です。

[位置] タブ



ブロックの座標.....図形プロックの左上の位置を指定します。

ブロックの大きさ.....図形プロックのサイズを指定します。

ブロックの回転角....図形プロックの回転角度を指定します。

MEMO

【図形の設定】画面で変更した設定内容は、選択した図形プロックのみに反映されますが、初期設定は変更されません。図形の設定の初期設定を変更したい場合は、【環境設定】画面（【設定】－【環境設定】－【形状】を選択）で変更できます。【環境設定】画面での変更内容は次回の図形挿入時より反映されます。

● ブロックを編集する

テキストブロックや図形ブロックは、位置を移動したり、同じものを複写することができます。また、重なって隠れている部分の前後を入れ替えたり、複数の要素の位置を揃えて並べることができます。

移動する

例：多角形を後ろに移動する

① 移動するブロックをクリックする

ブロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。

① クリック



② ブロックをドラッグして位置を移動する



MEMO

- 操作を間違えた場合は、直後であれば (元に戻す) で直前の状態に戻すことができます。
- 選択されているブロックは、ツールバーの (配置)、もしくはメニューバーの [レイアウト] - [配置] から、 (テープの先端) で左端に、 (テープの末端) で右端に移動できます。
- 選択されているブロックは、パソコンのカーソルキーでも位置を移動できます。

複写する

ブロックをコピーして貼りつけると、同じものが複写できます。

例：多角形を後ろにコピーする

① 複写するブロックをクリックする

ブロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。

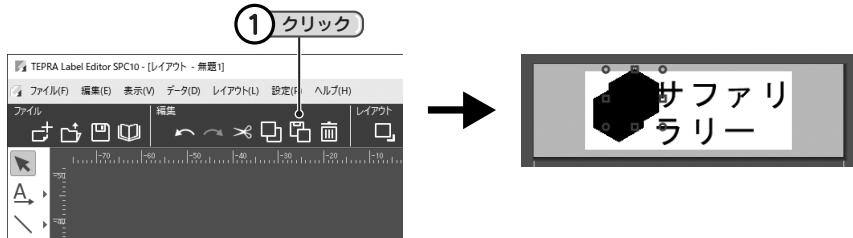
① クリック

② ツールバーの (コピー) をクリックする

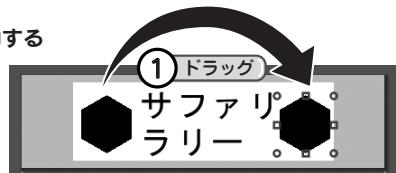
ブロックがクリップボードにコピーされます
(表示は変わりません)。



- ③ ツールバーの  (貼り付け) をクリックする
ブロックがラベル上に貼りつけられます。



- ④ 貼りつけたブロックをドラッグして位置を移動する



MEMO

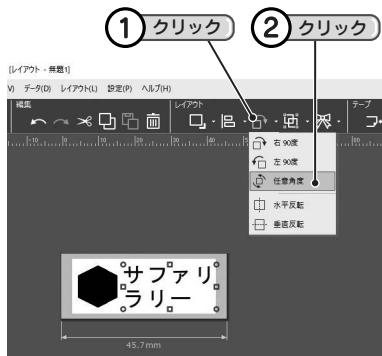
- 手順②で [コピー] の代わりに [切り取り] を選択すると、選択したブロックが削除されます。
そのあとに [貼り付け] を選択すると、切り取ったブロックを貼りつけることができます。
- 手順③でさらに [貼り付け] を選択すると、続けて複数貼りつけることができます。
- 他のソフトでテキストや図形を [コピー] または [切り取り] したあと、このソフト上で [貼り付け] を選択すると、テープ上に貼りつけることができます。
- 操作を間違えた場合は、直後であれば  (元に戻す) で直前の状態に戻すことができます。
- [コピー] や [貼り付け] などは、ブロックを選択した状態で [編集] メニューから指定することもできます。また、右クリックをしても表示されます。
- コピーするブロックを選択したあと、パソコンのキーボードの <Ctrl> キーを押しながらブロックをドラッグしてもコピーできます。

回転する

例：テキストブロックを任意の角度に回転する

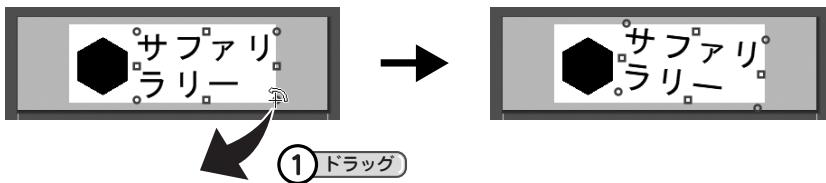
- ① 回転させたいブロックをクリックする
ブロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。
- ② ツールバーの  (回転) - [任意角度] を選択する

回転が指定できるようになります（マウスカーソルをハンドルに近づけると、矢印に変わります）。



③ ハンドルをドラッグして回転させる

マウスを離すと、回転角度が固定されます。



MEMO

- 手順②で【右 90 度】や【左 90 度】を選択すると、右または左に 90 度回転します（手順③の操作は不要です）。
- 手順③の操作あとでさらに回転したいときは、再度手順②の操作をします。
- 操作を間違えた場合は、直後であれば [戻] (元に戻す) で直前の状態に戻すことができます。

反転する

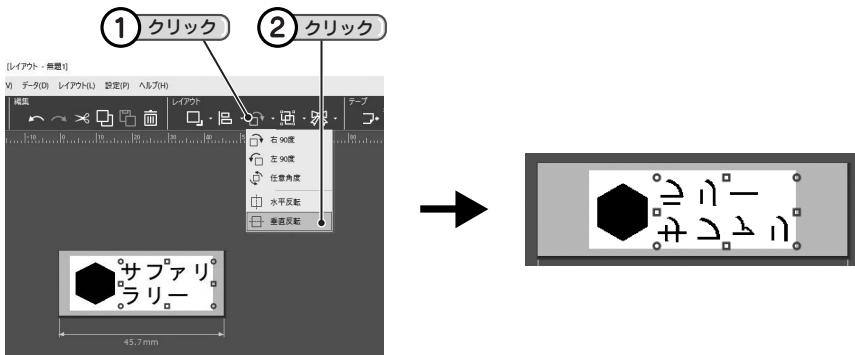
例：テキストブロックを垂直反転する

① 反転するブロックをクリックする

ブロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。

② ツールバーの [回転] (回転) - 【垂直反転】を選択する

上下に反転します。



MEMO

- 手順②で【水平反転】を選択すると、左右に反転します。
- 操作を間違えた場合は、直後であれば [戻] (元に戻す) で直前の状態に戻すことができます。
- グループ化したブロックおよび流し込み機能による流し込み枠は、【垂直反転】【水平反転】は選択できません。

前面・背面に移動する

プロックが重なって隠れてしまった場合、それぞれのプロックを背面や前面に移動することができます。

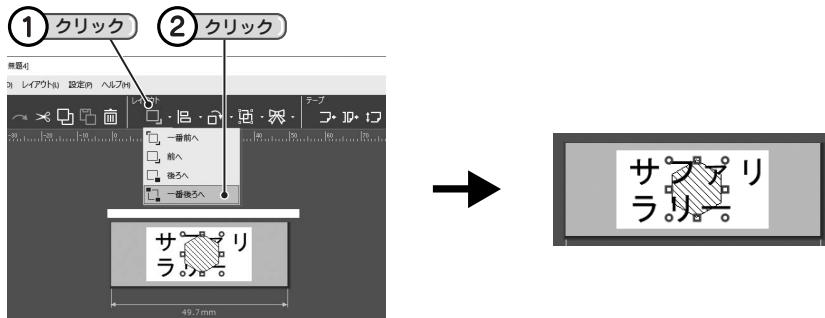
例：図形プロックをテキストプロックの背面に移動する

① 移動するプロックをクリックする

プロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。

② ツールバーの□（重ね順） - 「一番後ろへ」を選択する

図形プロックがテキストプロックの背面になります。



一番前へ	選択されているプロックを、重なっている図形の最前面に移動します。
前へ	選択されているプロックを、重なっている中で 1 段階だけ前面に移動します。
後ろへ	選択されているプロックを、重なっている中で 1 段階だけ背面に移動します。
一番後ろへ	選択されているプロックを、重なっている図形の最背面に移動します。

MEMO

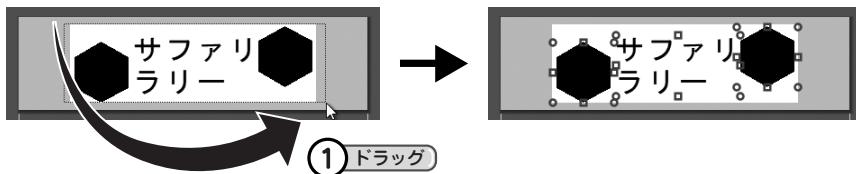
- 手順②で「後ろへ」を繰り返しあこなっても同じ結果になります。
- 手順①でテキストプロックを選択し、手順②で「一番前へ」を選択しても同じ結果になります。
- プロックの前後関係によっては、背面のプロックをマウスで選択できない場合があります。この場合は、前面のプロックを「後ろへ」移動するなどすれば、選択できるようになります。
- 操作を間違えた場合は、直後であれば▣（元に戻す）で直前の状態に戻すことができます。
- 特に設定しない場合、プロックは作った順に上に重なります。
- 前後の移動コマンドは、プロックを選択した状態で右クリックをしても表示されます。

位置を揃える

例：各ブロックの上下中央を指定した位置（またはブロック）に揃える

① すべてのブロックをマウスでドラッグして囲む

すべてのブロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。



MEMO

パソコンのキーボードの<Shift>キーを押しながら各ブロックをクリックしても、複数のブロックを選択できます。すべてのブロックを選択する場合は、[編集] – [全体選択] を選択します。

② ツールバーの□（配置） – [上下中央揃え] を選択する

選択しているブロック同士の上下中央位置に移動します。



MEMO

- ツールバーの  (配置) 機能には次の機能があります。
 - テープの先端..... 印刷範囲 (白い部分) 上下中央の左端に配置します。選択されたブロックが複数ある場合は、ブロック間の上下位置は変更されません。
 - テープの末端..... 印刷範囲 (白い部分) 上下中央の右端に配置します。選択されたブロックが複数ある場合は、ブロック間の上下位置は変更されません。
 - 左右中央 ラベルの左右中央に揃えます (テープ長「定長」設定時のみ)。
 - 上下中央 ラベルの上下中央に揃えます。
 - 左揃え 選択した最も左側のブロックの位置に他のブロックが移動します。
 - 左右中央揃え..... 選択したブロックの左右中央に揃えます。
 - 右揃え 選択した最も右側のブロックの位置に他のブロックが移動します。
 - 上揃え 選択した最も上側のブロックの位置に他のブロックが移動します。
 - 上下中央揃え..... 選択したブロックの上下中央に揃えます。
 - 下揃え 選択した最も下側のブロックの位置に他のブロックが移動します。
 - 水平等間隔 左右の間隔がすべて同じになるよう配置します (ブロックが3つ以上選択されている場合のみ)。
 - 垂直等間隔 上下の間隔がすべて同じになるよう配置します (ブロックが3つ以上選択されている場合のみ)。
- [左揃え]、[左右中央揃え]、[右揃え] ではブロック間の上下位置は変更されません。
 - [上揃え]、[上下中央揃え]、[下揃え] ではブロック間の左右位置は変更されません。
 - 操作を間違えた場合は、直後であれば  (元に戻す) で直前の状態に戻すことができます。
 - 印刷範囲 (白い部分) が複数ある場合は選択したブロックから最も近い印刷範囲内に移動します。

ブロックをロックする

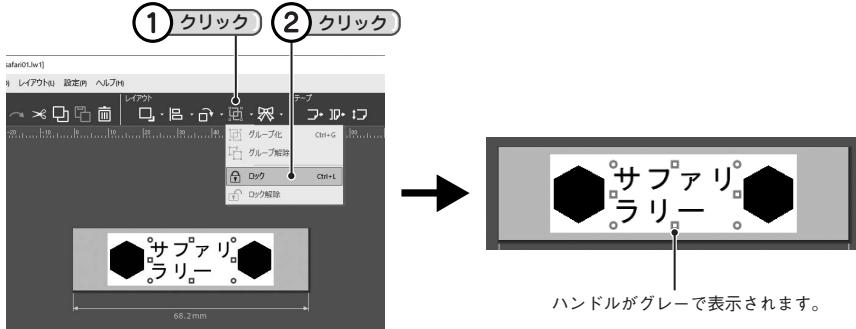
テキストブロックや图形ブロックをロックすると、そのブロックが編集できなくなります。誤って変更すると困る内容は、ロックしておくと安心です。

① ロックしたいブロックをクリックする

ブロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。

② ツールバーの団 (グループ化) – [ロック] を選択する

選択しているブロックがロックされ、編集できなくなります。



MEMO

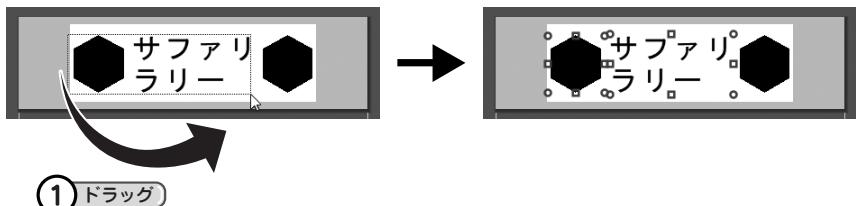
- ロック中のブロックは、選択したときのハンドルがグレーで表示されます。
- ロックを解除するには、ブロックを選択し、ツールバーの団 (グループ化) – [ロック解除] を選択します。

ブロックをグループ化する

複数のブロックをグループ化すると、一体のブロックとして編集できるようになります。まとめて位置やサイズを変更したい場合などに便利です。

① グループ化したいブロックをマウスでドラッグして囲む

ブロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。

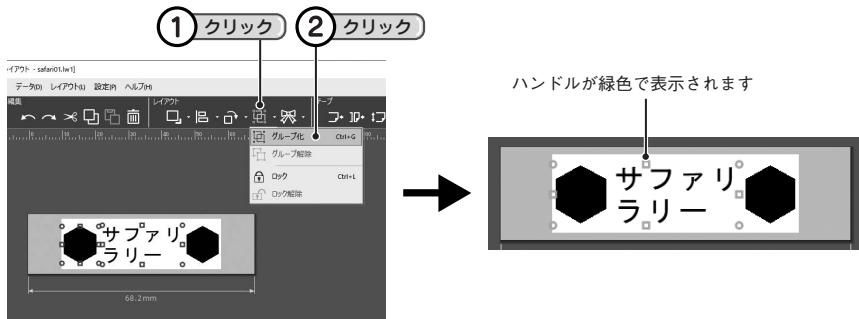


MEMO

- パソコンのキーボードの<Shift>キーを押しながら各ブロックをクリックしても、複数のブロックを選択できます。
- すべてのブロックを選択する場合は、[編集] – [全体選択] で選択できます。

② ツールバーの[団] (グループ化) - [グループ化] を選択する

選択しているプロックがグループ化されます。



MEMO

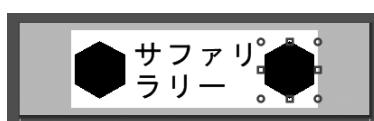
- ・グループ化したプロックは、選択したときのハンドルが緑色で表示されます。
- ・グループ化したプロックは、反転することができません。
- ・グループを解除するには、プロックを選択し、ツールバーの[団] (グループ化) - [グループ解除] を選択します。
- ・[グループ化] は、プロックを選択した状態で右クリックをしても表示されます。

削除する

例：後ろの图形プロックを削除する

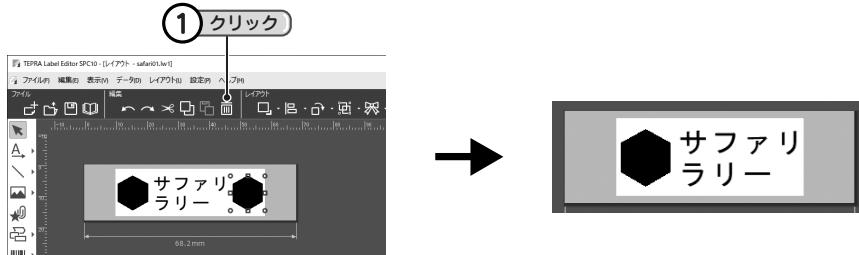
① 削除するプロックをクリックする

プロックが選択され、ハンドルつきで表示されます。



② ツールバーの[図] (削除) をクリックする

選択していたプロックが削除されます。



MEMO

- ・手順②でパソコンのキーボードの< Delete >キーを押しても削除できます。
- ・手順②で「編集」 - 「削除」または「編集」 - 「切り取り」を選択しても削除できます。
- ・すべてのプロックを削除する場合は、「編集」 - 「全体選択」で全プロックを選択してから削除します。
- ・操作を間違えた場合は、直後であれば[戻] (元に戻す) で直前の状態に戻すことができます。
- ・[削除] は、プロックを選択した状態で右クリックをしても表示されます。

機能編

「TEPRA Label Editor SPC10」で凝ったラベルを作るときの機能を説明します。文字を翻訳して挿入する、画像やイラストを自由に配置する、バーコードを入れるなど様々なデザインのラベルを作成できます。

●文字を翻訳する

TEPRA Label Editor SPC10 では、Google 翻訳機能を利用して、テキストブロックの文字列を外国語に翻訳し、外国語ラベルを作成することができます。対応している言語は、以下のとおりです。

イタリア語	インドネシア語	スペイン語	ドイツ語	トルコ語
フランス語	ベトナム語	ポルトガル語	マレー語	ロシア語
英語	韓国語	中国語（簡体）	中国語（繁体）	日本語

!! 注意 !!

- Google 翻訳の利用により使用者が被った被害について当社は一切責任を負いませんのでご了承ください。
- 翻訳機能の利用には、インターネットへの接続環境が必要です。インターネットに接続されたパソコンから利用してください。
- 翻訳できるのは、通常のテキストのみです。次の形式のテキストは翻訳できません。
 - ・流し込みデータ
 - ・複数選択されたテキストブロック内のテキスト
 - ・グループ化されたテキストブロック内のテキスト
 - ・ロックされたテキストブロック内のテキスト
- 一度に翻訳できるのは 3 言語（元言語を除く）までです。
- 翻訳機能は正しく翻訳されない場合があります。

1 ツールボックスの (翻訳) をクリックする

[翻訳] 画面が表示されます。



MEMO

ツールボックスの [翻訳] は、テキストブロックが選択されているとき、またはレイアウト編集画面のテキストブロックがあるときに選択できます。

② 原文の設定を行う



①原文言語リスト : 原文（翻訳したい文字列）の言語をリストから選択します。

②原文テキストボックス : 原文(翻訳したい文字列)を入力します。100文字まで入力できます。

MEMO

手順①でテキストブロックを選択した状態で【翻訳】をクリックした場合は、その文字列が原文テキストボックスに表示されます。

③ 訳文の設定を行う



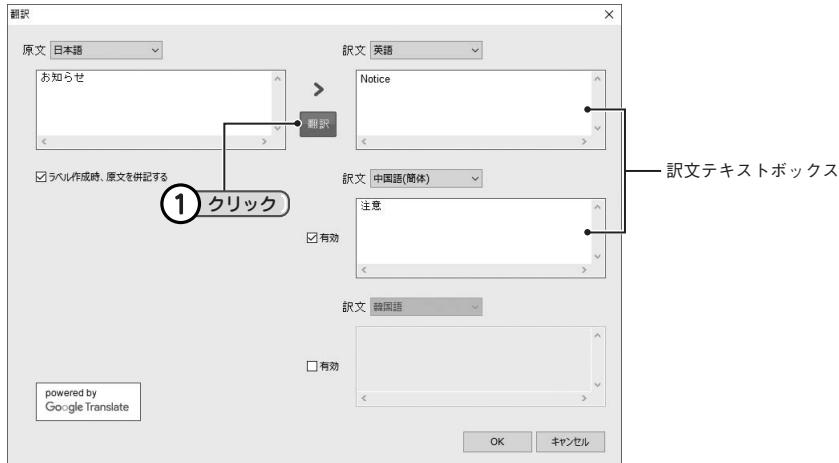
①訳文言語リスト : 訳文を表示させる言語をリストから選択します。

②訳文有効チェックボックス : 複数言語の訳文を表示させたいときにチェックを付けます。

次へ進みます →

④ [翻訳] をクリックする

訳文テキストボックスに訳文が表示されます。



!!注意!!

- ・原文に改行が含まれる場合、訳文からは改行は削除されます。
- ・一度に翻訳できるのは3言語（元言語を除く）までです。

⑤ ラベルに印刷する言語を選択する

原文を残す場合は、「ラベル作成時、原文を併記する」にチェックを付けます。

訳文有効チェックボックスのチェックをはずすと、その言語の訳文はラベルに挿入されません。

⑥ [OK] をクリックする

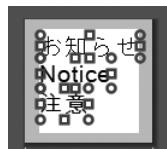
訳文が挿入されます。

例：

<原文を併記しない場合>



<原文を併記する場合>



MEMO

- ・原文のテキストボックス、文字フォント、装飾は、翻訳前と同じ設定で表示されます。
- ・訳文のテキストボックス、文字フォント、装飾は、次の設定で表示されます。翻訳後は、必要に応じて文字の編集をおこなってください。参照☞P.38「文字の編集」
 - ・テキストボックス：テキストボックス自動長
 - ・文字フォント：日本語はMSゴシック、ドイツ語はArial、その他の言語はArial Unicode MS（パソコンに「Arial Unicode MS」のフォントが搭載されていない場合、翻訳後の文字列が正しく表示されないことがあります。）
 - ・装飾：なし

!!注意!!

言語によっては対応していないフォントがあります。フォントを変更する場合は、正しく表示されることを確認してから印刷してください。

参考

翻訳のコツ

翻訳機能では機械的な翻訳をおこなっています。翻訳の精度を上げるために、以下の点にご注意ください。

- ・あいまいな表現を避け、なるべく短く簡潔な文章にする
- ・略語を使用しない
- ・できるだけ漢字を使用する
- ・口語体や俗語、丁寧すぎる文章を使用しない
- ・文中に余計な句読点を入れない

● 流し込み機能

流し込み操作の流れ

TEPRA Label Editor SPC10 では、あらかじめ作っておいたデータの項目をラベルにレイアウトして印刷する機能があります。住所録からあて名ラベルを作るときや、管理表から備品管理ラベルを作るときなどに便利です。

① データ作成

流し込み用のデータは、データ設定画面で作成します。

TEPRA Label Editor SPC10 でデータ設定画面を開き、住所など必要な項目を入力します。

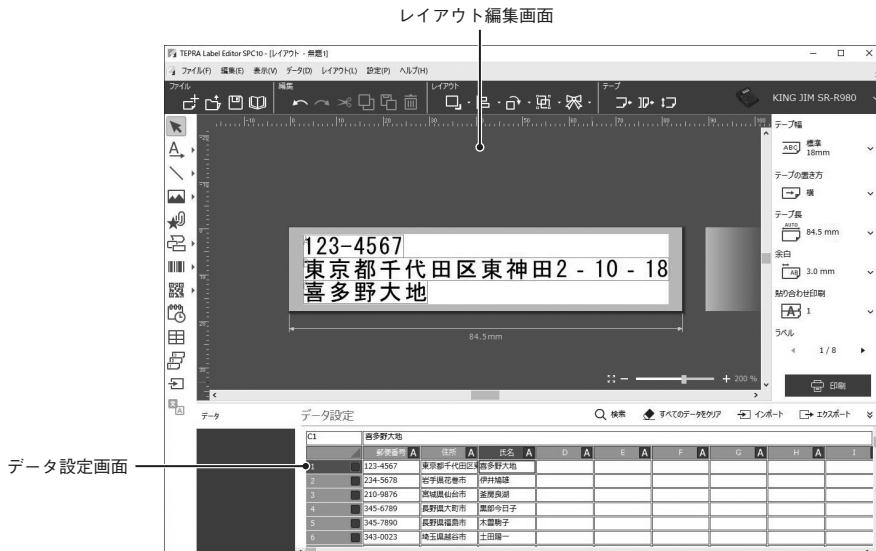
データ設定画面に他のアプリケーションで作った「XLS形式」、「XLSX形式」、「XLSM形式」、「TXT形式」、「CSV形式（カンマ区切りのテキスト）」のデータを読み込むこともできます。

参照☞ P.61 「データを新規作成する」

② 流し込み（レイアウト操作）

データ設定画面のデータをレイアウト編集画面のラベル上に列単位で流し込み、レイアウトします。

参照☞ P.64 「データを流し込む」



③ 印刷

印刷します。

データが行ごとに流し込まれ、複数枚のラベルが連続して印刷されます。

参照☞ P.65 「データを流し込み印刷する」

データを新規作成する

データ設定画面を開き、流し込み用のデータを新規に作成します。

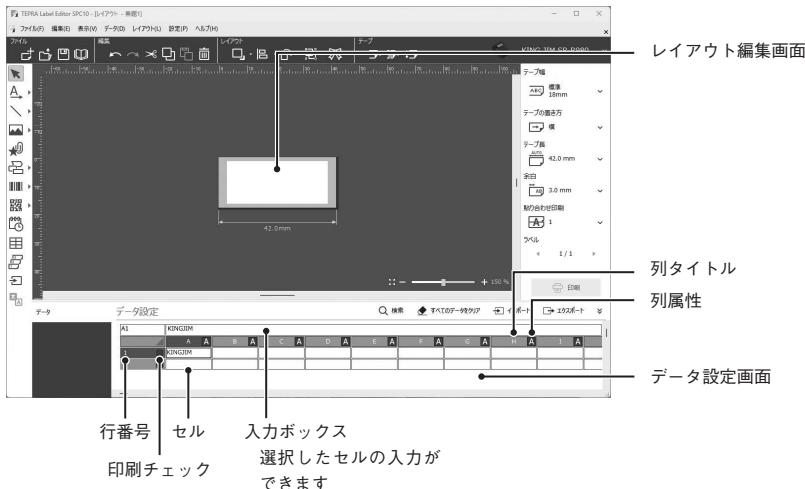
- 1 [新規 / 開く] 画面で、[流し込み (横書き)] または [流し込み (縦書き)] をクリックする
参照☞ P.19 「新規作成」

- 2 [流し込みデータ新規作成] をクリックする

表示される [流し込み] 画面で [流し込みデータ新規作成] をクリックします。

データ設定画面が表示されると、データを入力できます。

参照☞ P.63 「データを入力する」



セル	データを入力する枠です。選択しているセルには太い枠がつきます。
列タイトル	その列のタイトルをつけられます。 タイトルをつけない場合は、A、B…となります。
列属性	その列のデータの種類を示します。属性アイコンには、以下の種類があります。 A (テキストデータ) (イメージデータ) (バーコード) 参照☞ P.72 「テキスト以外のデータを入力する」
行番号	何行目かを示します。選択している行がハイライト表示されます。
印刷チェック	流し込み印刷時に、チェックマークをつけた行のみ印刷することができます。

MEMO

新規作成時のウインドウに、レイアウト編集画面とデータ設定画面を同時に表示させる場合は、[設定] - [環境設定] - [表示] から [作業領域] 項目で変更することができます。

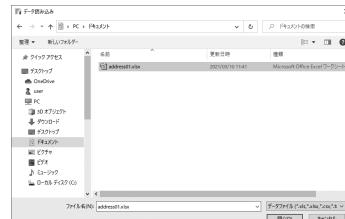
既にあるデータを読み込む

既にTEPRA Label Editor SPC10 や市販のアプリケーションで作ってあるデータを読み込んで利用することができます。

- ① データ設定画面の「」(インポート)を選択する
[データ読み込み]画面が表示されます。



- ② ファイルを指定して【開く】をクリックする
[データ読み込み]画面にファイルがない場合は、フォルダを切り替えて保存した場所を表示させます。

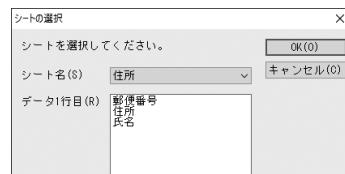


- ③ Excel ファイルの場合は、シート名を選択し、
【OK】をクリックする

「CSV 形式」、「TXT 形式」の場合はこの手順は不要です。

データ設定画面が表示され、データを流し込めます。

参照☞ P.64 「データを流し込む」



MEMO

- ・流し込みデータは【ファイル】→【データ】→【インポート】を選択しても読み込むことができます。
- ・読み込めるデータは、「XLS 形式」、「XLSX 形式」、「XLSM 形式」、「TXT 形式」、「CSV 形式（カンマ区切りのテキスト）」のファイルです。
- ・既にデータ設定画面にデータが入力されているときは「読み込み方法の選択」画面が表示されますので、読み込み方法を選択してください。
- ・データの1行目を列タイトルとして使用するかどうか選択できます。
- ・Excel ファイルを読み込む場合は、以下の点に注意してください。
 - ・読み込みできるデータは、Microsoft Excel 2002/2003/2007/2010/2013/2016/2019 のファイルです。
 - ・列のタイトルに半角スペースのみが使われている場合は、列タイトルとして読み込まれません。
 - ・Excel の表示形式で指定した日付や通貨表示等は読み込まれません。
 - ・Excel ファイルの計算式は反映されません。
 - ・数値データは、桁数が多いと指数表示や異なる値で読み込まれる場合があります。Excel でのセルの表示形式を文字列として入力したデータをお使いください。
 - ・セルの表示形式が「数値」のものと「文字列」のものが複雑に混在しているデータを読み込む場合、一部のセルの値が読み飛ばされることがあります。このようなデータを読み込む際には、そのシートを「CSV 形式」で保存してから使用してください。
 - ・保存時に既存のファイル名を指定した場合、ファイルそのものが上書きされます。
- ・参照☞ P.66 「データを保存する」
- ・データ設定画面の入力内容を全て削除したい場合、「すべてのデータをクリア」をクリックします。
※列属性、列タイトルは削除されません。

!!注意!!

「XLS 形式」、「XLSX 形式」、「XLSM 形式」のデータを読み込むには、各ファイル形式に対応した Microsoft Excel がパソコンにインストールされている必要があります。

データを入力する

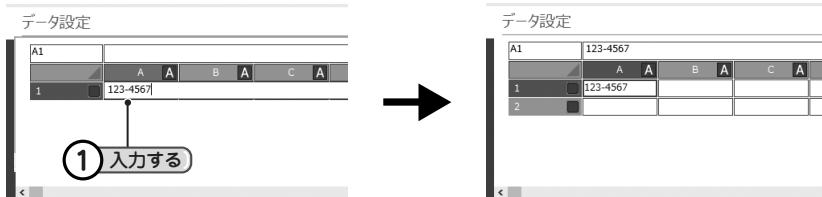
データ設定画面にデータを入力します。

例：あて名ラベル用の住所データを作る

① 1行目の最初のセルをダブルクリックしてデータを入力する

ダブルクリックすると、セル内にカーソルが表示されて入力できます。

入力後 <Enter> キーを押すか、入力したセル以外の場所をクリックすると、自動的に 2 行目が表示されます。



MEMO

Unicode を使用できますので、多国語のテキストデータにも対応します。

② 同様に、2列目以降を入力し、1行目を完成させる

MEMO

文字（テキストデータ）以外を入力する場合は列属性を変更します。

参照☞ P.72 「テキスト以外のデータを入力する」

データ設定

A2	A	A	B	A	C	A
1	■	123-4567			東京都千代田区東	吉多野大地
2	■	234-5678			岩手県花巻市	伊井知雄

③ 同様に、2行目以降を入力し、データを完成させる

作ったデータはラベルに流し込んで印刷できます。

MEMO

1行目の入力内容はラベルの1枚目に流し込むことができます。2行目の入力内容はラベルの2枚目に流し込むことができます。

データ設定

A5	A	A	B	A	C	A
1	■	123-4567			東京都千代田区東	吉多野大地
2	■	234-5678			岩手県花巻市	伊井知雄
3	■	210-9876			宮城県仙台市	釜房良湖
4	■	345-6789			長野県大町市	黒部今日子
5	■	345-7890				

④ データ流し込み作業をおこない、ラベルを印刷する

参照☞ P.64 「データを流し込む」

参照☞ P.65 「データを流し込み印刷する」

データを流し込む

作ったデータや読み込んだデータをラベル上にレイアウトすると、自動的にデータが流し込まれます。

例：あて名ラベルをレイアウトする

① ラベルに流し込みたい列タイトルをドラッグし、ラベル上に移動する

列タイトルにマウスカーソルを合わせると、カーソルが手の形に変わります。

ドラッグすると、ラベル上にデータが流し込まれ、流し込み枠が表示されます。



② 同様に、必要な列タイトルをドラッグする

③ 流し込み枠の位置とサイズを変更してレイアウトする

移動やサイズ変更は、テキストブロックや図形ブロックの操作と同じです。



MEMO

データの流し込みは、データ設定画面の (インポート) もしくは [ファイル] - [データ] - [インポート] からも流し込めます。

!!注意!!

- 流し込み枠の文字サイズは、流し込み枠を超える大きさに設定することはできません。大きくしたい場合は、流し込み枠のハンドルをドラッグして流し込み枠の大きさを変更してください。
- 流し込み枠の横幅（縦向きの場合は縦幅）は文字数によって変化しますが、流し込み枠の縦幅（縦向きの場合は横幅）は1行分のサイズで固定されます。行数が多い場合、文字サイズを小さくし、流し込み枠内にデータが入るように処理されます。
- 縦書きで英数字を入力すると、文字は縦向きになります。
- 流し込み枠内の文字書式はテキストブロック同様にテキスト設定画面で指定できます。
参照☞ P.38 「文字の編集」
- 流し込み枠の枠設定や位置、参照先変更については、流し込み枠を選択し、右クリック→[プロパティ] をクリックするか、流し込み枠をダブルクリックして表示する [流し込み] 画面で指定できます。
- テープ長設定が「自動」の場合、流し込み枠は自動長になります。テープ長設定が「定長」の場合、流し込み枠は固定長になります。

データを流し込み印刷する

① 印刷する行に印刷チェックマークをつける

印刷する各行番号の右側のボックスをクリックしてチェックマークをつけます。すべての行を印刷するときはチェックマークは不要です。

MEMO

チェックマークは、あらかじめ、目的の行のセルを範囲選択しておき、右クリックをして【印刷チェック】から【選択部分をチェック】を指定することで、一括でチェックを付けることができます。

② 【印刷】をクリックする

【印刷】画面が表示されます。

データ設定

C1	郵便番号 A	住所 A	氏名 A
1	123-4567	東京都千代田区東吾多野大地	
2	234-5678	岩手県花巻市伊井雄	
3	210-9876	宮城県仙台市善房良湖	
4	345-6789	長野県大町市黒部今日子	
5	345-7890	長野県福島市木曾駒子	
6	343-0023	埼玉県越谷市土田陽一	

① クリック

区東神田2-10-18



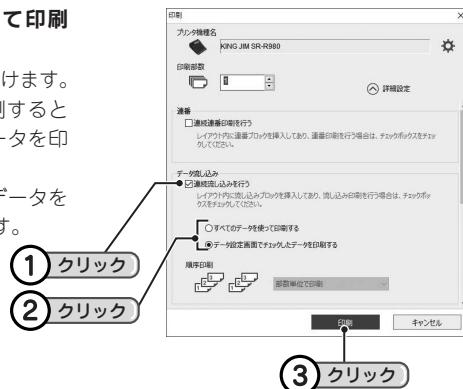
① クリック

③ 「データ流し込み」の印刷条件を指定して印刷する

「連続流し込みを行う」にチェックマークをつけます。印刷チェックマークをつけた行のみを印刷するときは、「データ設定画面でチェックしたデータを印刷する」を選択してから印刷します。

すべての行を印刷するときは、「すべてのデータを使って印刷する」を選択してから印刷します。

参照☞ P.33 「印刷する」



MEMO

- 手順③の印刷画面にならないときは【() 詳細設定】をクリックしてください。
- 同じラベルを複数印刷するときは、「印刷部数」を変更します。その際、「部数単位で印刷」を選択すると、1行目、2行目…とデータ順に流し込み印刷をします。「ページ単位で印刷」を選択すると、同じ行を指定枚数分続けて流し込み印刷をしてから次の行を印刷します。
- 貼り合わせラベルで複数印刷をするときは、「貼り合わせ印刷」の順序印刷と「流し込み」の順序印刷をそれぞれ選択できます。

参照☞ P.118 「貼り合わせラベルを印刷する（貼り合わせ印刷）」

データを保存する

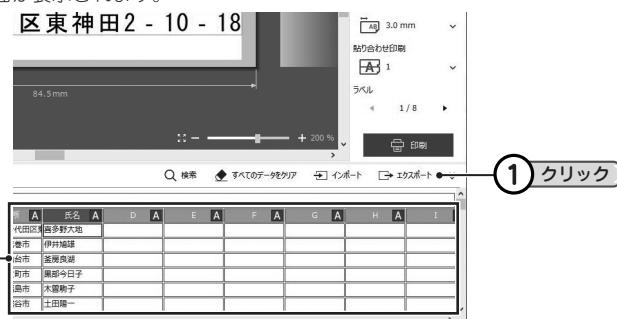
作ったデータは、データのみを保存する方法（「XLS 形式」、「XLSX 形式」、「TXT 形式」、「CSV 形式」と、レイアウトしたラベルごと保存する方法（ラベルデータの保存）があります。

データのみ保存する

データ設定画面に入力したデータのみ保存します。

① データ設定画面の □→ (エクスポート) を選択する

[データ保存] 画面が表示されます。



② ファイル名を入力して [保存] をクリックする

データ入力画面部分が保存されます。

フォルダを切り替えて保存場所を変更することもできます。



MEMO

- データの保存は、[ファイル] - [データ] - [エクスポート] を選択しても保存できます。
- 保存できるファイルの形式は、「XLS 形式」、「XLSX 形式」、「TXT 形式」、「CSV 形式（カンマ区切りのテキスト）」のファイルです。データのみを保存し、列属性の指定は保存されません。
- 「XLS 形式」、「XLSX 形式」で保存すると、列タイトルが 1 行目のデータとして保存されます。「CSV 形式」、「TXT 形式」の場合、列タイトルを 1 行目のデータとするかどうかを選択できます。
- Microsoft Excel ドライバの仕様により、特定のコードを列タイトルに含むデータの保存もしくは読み込みにおいて、エラーになる場合があります。
- 保存したデータを読み込むときは、□ (インポート) でファイルを指定します。
- (エクスポート) では、レイアウトしたラベルは保存されません。

すべて（データとレイアウトしたラベル）を保存する

ラベルを保存する操作と同様、[ファイル] - [上書き保存] または [名前を付けて保存] で保存すると、ラベルレイアウトにデータを含めた状態で保存されます。

参照☞ P.37 「文書を保存する」

行や列を挿入する

- ① 挿入位置の直後の行または列をクリックして選択し、[データ] の [行挿入] または [列挿入] を選択する

行または列が挿入されます。



行や列を削除する

- ① 削除する行または列をクリックして選択し、[データ] の [行削除] または [列削除] を選択する

選択した行または列が削除されます。



MEMO

- ・[貼り付け] コマンドでデータを貼りつけると、そのセルのもとのデータは削除され、貼りつけたデータになります。
- ・行全体を選択して [削除] すると、その行そのものが削除されます（行削除と同様の結果になります）。列全体を選択して [削除] すると、セル内のデータのみ削除し、列は空白のまま残ります。
- ・[行挿入] [行削除] [列挿入] [列削除] は、行や列を選択した状態で右クリックをしても表示されます。

セルを挿入する

- ①挿入位置の直後から始まるセルまたはセル範囲を選択し、[データ] の [セル挿入] を選択する
[セル挿入] 画面が表示されます。

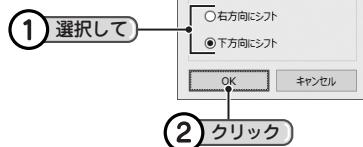
②クリック

③クリック



①クリック

- ②セルまたはセル範囲を挿入する方向を選択する
選択されたセルまたはセル範囲が右方向もしくは下方向に移動します。



②クリック

セルを削除する

- ①削除するセルまたはセル範囲を選択し、[データ] の [セル削除] を選択する
[セル削除] 画面が表示されます。

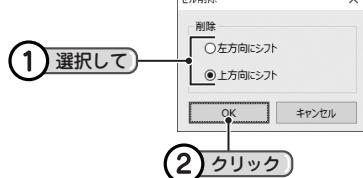
②クリック

③クリック



①クリック

- ②セルまたはセル範囲を削除する方向を選択する
削除されたセルまたはセル範囲の右側もしくは下側が移動します。



②クリック

MEMO

- セルまたはセル範囲を選択して [削除] すると、セル内のデータのみ削除し、セルは空白のまま残ります。
- 操作を間違えた場合は、直後であれば (元に戻す) で直前の状態に戻すことができます。
- [セル挿入] / [セル削除] は、セルまたはセル範囲を選択した状態で右クリックをしても表示されます。

行を並び換える（ソート）

行の表示順を郵便番号順や読み順などに並び換えることができます。

例：郵便番号が数字順（JIS コード順）になるように並び換える

① [データ] - [ソート] を選択する

[ソート] 画面が表示されます。



② 「並び」と「優先順位」を選択する

「並び」では並び換える順番を選択します。

「優先順位」では、並び換えのキーワードになる列を選択します。

ここでは、郵便番号が入力してある「A 列」を選択します。



MEMO

- 第2優先、第3優先は、第1優先の列に同じ内容のセルがあるときのキーワードになります。
- データは文字列としてソートされます。

③ [OK] をクリックする

データが並び換えられます。

データ設定				
A1	123-4567	郵便番号 A	住所 A	氏名 A
1	123-4567	東京都千代田区	吉多野大地	
2	234-5678	岩手県花巻市	伊井雄雄	
3	210-9876	西城道内市	釜房良湖	
4	345-6789	長野県大町市	黒川今日子	
5	345-7890	長野県飯島市	太雷耕子	
6	343-0023	埼玉県越谷市	土田圭一	



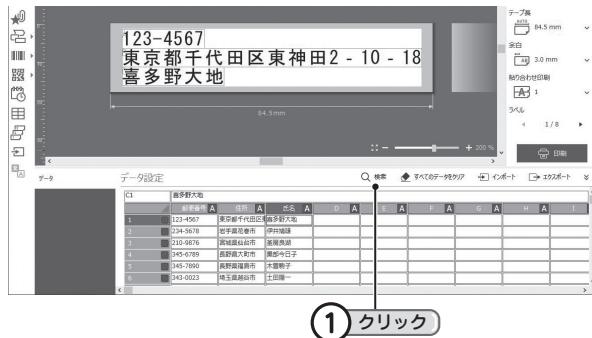
データ設定				
A1	123-4567	郵便番号 A	住所 A	氏名 A
1	123-4567	東京都千代田区	吉多野大地	
2	210-9876	西城県仙台市	釜房良湖	
3	233-0000	神奈川県横浜市	下平みゆき	
4	234-5678	岩手県花巻市	伊井雄雄	
5	326-0062	栃木県足利市	街川キミコ	
6	343-0023	埼玉県越谷市	土田圭一	

データを検索する

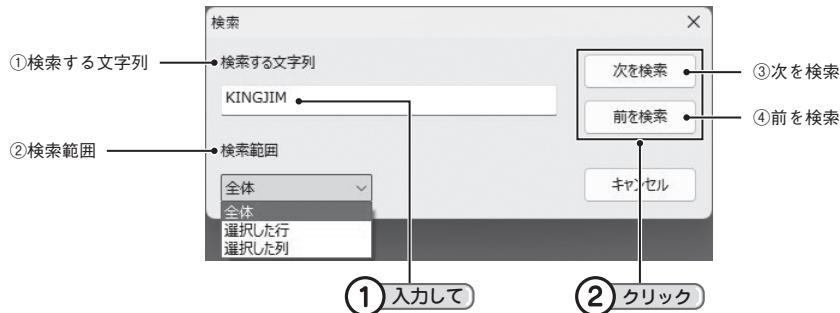
データ設定画面から任意の文字列を含むセルを検索することができます。

① データ設定画面の (検索) を選択する

[検索] 画面が表示されます。



② 検索したい文字列を入力し、[次を検索] または [前を検索] をクリックする



①検索する文字列 : 検索したい文字列を入力します。

②検索範囲

全体

: 選択しているセルを始点に、データ設定画面のシート全体を検索します。

選択した行

: 選択しているセルを始点に、そのセルがある行のみを検索します。

選択した列

: 選択しているセルを始点に、そのセルがある列のみを検索します。

③次を検索

: 選択しているセルの一つ右（下）のセルから右方向（下方向）に検索します。

④前を検索

: 選択しているセルの一つ左（上）のセルから左方向（上方向）に検索します。

!!注意!!

- 一度に検索できる文字列は 1 単語のみです。AND 検索、OR 検索は出来ません。
- 検索機能は大文字、小文字、半角、全角を区別しません。
- 検索条件は部分一致のみです。
- 現在選択しているセルから検索を開始し、検索範囲内を繰り返し検索します。
- 検索範囲内で検索した文字列を含むセルが見つからなかった場合は、アラートが表示されます。



- 「ケーブルラベリング」「PANDUIT」機能でのデータ設定画面では、検索機能は使用できません。

テキスト以外のデータを入力する

データには、住所や名前などのテキスト（文字）だけでなく、イメージやバーコードなどのデータを入力することができます。

テキスト以外のデータを入力するには、列属性を変更する必要があります。

列属性を変更する

変更できる列属性には、以下のものがあります。

 (テキスト) 参照 P.61	文字データを表示できます。	
	データ設定画面	住所や名前などの文字を入力します。
	レイアウト編集画面	データ設定画面で入力した内容を表示します。
 (イメージ) 参照 P.73	画像などのイメージを表示できます。	
	データ設定画面	画像などのイメージデータの保存先を指定します。
	レイアウト編集画面	データ設定画面で指定したイメージを表示します。
 (バーコード) 参照 P.74	バーコード、QRコード、カスタマバーコードを表示できます。	
	データ設定画面	指定したバーコードまたはQRコードの書式で数字や文字列を入力します。
	レイアウト編集画面	データ設定画面で入力したバーコードまたはQRコードを表示します。

MEMO

- 指定できるバーコードやカスタマバーコードの種類はツールボックスで指定するバーコードと同じです。
- カスタマバーコードは 20 桁まで入力可能です。21 桁以上入力されたセルを指定すると、21 桁目以降の数字はカスタマバーコードに反映されません。

- ①** 属性を変更する列をクリックして選択し、[データ] - [列属性]で属性を選択する
変更すると、列の属性アイコンが変わります。
バーコードのときは、バーコードの種類も選択します。



MEMO

[列属性] コマンドは、属性アイコンをクリックしても表示されます。

- ②** 同様の操作で他の列も変更する



イメージファイルを入力する

- ①** 列属性をイメージに変更する

[データ] - [列属性] - [イメージ] を選択します。
参照☞ P.72 「列属性を変更する」

- ②** ファイルを指定する

セルをダブルクリックすると、[イメージファイルの読み込み] 画面が開いてイメージファイルを指定できます。フォルダを切り替えてイメージファイルの保存場所を表示させます。
セル内には、イメージデータの保存先とファイル名が表示されます。



!! 注意 !!

イメージファイルを指定した保存先から移動や削除をおこなうと、反映できなくなります。

バーコード、QRコードを入力する

① 列属性をバーコードに変更する

[データ] - [列属性] - [バーコード] でバーコードの種類を選択します。
参照☞ P.72 「列属性を変更する」

② データを入力する

バーコードの数字を入力します（QRコードの場合は、数字や文字列を入力します）。

レイアウト編集画面に流し込むとバーコードやQRコードに変換されます。

データ設定

F1	012345678901	F	G	A	H	A
1	012345678901					
2	012345678902					
3	012345678903					
4	012345678904					
5	012345678905					
6	012345678906					

MEMO

バーコードの種類により入力できる桁数や文字が異なります。詳細は「バーコードの設定項目」を参照してください。

参照☞ P.103 「バーコードの設定項目」

カスタマバーコードを入力する

① 列属性をカスタマバーコードに変更する

[データ] - [列属性] - [バーコード] で [カスタマバーコード] を選択します。
参照☞ P.72 「列属性を変更する」

② データを入力する

カスタマバーコードの数字を入力します。

レイアウト編集画面に流し込むとカスタマバーコードに変換されます。

カスタマバーコード入力時、郵便番号の一（ハイフン）は入力しないでください。

データ設定

F1	012345678901	F	G	A	H	A
1	012345678901					
2	012345678902					
3	012345678903					
4	012345678904					
5	012345678905					
6	012345678906					

MEMO

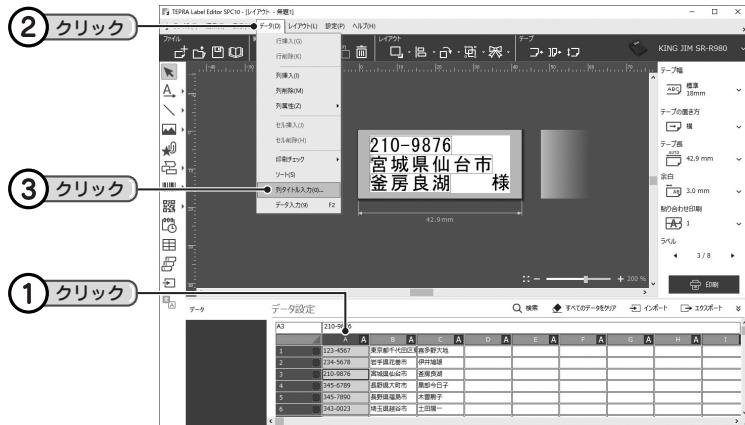
カスタマバーコードの表記方法や住所表示番号については、「カスタマバーコードを挿入する」を参照してください。

参照☞ P.108 「カスタマバーコードを挿入する」

列のタイトルを変更する

分類しやすいように列のタイトルを変更できます。

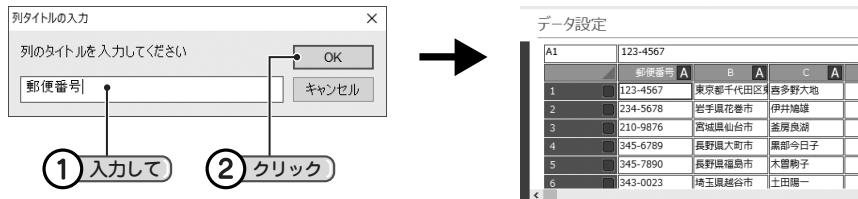
- ① A列をクリックして選択し、[データ] - [列タイトル入力]を選択する
[列タイトルの入力]画面が表示されます。



MEMO

[列タイトルの入力] コマンドは、列を選択した状態で右クリックをしても表示されます。

- ② 列タイトルを入力して [OK] をクリックする
列タイトルが変更されます。



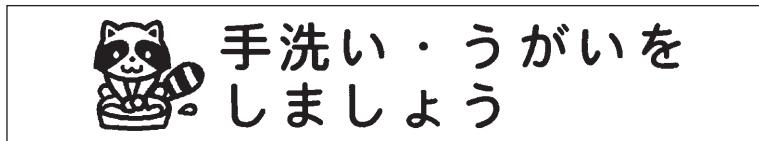
- ③ 同様の操作で B列以降も変更する

●ラベルカタログで作成する

ラベルカタログには、あらかじめデザインされているラベルが用意されており、デザインを選ぶだけで簡単にラベルを作成することができます。

カタログから選んで作成する

例：



- ① [新規 / 開く] 画面の【ラベルカタログ】をクリックする
[ラベルカタログ] 画面が表示されます。



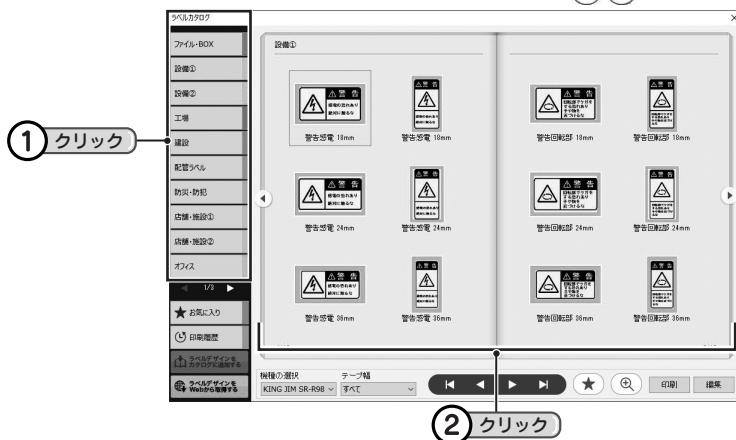
MEMO

[ファイル] – [ラベルカタログ]、またはツールバーの (ラベルカタログ) を選択しても、[ラベルカタログ] 画面が表示されます。

② 目的のラベルデザインを表示し、選択する

左側のカテゴリ一覧のカテゴリ名をクリックすると、そのカテゴリに含まれるラベルのデザインがカタログ上に表示されます。目的のラベルデザインを選択し、印刷、編集、お気に入りへの追加ができます。

各カテゴリに含まれるラベルデザインが複数ページある場合は、(◀) (▶)でページを切り替えます。

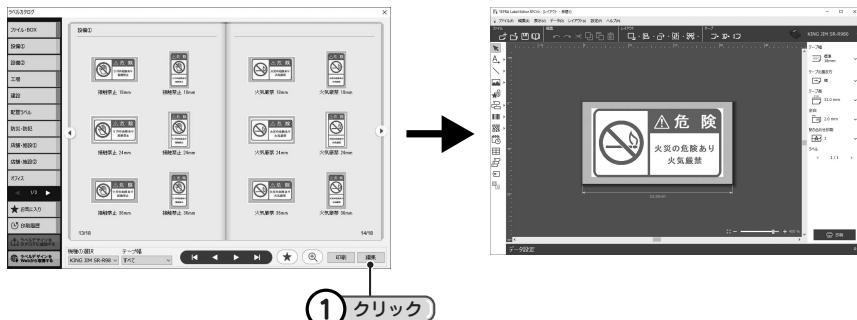


MEMO

- カタログの下のテープ幅リストからテープ幅を指定すると、そのテープ幅で使用できるラベルデザインのみがカタログ上に表示されます。
- (+)(拡大表示)をクリックし、確認したいラベルデザインにカーソルを合わせると拡大表示されます。

③ [編集] をクリックする

選択されたデザインのラベルが、レイアウト編集画面で表示されます。



MEMO

- [印刷]をクリックすると、表示しているラベルデザインのまま印刷できます。
- ラベルデザインにより、使用できるテープ幅が異なります。テープカートリッジを交換するか、レイアウト編集画面でテープ幅に合うようにラベルの内容を変更してください。

次へ進みます →

④ ラベルの内容を変更する

レイアウト編集画面で、読み込んだラベルデザインの文字や記号、イラストなどを変更します。
参照☞ P.28「文字を入力する」

MEMO

- 画面上のイメージに合った印刷結果を得るために、ラベルデザインに表示されるテープ色 / インク色と同じ色のテープカートリッジを「テプラ」本体にセットしてください。
- テープ色 / インク色が設定されているラベルデザインを読み込んだ場合、画面上のテープイメージも変更されます。元に戻す場合はメニューバーの【設定】—【環境設定】から「標準に戻す」をクリックしてください。

ラベルデザインをカタログに追加する

ダウンロードしたラベルデザインを TEPRA Label Editor SPC10 にインポートします。

MEMO

- 用途に特化した豊富なラベルデザインをダウンロードすることができます。詳しくは当社ホームページの「ラベルデザイン」Web ページ (<https://kingjim.jp/labeldesign/>) をご覧ください。
- インポートするファイルは TDL 形式です。
- インポートするラベルデザインは「テプラ」PRO 用と「テプラ」Grand 用があります。使用する「テプラ」本体に合わせてご使用ください。
- Web ページの利用には、インターネットへの接続環境が必要です。インターネットに接続されたパソコンから利用してください。

① ラベルカタログを開き、インポートする場所を選択する

左側のカテゴリー一覧で「追加カタログ」と表示されている箇所にインポートできます。カテゴリー一覧は ▶ ▷ で切り替えます。

ラベルデザインをインポートしたい追加カテゴリを選択してください。



② [ラベルデザインをカタログに追加する] をクリックする

あらかじめ、当社ホームページからラベルデザインをダウンロードしてください。



③ インポートするファイルを指定し [開く] をクリックする

ダウンロードしたラベルデザインを選択してください。

インポートが完了すると、ラベルデザインがTEPRA Label Editor SPC10で使用できるようになります。



お気に入りに登録する

よく使うラベルデザインは、お気に入りに登録しておくと便利です。

1 ラベルカタログを開き、目的のラベルデザインを選択する



2 ★(お気に入り) をクリックする

選択しているラベルデザインの下に★(お気に入り)マークが表示されます。



以降は、左側のカテゴリー一覧の下にある「お気に入り」を選択すると、登録したラベルデザインがカタログ上に一覧で表示され、素早く選択できるようになります。

MEMO

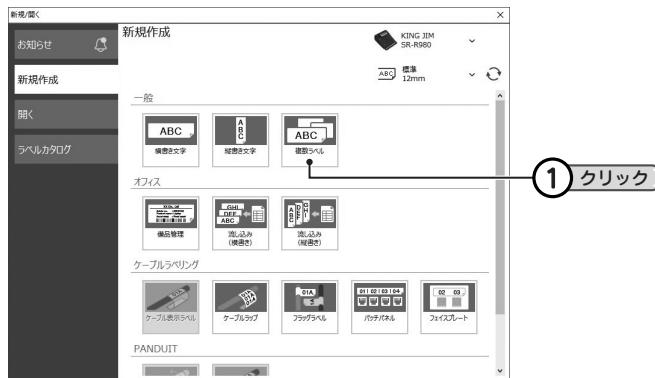
左側のカテゴリー一覧の下にある「印刷履歴」を選択すると、最近印刷したラベルデザインがカタログ上に一覧で表示されます。

●複数ラベルを作成する

長さや印字内容の異なるラベルを複数一度に作成することができます。

① 新規作成画面から【複数ラベル】を選択する

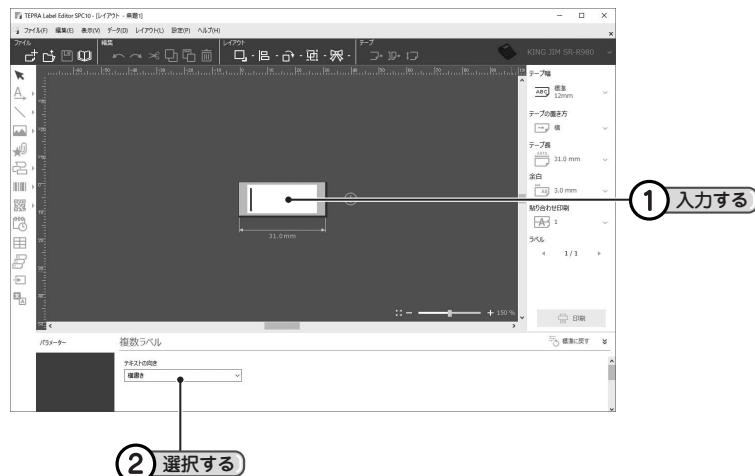
【複数ラベル】画面が表示されます。



② ラベルに印字したいテキストを入力する

印字したいテキストを入力します。

ラベルの縦書き、横書きを変更したい場合はデータ設定画面からテキストの向きを選択します。



次へ進みます

機能

81

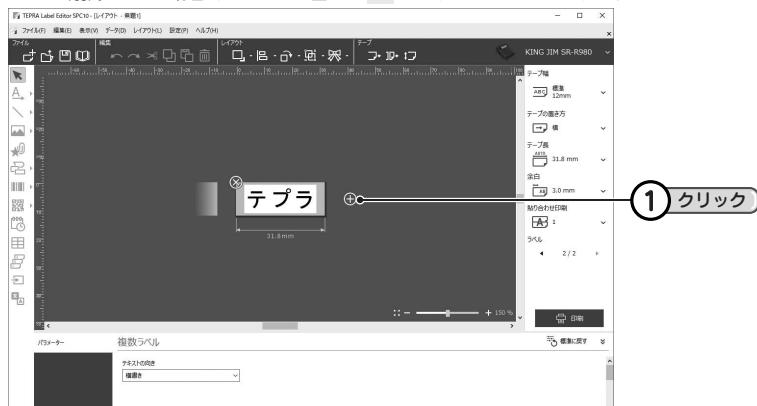
③ ラベル横の \oplus をクリックし、2枚目以降のラベルを作成する

テキスト入力後、 \oplus をクリックすると2枚目のラベル作成画面に移動します。

手順②と同様にテキストを入力します。

3枚目以降も作成したい場合は、再度 \oplus をクリックしてください。

作成したラベルを削除したい場合は、ラベル左上の \times をクリックしてください。



④ [印刷] をクリックし、ラベルを印刷する

MEMO

- 「テキストの向き」は横書き、縦書き1、縦書き2の3種類から選択できます。



横書き



縦書き1



縦書き2

- 「テキストの向き」を変更すると、複数ラベルで作成しているラベルの全ての向きが変更されます。

- 複数ラベルは最大50枚まで作成可能です。

!! 注意 !!

「複数ラベル」ではテキスト入力のみ可能です。外枠や絵文字、イメージの挿入などはできません。

●備品管理ラベルを作成する

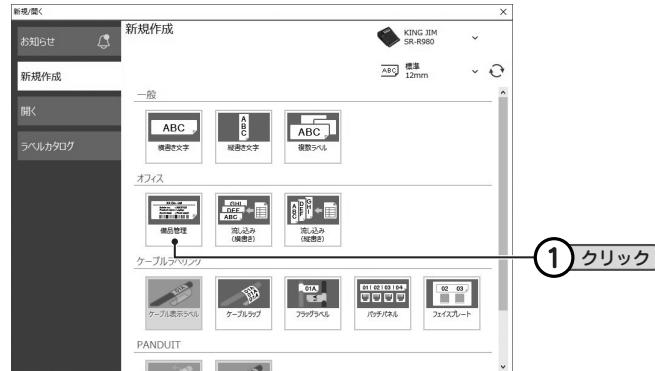
[新規 / 開く] 画面から備品管理ラベル用のデザインを選んで作成することができます。

例 :

資産名	ディスプレイ
管理番号	D 0 1 2 3
購入日	202 X / 8 / 1

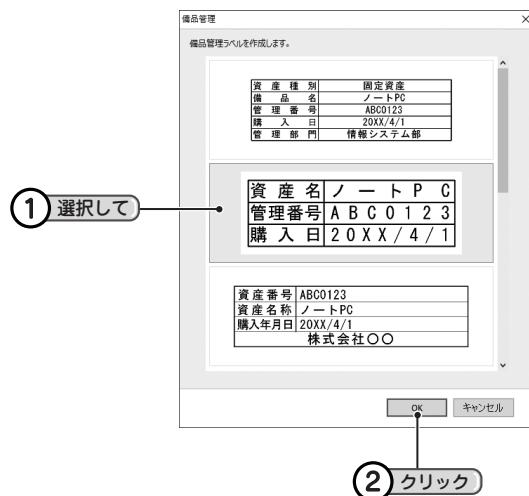
① [新規 / 開く] 画面の [備品管理] をクリックする

[備品管理] 画面が表示されます。



② 目的のデザインを選択し、[OK] をクリックする

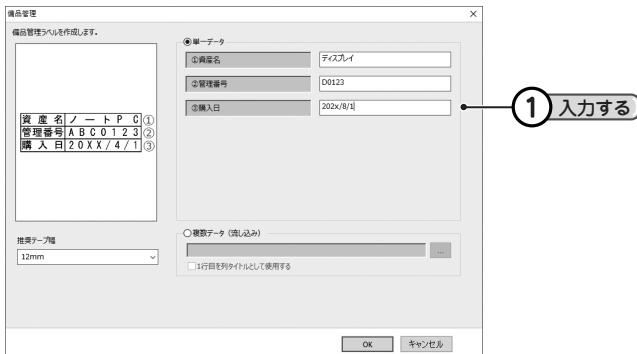
選択したラベルの入力画面が表示されます。



③ テープ幅を選択し、データを入力する

「推奨テープ幅」で作成するラベルのテープ幅を選択します。

左側に表示されたラベルデザインの各項目を、右側に直接入力していきます。



MEMO

流し込みデータがある場合は、「複数データ（流し込み）」を選択して、ファイルの参照先を指定します。

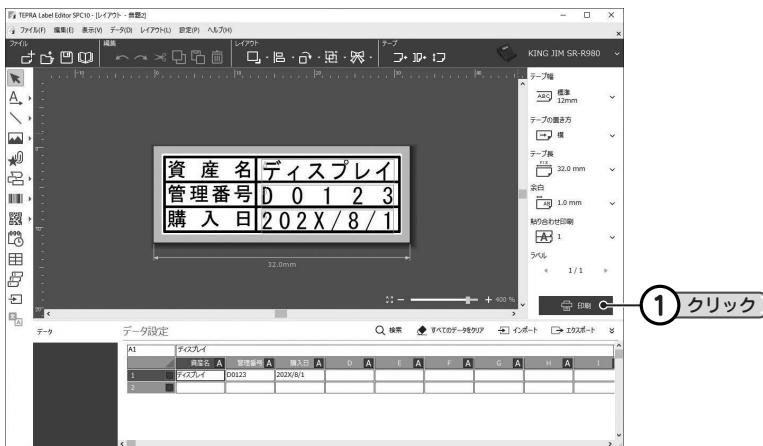
④ [OK] をクリックする

流し込みのデータ設定画面が表示されます。

⑤ ラベルのデザインを確認し、[印刷] をクリックする

[印刷] 画面が表示されます。

データを追加する場合は、データ設定画面で任意のセルに入力します。



MEMO

- 流し込みの編集や印刷などの操作については、「流し込み機能」を参照してください。

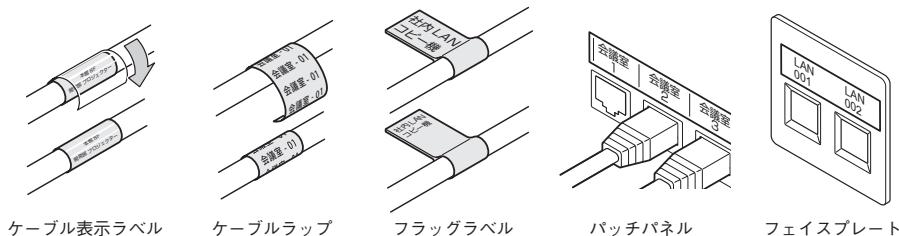
参照☞ P.60 「流し込み操作の流れ」

- ラベルデザインにより推奨テープ幅が異なります。テープカートリッジを交換するか、レイアウト編集画面でテープ幅に合うようにラベルの内容を変更してください。

●ケーブルラベリングをする

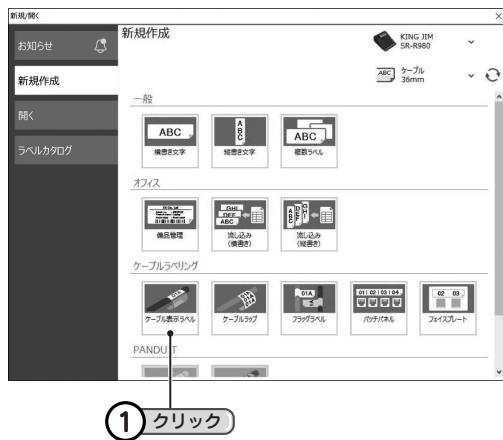
ケーブルやネットワーク配線機器の識別管理ラベルを簡単につくることができます。

「ケーブルラベリング」機能では、以下のラベルが作成できます。



ケーブル表示ラベルを作成する

- ① [新規作成] 画面の【ケーブルラベリング】から【ケーブル表示ラベル】をクリックする
[ケーブル表示ラベル] 画面が表示されます。

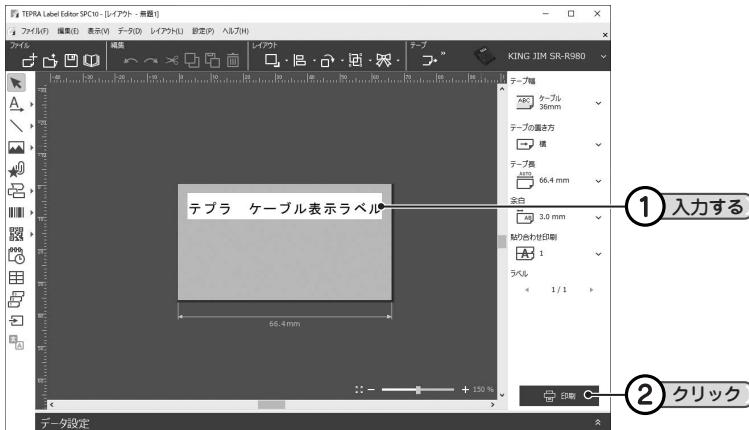


!! 注意 !!

「ケーブル表示ラベル」は、テープ幅で「ケーブル（ケーブル表示ラベル）」を選択しているときのみ表示されます。

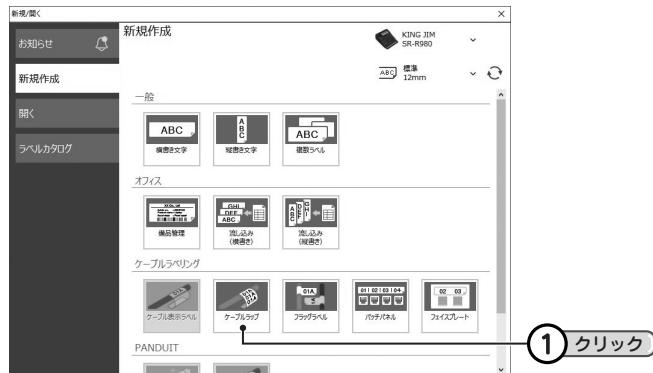
② テキストを入力する

印字したいテキストを入力し、[印刷] をクリックします。



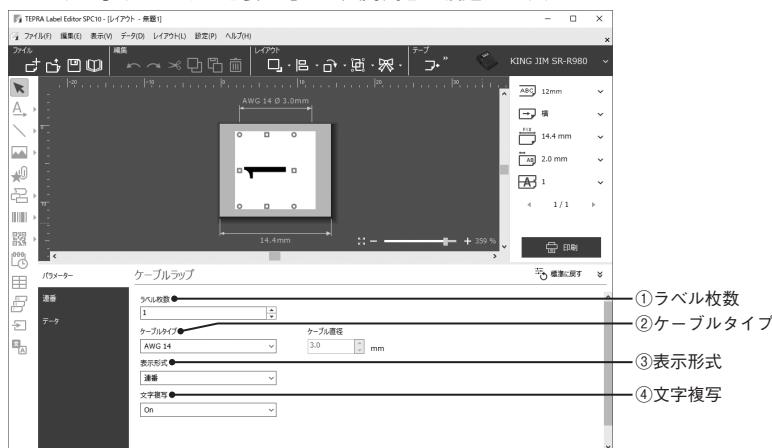
ケーブルラップを作成する

- ① [新規作成] 画面の [ケーブルラベリング] から [ケーブルラップ] をクリックする
[ケーブルラップ] 画面が表示されます。



- ② [パラメーター] タブで必要事項を入力する

[パラメーター] タブから、必要に応じて入力内容を設定します。



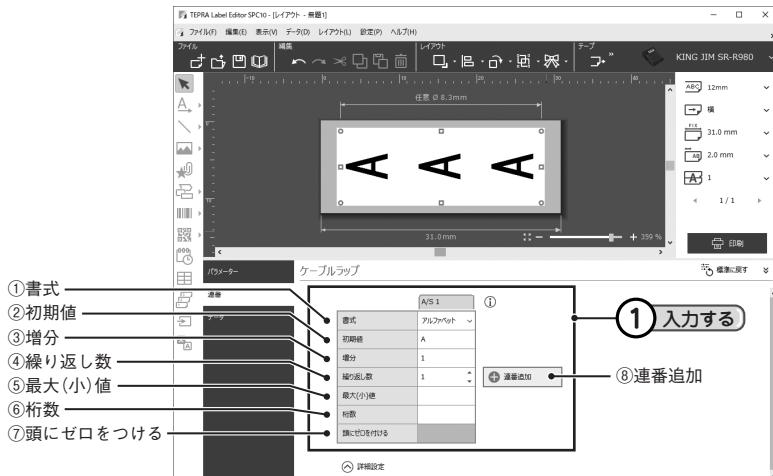
- ①ラベル枚数 : 作成するラベルの枚数を設定します。
- ②ケーブルタイプ : 貼付するケーブルタイプの直径に合わせ、自動でラベル幅を変更します。ケーブル直径を任意の数値で入力したい場合、「任意」を選択します。
- ③表示形式 : 表示形式を「連番」または「テキスト / データ流し込み」のいずれかから設定します。
- 連番 : 連番印刷をしたい場合に便利です。
- テキスト / データ流し込み : データ設定画面に自由にテキストを入力できるほか、Excelなどのファイルからあらかじめ用意されたデータを流し込む場合などにも使用します。

④文字複写

：「On」にすると、入力内容を印刷範囲（白い部分）内に複写します。

●【連番】タブで必要事項を入力する

[パラメーター] タブで表示形式を「連番」に設定した場合、[連番] タブで必要事項を入力します。



①書式

：数字、アルファベット、文字列、改行の4種から、入力したいデータ内容を選択します。

数字 : 入力したい内容が数字のみの場合に選択します。

アルファベット : 入力したい内容がアルファベットの場合に選択します。

文字列 : 任意のテキストを入力したい場合に選択します。

改行 : 改行したい場合に入力します。

②初期値

：「書式」で「数字」を選択した場合はカウントを始める最初の数字、「アルファベット」を選択した場合はカウントを始める最初のアルファベット、「文字列」を選択した場合は任意の文字列を入力します。数字、アルファベットの場合、初期値は9桁、文字列は255文字まで入力可能です。

③増分

：「書式」で数字またはアルファベットを選択していて、かつラベル枚数が2枚以上の場合、印刷するごとに加算される増分を最大5桁までの半角数字で指定します。マイナス値や小数点も指定できます。

※ 例えば増分を「1」にすると、1、2、3……と数字が1ずつ増え、増分を「-2」にすると、1、-1、-3……と数字が2つずつ減ります。

例：「ラベル枚数」2枚、「書式」数字、「初期値」1、

「増分」2で指定した場合



④繰り返し数

：「増分」が設定されていて、かつラベル枚数が2枚以上の場合、増分するまで同じ内容を何枚印刷するかを半角数字で指定します。

例：「ラベル枚数」4枚、「書式」数字、「初期値」1、

「増分」2、「繰り返し数」2で指定した場合



⑤最大(小)値

：連番の最大(小)値を設定します。

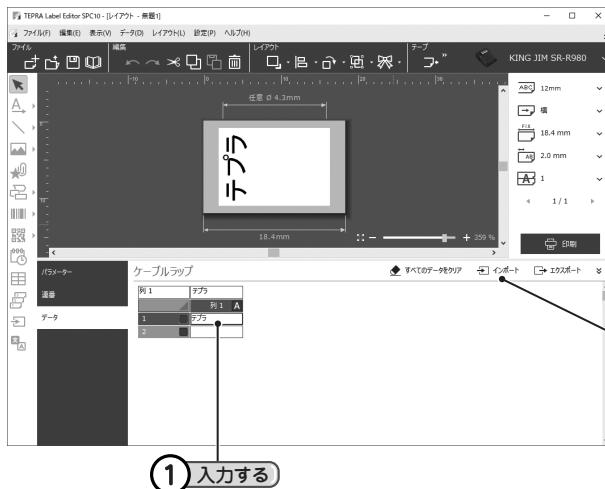
増分が+の場合は最大値、-の場合は最小値を半角数字で指定します。

- ⑥桁数** : 「書式」が数字またはアルファベットの場合、指定した桁数を超えた場合は指定した桁数のみをラベルに表示します。
※2桁に設定した場合、連番を99まで繰り返したあと、100を“00”と表示します。
- ⑦頭にゼロをつける** : 「書式」が数字の場合、頭に0をつけるかどうか設定できます。
※桁数が1のときは頭に0をつけることはできません。
- ⑧連番追加** : ラベルに入力する列数と項目を増やせます。

● [データ] タブで必要事項を入力する

[パラメーター] タブで表示形式を「テキスト / データ流し込み」に設定した場合、[データ] タブでテキストを入力します。

あらかじめ作成されているExcelなどからデータを流し込みたい場合、[インポート] からデータを選択します。



他データから流し込み
印刷したい場合はイン
ポートをクリック

③ [印刷] をクリックする

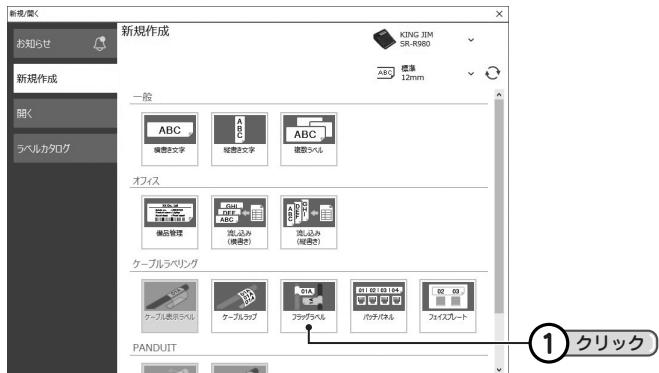
全ての入力が完了したら、[印刷] をクリックし印刷します。

MEMO

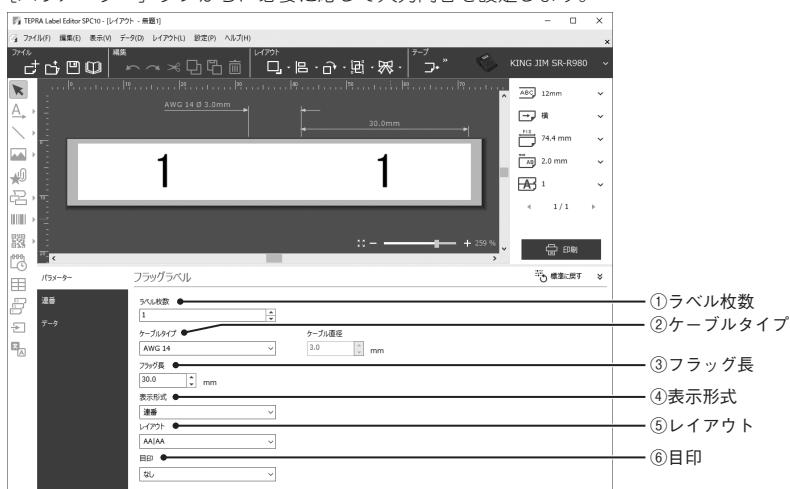
- 2行目に入力した内容はラベルの2枚目に反映されます。
- 「テキスト / データ流し込み」は、列の挿入はできません。
- 「テキスト / データ流し込み」でインポートできる最大行は2,000行までです。

フラッグラベルを作成する

- ❶ [新規作成] 画面の [ケーブルラベリング] から [フラッグラベル] をクリックする
[フラッグラベル] 画面が表示されます。



- ❷ [パラメーター] タブで必要事項を入力する
[パラメーター] タブから、必要に応じて入力内容を設定します。



- ①ラベル枚数 : 作成するラベルの枚数を設定します。2 以上に設定した場合、入力した枚数のラベルを作成します。
- ②ケーブルタイプ : 貼付するケーブルタイプの直径に合わせ、自動でラベル幅を変更します。ケーブル直径を任意の数値で入力したい場合、「任意」を選択します。
- ③フラッグ長 : フラッグの長さを設定します。2.5 ~ 300mm の間で設定可能です。
- ④表示形式 : 表示形式を「選番」または「テキスト / データ流し込み」のいずれかから設定します。表示形式の詳細は、「ケーブルラップを作成する」を参照してください。

参照☞ P.87 「ケーブルラップを作成する」

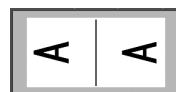
⑤レイアウト : ラベルのレイアウトを 4 種類から選択できます。



AA | AA
右と左に同じ内容を
横向きで印字します



AA | BB
右と左で異なる内容を
横向きで印字します



CC | CC
右と左に同じ内容を
縦向きで印字します



CC | DD
右と左で異なる内容を
縦向きで印字します

⑥目印

: ケーブルに貼付する際の目印を印刷することができます。
「4ヶ所」、「中心線」、「なし」の 3 種類から選択できます。



4ヶ所



中心線



なし

● [連番] タブで必要事項を入力する

[パラメーター] タブで表示形式を「連番」に設定した場合、[連番] タブで必要事項を入力します。各項目の詳細は、「ケーブルラップを作成する」を参照してください。

参照☞ P.87 「ケーブルラップを作成する」

● [データ] タブで必要事項を入力する

[パラメーター] タブで表示形式を「テキスト / データ流し込み」に設定した場合、[データ] タブでテキストを入力します。

あらかじめ作成されている Excel などからデータを流し込みたい場合、[インポート] からデータを選択します。

③ [印刷] をクリックする

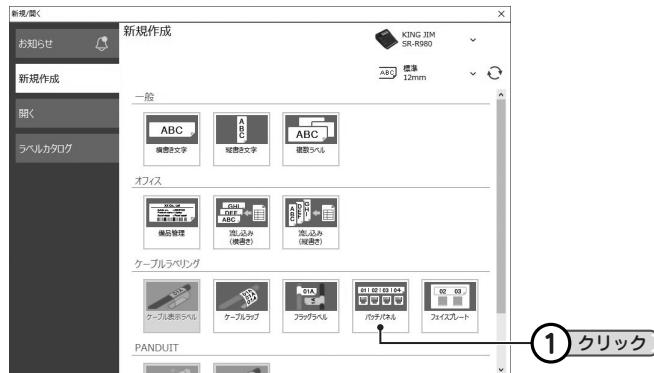
全ての入力が完了したら、[印刷] をクリックし印刷します。

MEMO

「テキスト / データ流し込み」でインポートできる最大行は 2,000 行までです。

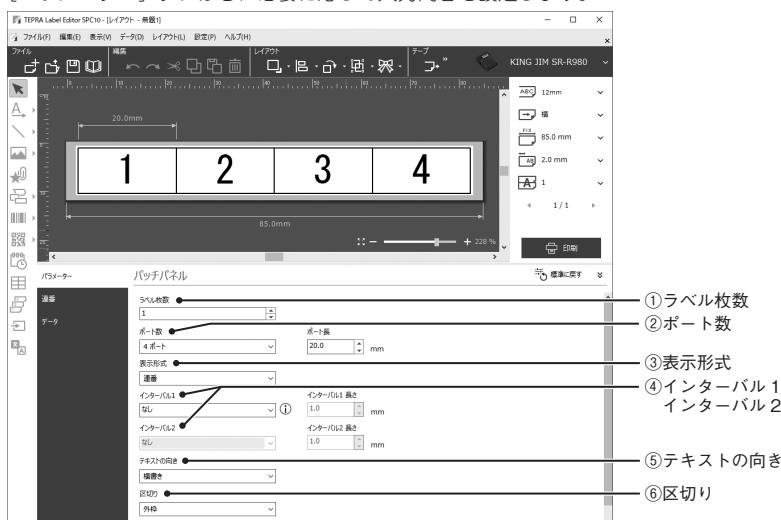
パッチパネルを作成する

- ① [新規作成] 画面の [ケーブルラベリング] から [パッチパネル] をクリックする
[パッチパネル] 画面が表示されます。



- ② [パラメーター] タブで必要事項を入力する

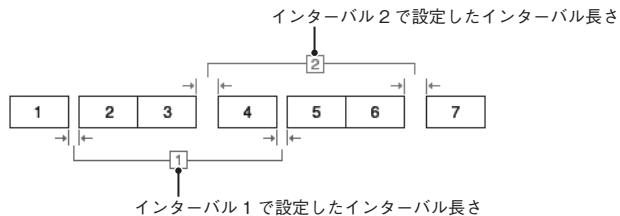
[パラメーター] タブから、必要に応じて入力内容を設定します。



- ① ラベル枚数 : 作成するラベルの枚数を設定します。2 以上に設定した場合、入力した枚数のラベルを作成します。
- ② ポート数 : ポート数を入力します。1 ~ 50 まで入力可能です。
「ポート長」から、ポートの幅を入力できます。(2.5 ~ 300mm まで)
- ③ 表示形式 : 表示形式を「連番」または「テキスト / データ流し込み」のいずれから設定します。表示形式の詳細は、「ケーブルラップを作成する」を参照してください。

参照 P.87 「ケーブルラップを作成する」

- ④インターバル 1 : ポート間隔を広げるときに設定します。
 インターバル 2 「インターバル 1(2)」でインターバル間のポート数を、「インターバル 1(2) 長さ」でポート間隔を入力します。インターバルは最大 2 パターン同時に設定可能です。インターバル 2 を設定した場合、「インターバル 1」と「インターバル 2」が交互に適用されます。



- ⑤テキストの向き : テキストの向きを「横書き」「縦書き 1」「縦書き 2」の 3 種類から選択できます。



横書き

縦書き 1

縦書き 2

- ⑥区切り : ポートの間に区切り線を印字します。「実線」、「4ヶ所」、「点線」、「外枠」、「なし」の 5 種類から選択できます。



●【連番】タブで必要事項を入力する

[パラメーター] タブで表示形式を「連番」に設定した場合、[連番] タブで必要事項を入力します。各項目の詳細は、「ケーブルラップを作成する」を参照してください。

参照☞ P.87 「ケーブルラップを作成する」

●【データ】タブで必要事項を入力する

[パラメーター] タブで表示形式を「テキスト / データ流し込み」に設定した場合、[データ] タブでテキストを入力します。

あらかじめ作成されている Excel などからデータを流し込みたい場合、[インポート] からデータを選択します。

③ [印刷] をクリックする

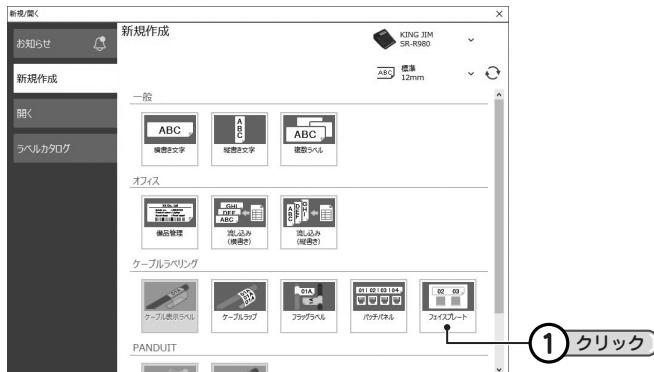
全ての入力が完了したら、[印刷] をクリックし印刷します。

MEMO

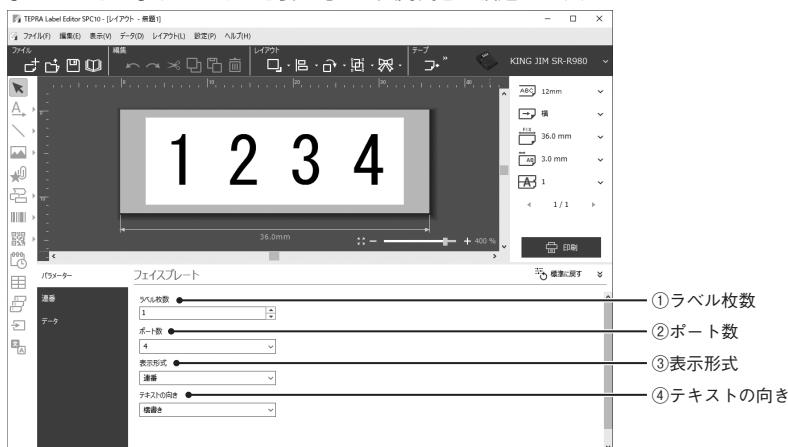
- パッチパネルで作成できるラベルの最大印刷範囲は 1,000mm です。
変更する際は、テープ設定ツールバーのテープ長でおこなってください。
- 「テキスト / データ流し込み」でインポートできる最大行は 2,000 行までです。

フェイスプレートを作成する

- ① [新規作成] 画面の [ケーブルラベリング] から [フェイスプレート] をクリックする
[フェイスプレート] 画面が表示されます。



- ② [パラメーター] タブで必要事項を入力する
[パラメーター] タブから、必要に応じて入力内容を設定します。



- ①ラベル枚数 : 作成するラベルの枚数を設定します。2以上に設定した場合、入力した枚数のラベルを作成します。
- ②ポート数 : ポート数を入力します。1~50まで入力可能です。
- ③表示形式 : 表示形式を「連番」または「テキスト/データ流し込み」のいずれかから設定します。表示形式の詳細は、「ケーブルラップを作成する」を参照してください。
参照 P.87 「ケーブルラップを作成する」

④テキストの向き：テキストの向きを「横書き」「縦書き1」「縦書き2」の3種類から選択できます。



横書き



縦書き1



縦書き2

● [連番] タブで必要事項を入力する

[パラメーター] タブで表示形式を「連番」に設定した場合、[連番] タブで必要事項を入力します。各項目の詳細は、「ケーブルラップを作成する」を参照してください。

参照☞ P.87 「ケーブルラップを作成する」

● [データ] タブで必要事項を入力する

[パラメーター] タブで表示形式を「テキスト / データ流し込み」に設定した場合、[データ] タブでテキストを入力します。

あらかじめ作成されている Excel などからデータを流し込みたい場合、[インポート] からデータを選択します。

③ [印刷] をクリックする

全ての入力が完了したら、[印刷] をクリックし印刷します。

MEMO

- フェイスプレートで作成できるラベルの最大テープ長は 999mm です。
変更する際は、テープ設定ツールバーのテープ長でおこなってください。
- 「テキスト / データ流し込み」でインポートできる最大行は 2,000 行までです。

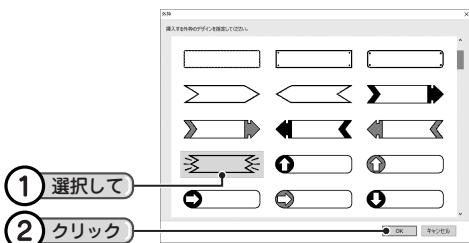
●外枠を挿入する

TEPRA Label Editor SPC10 には、いろいろな外枠があり、一覧から選択して挿入できます。

- ツールボックスの (外枠) をクリックする
[外枠] 画面が表示されます。



- 挿入する外枠を選択し、[OK] をクリックする
外枠がラベル幅いっぱいのサイズで挿入されます。



- サイズや位置を決定する
ハンドルつきで表示されている状態で、サイズや位置を変更できます。
外枠以外の場所をクリックすると、外枠のサイズや位置が確定します。



●イメージファイルを挿入する

市販のアプリケーションで作成したイメージファイル（BMP、WMF、EMF、JPG、TIF、PNG 形式のファイル）を挿入できます。

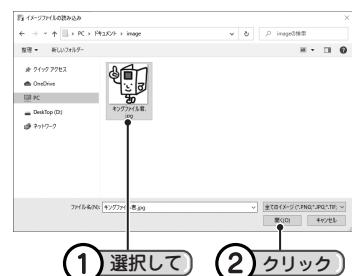
- ① ツールボックスの (イメージ) をクリックする
[イメージファイルの読み込み] 画面が表示されます。



- ② 挿入するイメージファイルを選択し、[開く] をクリックする

[イメージファイルの読み込み] 画面にファイルがない場合は、フォルダを切り替えて読み込む場所を表示させます。

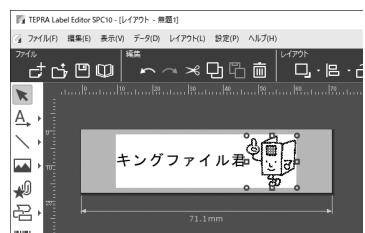
カーソルがイメージの枠になります。



- ③ イメージを挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする

イメージが挿入されます。

イメージは自動的に白黒（2値）の画像に変換されます。



- ④ サイズや位置を決める

ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。

イメージ以外の場所をクリックすると、イメージのサイズや位置が確定します。

MEMO

- 挿入できるイメージファイルは BMP、WMF、EMF、JPG、TIF、PNG 形式のファイルです。ただし、場合によりイメージファイルが挿入できないことがあります。
- イメージをダブルクリックして開く [イメージ] 画面ではイメージファイルの枠などを設定できます。
- 挿入したイメージがカラーデータの場合、自動的に白黒（2値）の画像に変換されます。[イメージ] 画面の [画像調整] タブの「減色方式」で「白黒モード」を選択すると、しきい値を調節することができます。

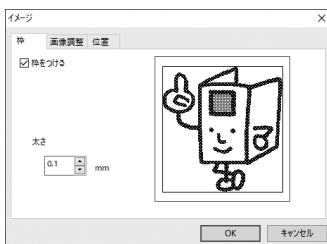
[イメージ] 画面

イメージをダブルクリックすると、[イメージ] 画面が表示されます。

タブをクリックし、それぞれの項目を指定します。指定の結果は、右側のイメージで確認できます。

指定変更後、[OK] をクリックすると指定が反映され、レイアウト編集画面に戻ります。

[枠] タブ



枠をつける イメージに枠をつけるときにチェックします。

太さ 枠の太さを選択します。

[画像調整] タブ



減色方式 イメージファイルがカラーデータの場合に 2 値化（白 / 黒への減色）方法を選択します。

しきい値 カラーデータを近似色減色する場合の白 / 黒の境界値を選択します。（白黒モードのみ選択可）

背景を透過する イメージの背景を透過します。

[位置] タブ



プロックの座標 イメージの左上の位置を指定します。

プロックの大きさ イメージのサイズを指定します。

プロックの回転角 イメージの回転角度を指定します。

●スクリーンキャプチャを挿入する

現在のスクリーンをキャプチャし、画像として挿入することができます。

① ツールボックスの (スクリーンキャプチャ) をクリックする

または、 (イメージ) 横の [▶] から (スクリーンキャプチャ) を選択します。



② キャプチャしたい箇所を選択する

現在のスクリーンからキャプチャしたい箇所をドラッグします。



③ 挿入された画像を調整する

作成中のラベルにキャプチャされた画像が挿入されます。

ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を調整します。

キャプチャイメージ以外の場所をクリックすると、イメージのサイズや位置が確定します。



● 絵文字・記号を挿入する

TEPRA Label Editor SPC10 には、いろいろな絵文字や記号があり、一覧から選択して挿入できます。

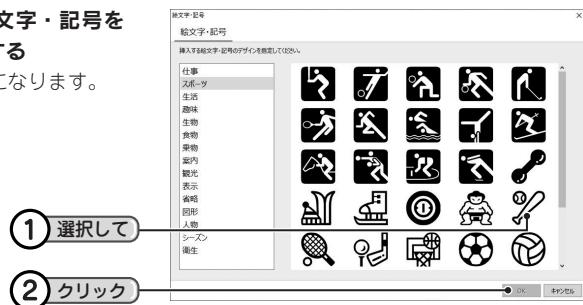
1 ツールボックスの★ (絵文字・記号) をクリックする

[絵文字・記号] 画面が表示されます。



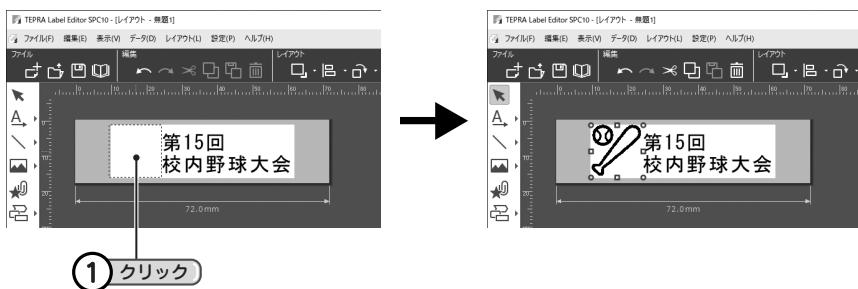
2 各タブの中から挿入する絵文字・記号を選択し、[OK] をクリックする

カーソルが絵文字・記号の枠になります。



3 絵文字・記号を挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする

絵文字・記号が挿入されます。



4 サイズや位置を決める

ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。

絵文字・記号以外の場所をクリックすると、サイズや位置が確定します。

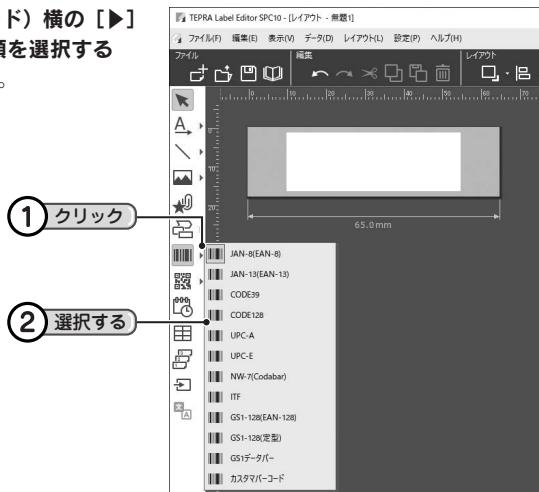
MEMO

- ・絵文字・記号の種類または「テプラ」本体の機種により、挿入した絵文字・記号が、画面表示通りに印刷されない場合があります。
- ・絵文字の背景を透過するには、絵文字をダブルクリック（または右クリックして [プロパティ] を選択）して [絵文字・記号] 画面を表示し、「背景を透過する」チェックボックスをチェックします。

●バーコードを挿入する

数字や文字をバーコードにして印刷できます。

- ① ツールボックスの [] (バーコード) 横の [▶] をクリックし、バーコードの種類を選択する
[バーコード] 画面が表示されます。



- ② コードを入力する
「バーコードオプション」などの項目も指定します。



MEMO

- ・バーコードの種類により設定できる項目が異なります。表示される項目を設定してください。
- ・バーコードの種類により入力できる桁数や文字が異なります。詳細は「バーコードの設定項目」を参照してください。
参照☞ P.103 「バーコードの設定項目」
- ・QRコードの詳細は「QRコードについて」を参照してください。
参照☞ P.107 「QRコードについて」

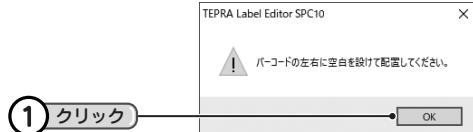
- ③ [OK] をクリックする
マージン確認画面が表示されます。



次へ進みます →
機能 101

④ [OK] をクリックする

カーソルがバーコードの枠になります。

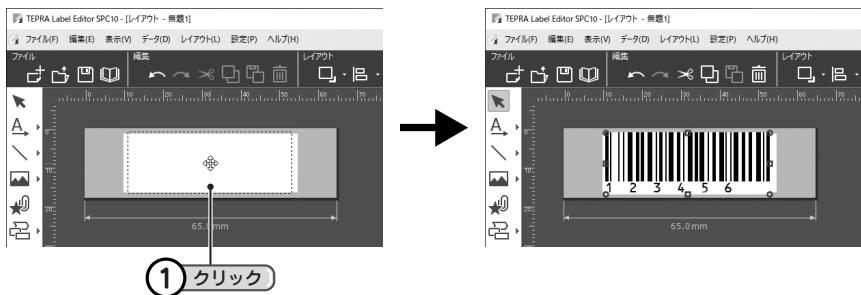


!! 注意 !!

- ・バーコードを挿入するときは、左右に空白（マージン）を確保してください。
QRコード指定時は上下左右の空白（マージン）が必要になります。
- ・印刷時のバーコードの長さは「テプラ」本体によって異なることがあります。

⑤ バーコードを挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする

バーコードが挿入されます。



⑥ サイズや位置を決める

ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。

バーコード以外の場所をクリックすると、バーコードのサイズや位置が確定します。

MEMO

- ・バーコードブロックを小さくしすぎると、空白になったり、となり、バーコードが表示・印刷されなくなります。バーコードが表示される大きさにしてください。
- ・バーコードの数値や種類を変更する場合は、バーコードをダブルクリック（またはバーコードを右クリックして「プロパティ」を選択）して「[バーコード]」画面を表示し、内容を変更します。
- ・印刷したバーコードは、バーコードリーダーで読み取れることを確認してから、ご使用ください。
バーコードリーダーで読み取りやすい白地に黒インクのテープのご使用をおすすめします。
- ・お持ちのバーコードリーダーで読み取れない場合は、「[バーコード]」画面を表示し、設定を変更するなどして再度確認してください。
- ・バーコードを回転したり、縦横の比率を極端に変えたり、サイズを小さくすると、バーコードリーダーで読み取れないことがあります。

バーコードの設定項目

!!注意!!

- ・次表の「テキスト」とは、バーコードの下に表示される数字などを指しています。「テキスト」をラベル上に表示させない場合は、[設定] の「バーコードオプション」で「テキストを表示」を「なし」にしてください。
- ・全バーコードに対し、高さは 0.1 ~ 100cm、細いバーの幅は 0.1 ~ 25mm が指定可能です。ただし、バーコードリーダーでの読み取り保証範囲ではありませんので、バーコードリーダーで正しく読み取れることを確認してからご使用ください。

JAN-8/JAN-13	コード	数字のみ入力可 (チェックデジットは自動計算され付加されます) JAN-8 : 7 枠 / JAN-13 : 12 枠
	テキスト	チェックデジットも出力します
CODE 39	コード	数字・大文字のアルファベットおよび「.」、「_」(スペース)、「\$」、「/」、「+」、「-」、「%」を入力可 最大 128 枠
	比率	2.5 ~ 3.0
	テキスト	チェックデジットの出力を設定できます
CODE 128	コード	数字、英字（大文字、小文字）、記号、特殊コードを入力可 最大 128 枠 特殊コードは下に表示されるリストボックスから選択します 入力すると「#」と表示されます Code A のみに対応します
	テキスト	チェックデジットは付加されますが、テキストには表示されません 特殊コードは入力画面でのみ表示され、テキストには表示されません
UPC-A	コード	数字のみ入力可 11 枠 (チェックデジットは自動計算され付加されます)
	テキスト	チェックデジットも出力します
UPC-E	コード	数字のみ入力可 6 枠 (チェックデジットは自動計算され付加されます)
	テキスト	チェックデジットも出力します
NW-7 (CodaBar)	コード	数字・および「.」「_」「\$」「/」「+」「-」を入力可 最大 126 枠 コード前後には必ず「A」「B」「C」「D」のいずれかを付加
	比率	2.5 ~ 3.0
	テキスト	チェックデジットの出力を設定できます
ITF (Interleaved2of5)	コード	数字のみ入力可 最大 128 枠
	比率	2.5 ~ 3.0
	テキスト	チェックデジットの出力を設定できます
GS1-128(EAN-128)	コード	数字、英字（大文字、小文字）、記号、特殊コードを入力可 最大 128 枠 特殊コードは下に表示されるリストボックスから選択します 入力すると「#」と表示されます Code-A のみに対応します () をエンコードするかどうかを選択できます
	テキスト	チェックデジットは付加されますが、テキストには表示されません 特殊コードは入力画面でのみ表示され、テキストには表示されません () はエンコード有無の選択に関わらずテキストに表示されます
GS1-128 (定型)	コード	数字のみ入力可 44 枠 (チェックデジットは自動計算され付加されます)
	テキスト	チェックデジットは付加されますが、テキストには表示されません

GS1 データバー	コード	オムニディレクショナル、トランケート、スタッツ、スタッツ・オムニディレクショナル、リミテッド：数字のみ 13 行入力可 エクスパンデッド、エクスパンデッド・スタッツ：英数字（半角のみ）、数字最大 73 行、英字最大 40 行入力可
	テキスト	チェックデジットも出力します
カスタマバーコード	コード	半角数字、半角英字（大文字）および「-」を入力可 最大 20 行まで入力可 参照☞ P.108 「カスタマバーコードを挿入する」
	テキスト	表示されません

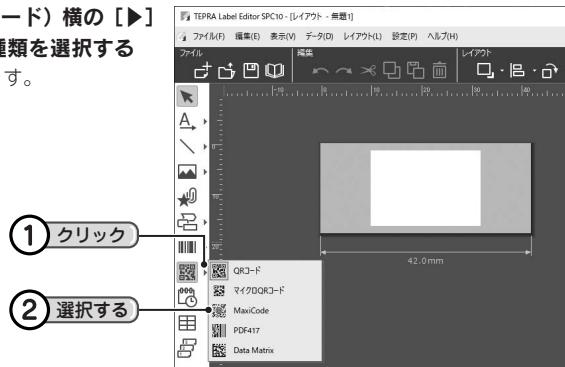
MEMO

- バーコード連番を設定する場合は、ツールボックスから [バーコード] を挿入するとき、または挿入したバーコードをダブルクリックもしくは右クリック [プロパティ] から [バーコード] 画面を表示し [連番] タブをクリックします。
連番を設定したい範囲を選択してください。
連番の各設定項目の詳細な内容は「連番を設定する」を参照してください。
参照☞ P.112 「連番を設定する」
- CODE128 モードのとき、バーコード連番に () を含めて設定することはできません。

QR コードを挿入する

ツールボックスの (QR コード) 横の [▶] をクリックし、QR コードの種類を選択する [バーコード] 画面が表示されます。

- ① ツールボックスの (QR コード) 横の [▶] をクリックし、QR コードの種類を選択する [バーコード] 画面が表示されます。



- ② コードを入力する

QR コードは、テープ幅や設定項目により入力文字数が異なります。詳細は、「QR コードについて」を参照してください。

参照 P.107 「QR コードについて」

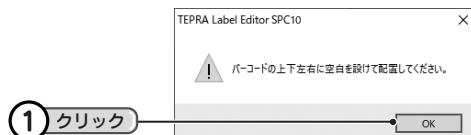


- ③ [OK] をクリックする

マージン確認画面が表示されます。

- ④ [OK] をクリックする

カーソルが QR コードの枠になります。

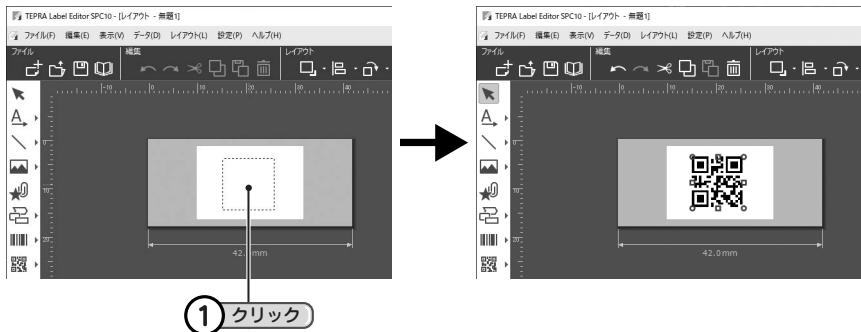


!! 注意 !!

QR コードを挿入するときは、上下左右に空白（マージン）を確保してください。

⑤ QR コードを挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする

QR コードブロックが挿入されます。



⑥ サイズや位置を決める

ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。

QR コードブロック以外の場所をクリックすると、QR コードのサイズや位置が確定します。

MEMO

- QR コードブロックを小さくしすぎると、空白になったり、となり、QR コードが表示・印刷されなくなります。QR コードが表示される大きさにしてください。
- QR コードの設定を変更する場合は、QR コードをダブルクリック（または QR コードブロックを右クリックして [プロパティ] を選択）して内容を変更します。
- 印刷した QR コードは、読み取れることを確認してから、ご使用ください。

QR コードについて

QR コードの場合、設定項目により入力可能文字数が異なります。

QR コードの最大入力可能文字数 :

機種	テープ幅	モデル 1		モデル 2	
		全角	半角	全角	半角
SR-R980/SR970//SR950/SR750/ SR-R7900P/SR5900P/SR3900P	36 / 50	299	692	346	692
SR-R680/SR670/SR550/SR530/ SR5500P/SR3700P/SR3500P	24	177	690	167	652
WR1000	100	299	692	346	692

※ 4mm、6mm テープには QR コードを印刷することができません。

※ 上表は、「誤り訂正レベル = 7%」、「シンボルサイズ=極小」と設定した場合の文字数です。

この文字数は入力可能な文字数であり、読み取りができるることを保証するものではありません。

※ マイクロ QR コードでは、機種・テープ幅によらず、最大入力可能文字数は全角 9 字、半角カナ 15 字、半角英字 21 字（小文字の場合 15 字）、半角数字 35 字です（誤り訂正レベル = 7% の場合）。

※ マイクロ QR コードではモデル 1 / モデル 2 の選択はありません。

MEMO

- 中国語（簡体字）の QR コードを作成するときは、「MBCS ページ番号」を「936 簡体字」に変更してください。
- 次表の QR コードの文字数は、「誤り訂正レベル = 7%」、「シンボルサイズ=極小」と設定した際に印刷範囲内に収まる最大数です。

QR コードの設定項目 :

QR コード / マイクロ QR コード	コード	英数字・記号および漢字 文字数は設定によって異なります
	テキスト	表示されません
MaxiCode	コード	英数字、記号、半角カナ、全角かな、漢字の入力可 最大半角 138 衢 モデル 2～モデル 5(モデル 2,3 のみポストコード、国コード、サービスクラス入力可)
	テキスト	特殊コードは入力画面でのみ表示され、テキストには表示されません
PDF417	コード	モデルは Standard, Truncated, MicroPDF417 が選択可能 英数字、記号、半角カナ、全角かな、漢字の入力可 最大半角 2710 衢
	テキスト	特殊コードは入力画面でのみ表示され、テキストには表示されません
Data Matrix	コード	モデルは ECC200 Square, ECC200 Rectangular が選択可能 英数字、記号、半角カナ、全角かな、漢字の入力可 最大半角 3116 衢
	テキスト	特殊コードは入力画面でのみ表示され、テキストには表示されません

●カスタマバーコードを挿入する

郵便番号と住所表示番号を入力してカスタマバーコードを印刷できます。

カスタマバーコードについて

カスタマバーコードは「郵便番号」+「住所表示番号」で指定します。

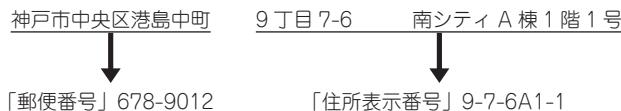
基本的なルールは、町域名までの住所を「郵便番号」で、町域名以降の住所の数値部分を「住所表示番号」で表します。

カスタマバーコードの例

<住所表示が数字のみの場合>



<住所表示にアルファベットがある場合>



例：郵便番号「101-0123」、住所表示番号「11-6-1-601」の場合

- ① ツールボックスの [■■] (バーコード) 横の [▶] をクリックし [カスタマバーコード] を選択する
[カスタマバーコード] 画面が表示されます。



② 郵便番号や住所表示番号を入力する

!! 注意 !!

住所表示番号は、数字、大文字のアルファベット、
-（ハイphen）のみ入力してください。

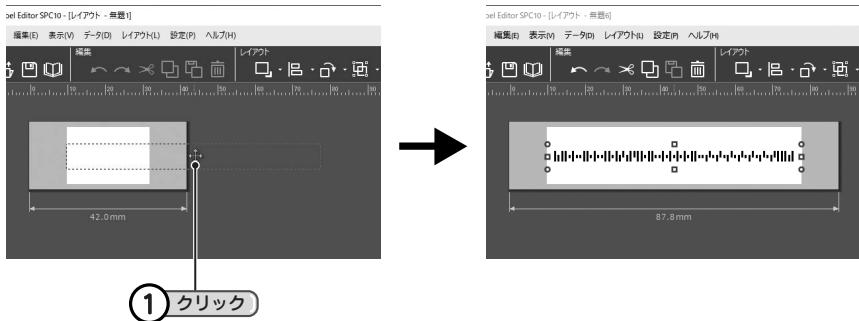


③ [OK] をクリックする

カーソルがカスタマバーコードの枠になります。

④ カスタマバーコードを挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする

カスタマバーコードが挿入されます。



⑤ サイズや位置を決める

ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。

カスタマバーコード以外の場所をクリックすると、カスタマバーコードのサイズや位置が確定します。

MEMO

- カスタマバーコードブロックを小さくしすぎると、空白になったり、となり、カスタマバーコードが表示・印刷されなくなります。カスタマバーコードが表示される大きさにしてください。
- カスタマバーコードの数値を変更する場合は、カスタマバーコードをダブルクリック（またはカスタマバーコードを選択した状態で「[編集] - [プロパティ]」を選択）して「カスタマバーコード」画面を表示し、内容を変更します。
- カスタマバーコードは 20 行まで入力可能です。

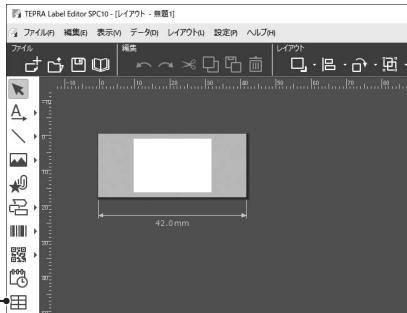
●表組みを挿入する

表組み機能を使うと、カンタンに表組みを挿入することができます。

① ツールボックスの田 (表組み) をクリックする

[表組み] 画面が表示されます。

① クリック



② 内容を指定する

右側の「表組み種別」で表のスタイルを選択し、行数と列数を指定します。

各罫線の種類や太さも変更できます。

表組み種別 表組みのスタイルを指定します。

行数 表の行数を指定します。

1 ~ 20 の範囲で指定します。

列数 表の列数を指定します。

1 ~ 20 の範囲で指定します。

外枠 外枠の太さを指定します。

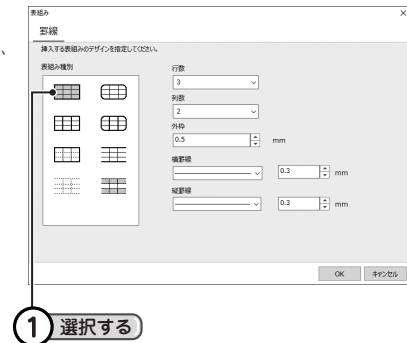
0.1 ~ 5.0 の範囲で指定します。

横罫線 横罫線の種類や太さを指定します。

0.1 ~ 5.0 の範囲で指定します。

縦罫線 縦罫線の種類や太さを指定します。

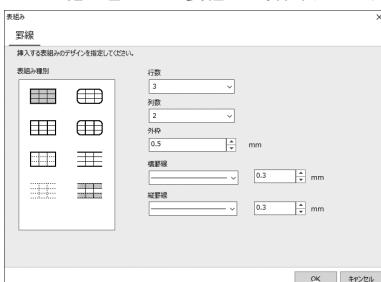
0.1 ~ 5.0 の範囲で指定します。



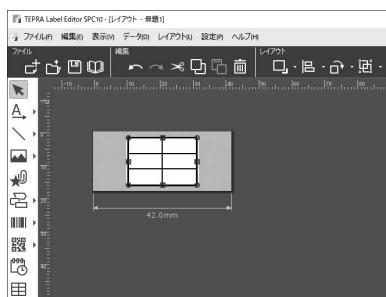
① 選択する

③ [OK] をクリックする

ラベル幅に合わせて表組みが挿入されます。



① クリック



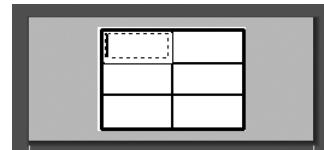
④ サイズや位置を決める

ハンドルつきの状態でサイズや位置を変更できます。

表組み以外の場所をクリックすると、表組みのサイズや位置が確定します。

⑤ 文字を入力する

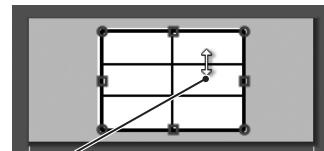
表組み以外の場所をクリックしたあと、各セルの中央をクリックすると、文字カーソルが表示され、文字を入力できます。



罫線編集

表組みをクリックすると、表組みの周囲にハンドルが表示されます。この状態で内側の罫線をクリックしてハンドルつき状態でドラッグすると位置を変更できます。

さらに、内側の罫線をダブルクリックすると【罫線の変更】画面が表示され、罫線の種類や太さを変更できます。



① ドラッグ

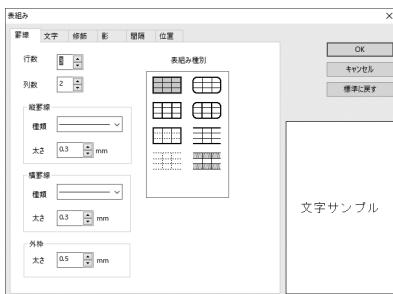


【表組み】画面

表組みを右クリックして【プロパティ】を選ぶと【表組み】画面が表示されます。

タブをクリックし、それぞれの項目を設定します。

設定変更後、[OK] をクリックすると設定が反映され、レイアウト編集画面に戻ります。



各項目の設定は表組み挿入時と同じです。
参照☞ P.110「表組みを挿入する」

MEMO

【文字】、【修飾】、【影】、【間隔】、【位置】の各タブでは、【文字の設定】画面同様、フォントや修飾などの詳細を選択できます。

参照☞ P.42「【文字の設定】画面」

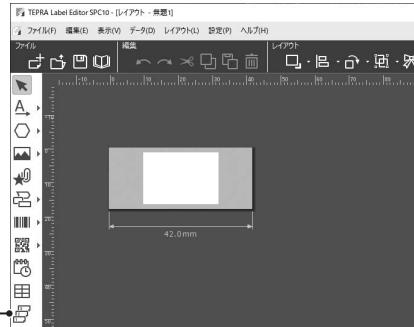
連番を設定する

連番機能で、連続した英数字のラベルを作れます。

例：顧客リスト1、顧客リスト2、顧客リスト3の入ったラベルを連番で印刷する

- 1 ツールボックスの  (連番) をクリックする

[連番] 画面が表示されます。



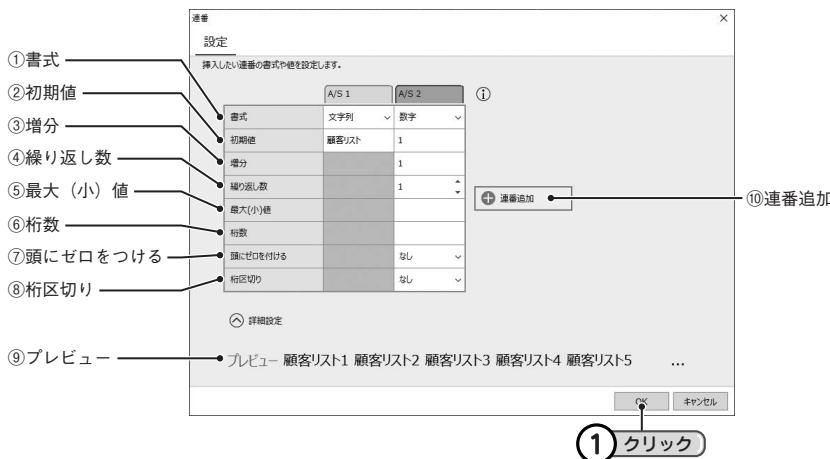
1 クリック

- 2 連番の内容を指定し、[OK] をクリックする

連番設定ウインドウが開いたら、[詳細設定] をクリックします。

例では、A/S1 の「書式」に「文字列」、「初期値」に「顧客リスト」を入力します。

続いて「連番追加」をクリックします。追加された A/S2 の「書式」を「数字」にし、「初期値」「増分」「繰り返し数」をすべて「1」に設定します。



①書式

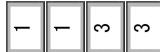
：数字、アルファベット、文字列、改行の4種から、入力したいデータ内容を選択します。

数字 : 入力したい内容が数字のみの場合に選択します。

アルファベット : 入力したい内容がアルファベットの場合に選択します。

文字列 : 任意のテキストを入力したい場合に選択します。

改行 : 改行したい場合に入力します。

- ②初期値** : 「書式」で「数字」を選択した場合はカウントを始める最初の数字、「アルファベット」を選択した場合はカウントを始める最初のアルファベット、「文字列」を選択した場合は任意の文字列を入力します。数字、アルファベットの場合、初期値は9桁、文字列は255文字まで入力可能です。
- ③増分** : 「書式」で数字またはアルファベットを選択していて、かつラベル枚数が2枚以上の場合、印刷するごとに加算される増分を最大5桁までの半角数字で指定します。マイナス値や小数点も指定できます。
※ 例えば増分を「1」にすると、1、2、3……と数字が1ずつ増え、増分を「-2」にすると、1、-1、-3……と数字が2つずつ減ります。
例:「ラベル枚数」2枚、「書式」数字、「初期値」1、「増分」2で指定した場合
- 
- ④繰り返し数** : 「増分」が設定されている場合、かつラベル枚数が2枚以上の場合、増分するまで同じ内容を何枚印刷するかを半角数字で指定します。
例:「ラベル枚数」4枚、「書式」数字、「初期値」1、「増分」2、「繰り返し数」2で指定した場合
- 
- ⑤最大(小)値** : 連番の最大(小)値を設定します。
増分が+の場合は最大値、-の場合は最小値を半角数字で指定します。
- ⑥桁数** : 「書式」が数字またはアルファベットの場合、指定した桁数を超えた場合は指定した桁数のみをラベルに表示します。
※2桁に設定した場合、連番を99まで繰り返したあと、100を“00”と表示します。
- ⑦頭にゼロをつける** : 「書式」が数字の場合、頭に0を付けるかどうか設定できます。
※桁数が1のときは頭に0を付けることはできません。
- ⑧桁区切り** : 「桁数」を4以上に設定したとき、桁区切りの有無を設定します。
- ⑨プレビュー** : 現在の設定のプレビューを表示します。
- ⑩連番追加** : ラベルに入力する列数と項目を増やせます。

MEMO

連番の設定方法について

- 書式の入力内容によって、連番の表示内容を変更することができます。

- 連番の前の桁に「0(ゼロ)」を表示させる場合

(例: 0010)

A/S 1 書式: 数字 初期値: 10 桁数: 4 頭にゼロを付ける: あり

- 連番ラベル内で改行させたい場合、「書式」の「改行」を指定します。

- 2行で表示させる場合

(例: LABEL10

TEPRA100)

A/S 1 書式: 文字列 初期値: LABEL

A/S 2 書式: 数字 初期値: 10

A/S 3 書式: 改行

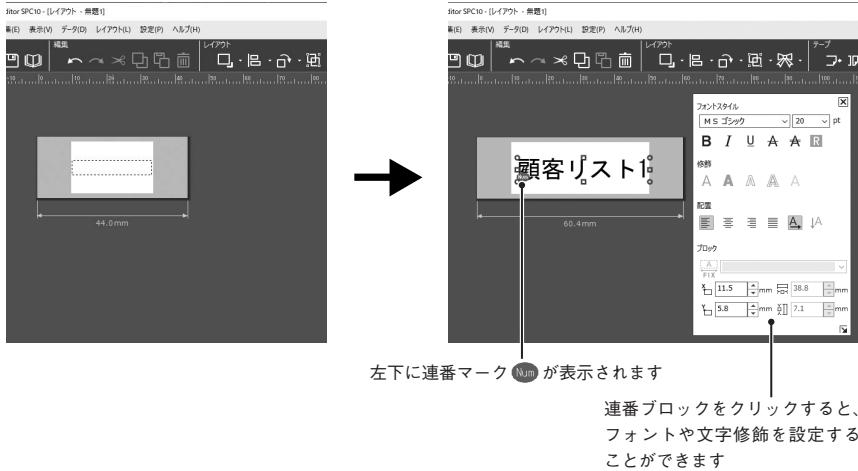
A/S 4 書式: 文字列 初期値: TEPRA

A/S 5 書式: 数字 初期値: 100

③ 連番を挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする

連番プロックが挿入されます。表示される連番の番号は初期値です。

連番設定を変更したい場合、連番プロックをダブルクリックしてプロパティを表示させ、再設定します。



④ サイズや位置を決める

ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。

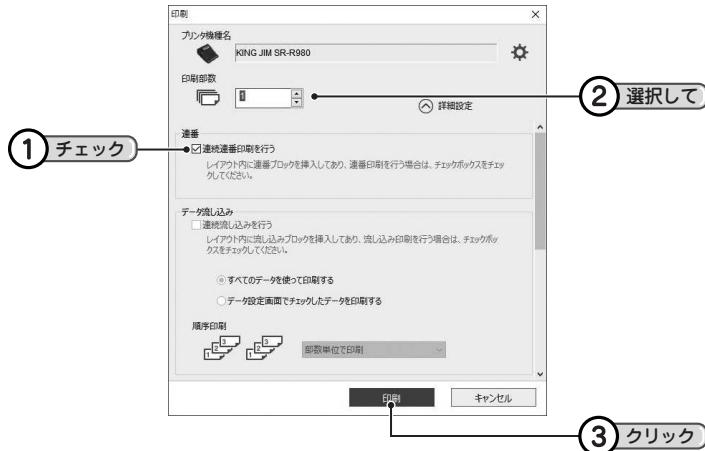
連番以外の場所をクリックすると、連番のサイズや位置が確定します。

⑤ [印刷] をクリックし、連続印刷を指定して印刷する

「連続連番印刷を行う」にチェックマークをつけ、印刷部数を指定します。

「繰り返し数」と「最大（小）値」に従って連番ラベルが枚数分印刷されます。

参照☞ P.33 「印刷する」



MEMO

- 印刷部数は、印刷するラベルの合計枚数を指定します。例えば、増分 1、繰り返し数 1、初期値 1 で印刷部数を 5 に設定すると、1 ~ 5 までの数字の入ったラベルを計 5 枚印刷します。増分 1、繰り返し数 2、初期値 1 で印刷部数を 5 に設定すると、1 の数字が入ったラベル 2 枚、2 の数字が入ったラベル 2 枚、3 の数字が入ったラベル 1 枚の計 5 枚を印刷します。
- 印刷部数が最大（小）値で指定した値を超える場合、初期値に戻って指定された部数まで連番印刷します。

●日付・時刻を挿入する

日付や時刻を入力できます。日付の入ったラベルを作るだけでなく、ファイルを開いたときや印刷するときの日付、時刻を印刷するように設定できますので、製造日などを入れるラベルにも便利です。

1 ツールボックスの (日付・時刻) をクリックする

[日付・時刻の設定] 画面が表示されます。



2 日付や時刻の内容を指定し、[OK] をクリックする

日付と時刻、更新方法を選択します。

設定の結果は、プレビューで確認できます。

MEMO

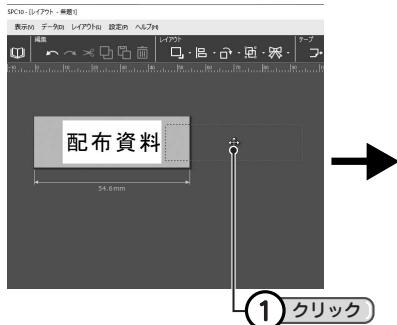
挿入される日付や時刻はパソコンの設定を利用します。



3 日付・時刻を挿入する位置にカーソルを合わせてクリックする

日付・時刻が挿入されます。

日付・時刻ブロックをクリックすると、フォントや文字修飾を設定することができます



4 サイズや位置を決める

ハンドルつきで表示されている状態でサイズや位置を変更できます。

日付・時刻以外の場所をクリックすると、日付・時刻のサイズや位置が確定します。

挿入した日時・時刻をダブルクリックするか、右クリックからプロパティを選択すると、[日付・時刻の設定] 画面が表示され、各タブから日付の更新やフォントなどを設定できます。

●地紋を挿入する

ラベルの背景に、地紋を入れられます。

!!注意!!

地紋は、画面表示の位置と実際の印刷位置が異なる場合があります。

- ツールボックスの (地紋) をクリックする

または、 (外枠) 横の [▶] から (地紋) を選択します。

[地紋選択] 画面が表示されます。

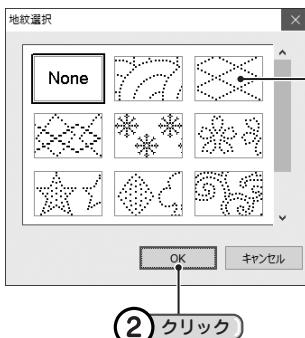
① クリック



- 挿入する地紋を選択し、[OK] をクリックする

ラベルの背景に地紋が挿入されます。

① 選択して



ひな祭り

② クリック

●貼り合わせラベルを印刷する(貼り合わせ印刷)

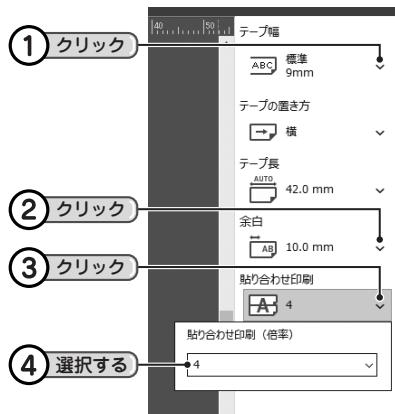
ラベルを貼り合わせて、「テプラ」PROの場合2~8倍、「テプラ」Grandの場合2~4倍の幅のラベルを作ることができます。

貼り合わせラベルを作成する

貼り合わせ印刷をするには、テープ幅の倍率を指定します。

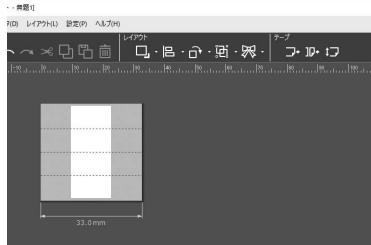
1 テープ設定ツールバーでテープ幅と余白、貼り合わせ倍率を設定する

「貼り合わせ印刷(倍率)」の項目では貼り合わせたい枚数を設定します。



2 ラベルの内容を入力する

設定したラベルの大きさに合わせて文字や記号、イラストなどを入力します。



貼り合わせラベルを印刷する

1 [印刷] をクリックする

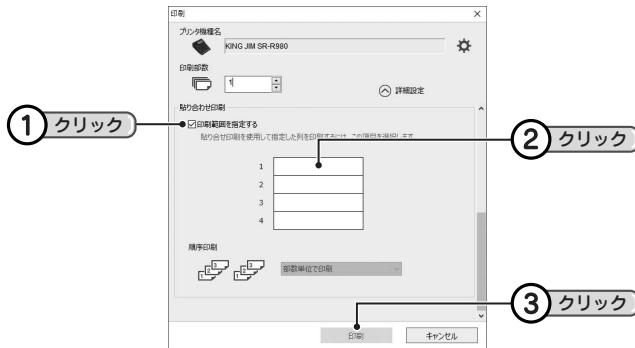
[印刷]画面が表示されます。



② 印刷を指定する

全体を印刷する場合はそのまま【印刷】をクリックします。

ラベルの一部分を印刷する場合は、「印刷範囲を指定する」にチェックマークをつけ、印刷するラベルをクリックして指定します。

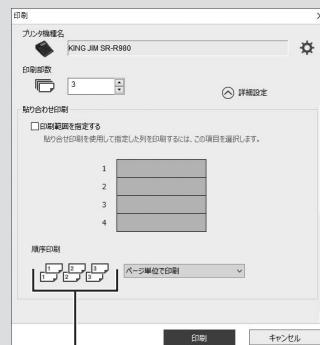


MEMO

- 貼り合わせるラベルそれぞれを、同じ幅の違う色のテープに印刷するとカラフルなラベルを作れます。ただし違う色のテープで印刷をおこなうと、長さが若干異なる場合があります。また、テープカートリッジを入れ換えるときにはテープをセットしたあとに、必ずテープ送りをおこなってください。
- 順序印刷の項目は、貼り合わせラベルの印刷時に「印刷部数」で複数枚数を指定したときに設定できます。「部数単位で印刷」を選択すると、1列目、2列目…とデータ順に印刷します。「ページ単位で印刷」を選択すると、同じ列を指定枚数分続けて印刷してから次の列を印刷します。



部数単位で印刷のとき



ページ単位で印刷のとき

- 「テプラ」PROの場合、貼り合わせるラベルのそれぞれ上下に余白がつきます。上下の余白をカッターなどで切り、貼り合わせてください。「テプラ」Grandの場合、上下に余白はつきません。
- 貼り合わせラベルを貼り合わせたとき、多少のズレが生じることがあります。

りぼん連続印刷をする

指定した長さに、同じ文章を繰り返し印刷するための印刷イメージを作成します。

例：

for you for you for you

- ① 編集中のラベルで文字や图形を入力したあと、ツールバーの（りぼん連続）をクリックする
[りぼん連続] 画面が表示されます。



- ② 内容を指定し、[OK] をクリックする

「りぼんの長さ」で全体の長さを、「デザインの繰り返し」で繰り返すデザインの量を指定します。
設定から繰り返しイメージが自動的に作成されます。



MEMO

- ・りぼん連続印刷は、りぼん以外のテープでも使用できます。
- ・文章の他、記号やイメージなども印刷範囲（白い部分）の内側にレイアウトされているときは、繰り返しイメージに反映されます。
- ・指定できるりぼんの最大長さは3,000mmです。[りぼん連続]で指定できるりぼんの最小長さは「デザインの繰り返し」で指定した内容により異なります。
- ・設定しなおすときは、直後であれば（元に戻す）で繰り返し前の状態に戻すことができます。
ただし、テープ長が「定長」に変更されていますので、テープ長を「自動」に変更してから設定しなおしてください。

●お名前タグ印刷をする

入力した文字や記号を、お名前タグ専用のレイアウトイメージで印刷します。お名前タグ印刷を使うと、別売の「お名前タグメーカー」と「スナップボタン」を使って、オリジナルのお名前タグを作成することができます。

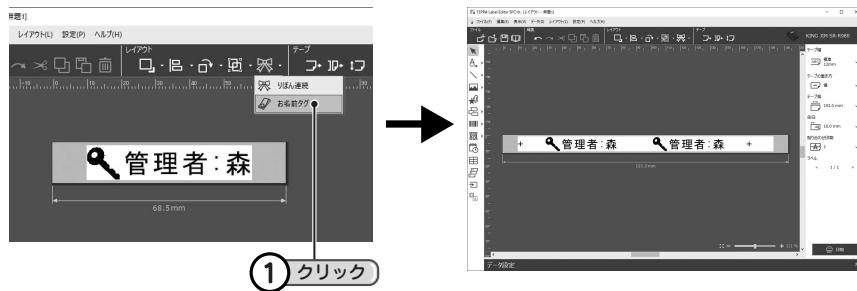
例：



- ① 編集中のラベルで文字や記号を入力したあと、ツールバーの (りぼん) 横の [▼] をクリックし、 (お名前タグ) をクリックする

お名前タグ専用のレイアウトイメージを自動的に作成します。

タグマーク「+」はスナップボタンを取り付ける位置の目安となります。



MEMO

- ・お名前タグ印刷はりぼん専用の印刷機能です。
- ・文章の他、記号やイメージなども印刷範囲（白い部分）の内側にレイアウトされているときは、ラベルイメージに反映されます。
- ・設定し直すときは、直後であれば (元に戻す) で繰り返し前の状態に戻すことができます。ただし、テープ長が「定長」に変更されていますので、テープ長を「自動」に変更してから 設定しなおしてください。

●カットラベル印刷をする

カットラベルに印刷するときは、カットラベルの形状に合わせてラベルを作成してください。

!!注意!!

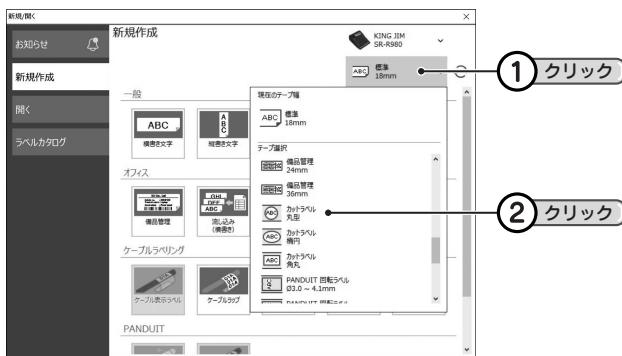
- ・カットラベル印刷機能は、「テプラ」PRO テープカートリッジ・カットラベルに対応しています（対象機種：SR-R980/SR970/SR5900P）。
- 「テプラ」Grand テープカートリッジ・カットラベルには対応していません。
- ・カットラベル・バンドウイットに印刷するときは「カットラベル・バンドウイットに印刷する」を参照してください。
参照☞ P.124 「カットラベル・バンドウイットに印刷する」

① カットラベルに設定する

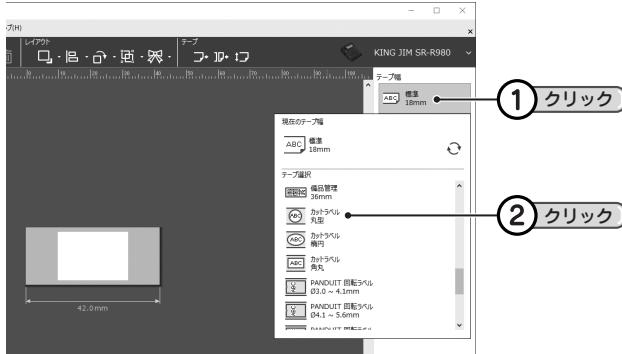
新規に作成するときは、[新規／開く] 画面の「テープ幅」でカットラベルを選択します。

編集中のラベルで設定するときは、右側のテープ設定ツールバーの「テープ幅」でカットラベルを選択します。

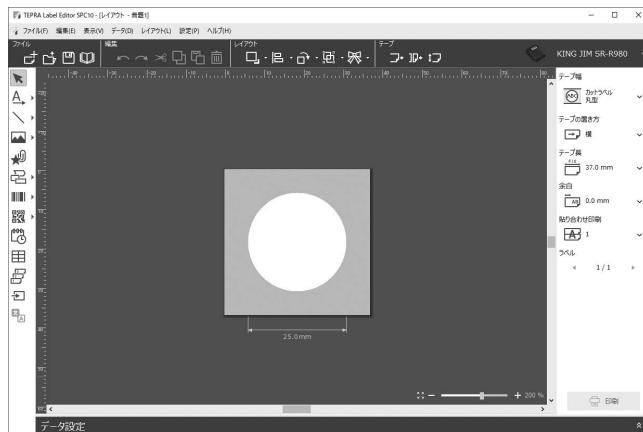
[新規／開く] 画面：



テープ設定ツールバー：



ラベル形状の目安としてラベル範囲（白い部分）が表示されます。

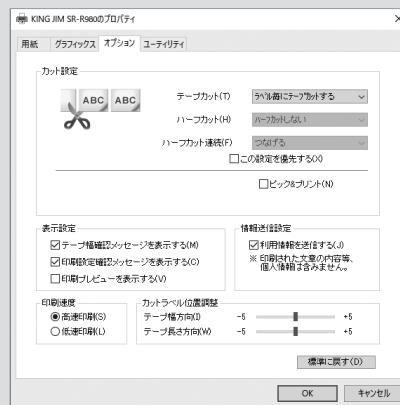


② 文字や図形をレイアウトする

実際の印刷範囲は、ラベル範囲（白い部分）の外側に設けてあり、ラベルの端まで文字や图形をレイアウトし、印刷することができます。

MEMO

- 印刷位置が合わない場合は、テープ設定ツールバーから選択中のプリンタアイコンの設定 をクリックし、プリンタドライバの [オプション] タブの「カットラベル位置調整」を変更してください。
- カットラベルがきれいに印刷できない場合は、プリンタドライバの [オプション] タブの「印刷速度」を「低速印刷」に変更してください。



●カットラベル・パンドウイットに印刷する

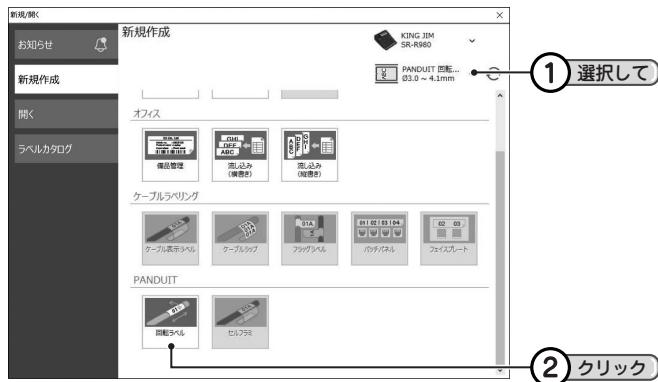
!!注意!!

カットラベル・パンドウイット印刷機能は「テプラ」PRO テープカートリッジ カットラベル・パンドウイットに対応しています（対応機種：SR-R980）。

「テプラ」PRO テープカートリッジ・カットラベル、「テプラ」Grand テープカートリッジ・カットラベルには対応していません。

回転ラベルを作成する

- 【新規作成】画面の【PANDUIT】から「回転ラベル」をクリックする
[回転ラベル] 専用画面が表示されます。

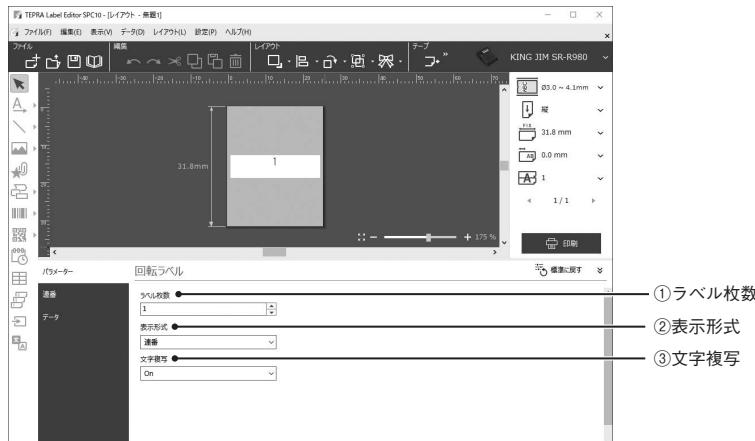


!!注意!!

「回転ラベル」は、テープ設定ツールバーの「テープ幅」で「PANDUIT 回転ラベル」を選択しているときにのみ表示されます。

② [パラメーター] タブで必要事項を入力する

[パラメーター] タブから、必要に応じて入力内容を設定します。



- ① **ラベル枚数** : 作成するラベルの枚数を設定します。2以上に設定した場合、入力した枚数のラベルを作成します。
- ② **表示形式** : 表示形式を「連番」または「テキスト / データ流し込み」のいずれかから設定します。表示形式の詳細は、「ケーブルラップを作成する」を参照してください。
参照☞ P.87 「ケーブルラップを作成する」
- ③ **文字複写** : 「On」にすると、入力内容を印刷範囲（白い部分）内に複写します。

● [連番] タブで必要事項を入力する

[パラメーター] タブで表示形式を「連番」に設定した場合、[連番] タブで必要事項を入力します。各項目の詳細は、「ケーブルラップを作成する」を参照してください。
参照☞ P.87 「ケーブルラップを作成する」

● [データ] タブで必要事項を入力する

[パラメーター] タブで表示形式を「テキスト / データ流し込み」に設定した場合、[データ] タブでテキストを入力します。あらかじめ作成されている Excel などからデータを流し込みたい場合、[インポート] からデータを選択します。

③ [印刷] をクリックする

全ての入力が完了したら、[印刷] をクリックし印刷します。

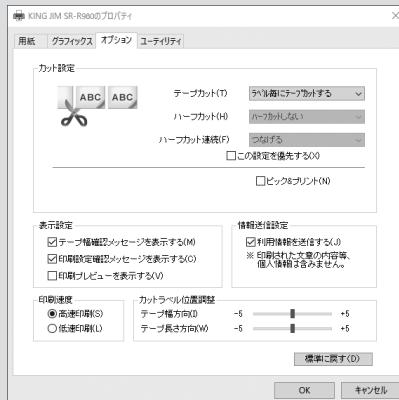
!! 注意 !!

カットラベル・バンドウイット 回転ラベル専用画面では、テープ設定ツールバーからテープ幅を下記のテープに変更することができません。下記のテープに変更したい場合は、新規作成画面から再度テープ幅などを選択してください。

- ・カットラベル・バンドウイット セルフラミネートラベル
- ・24mm インデックスラベル
- ・カットラベル

MEMO

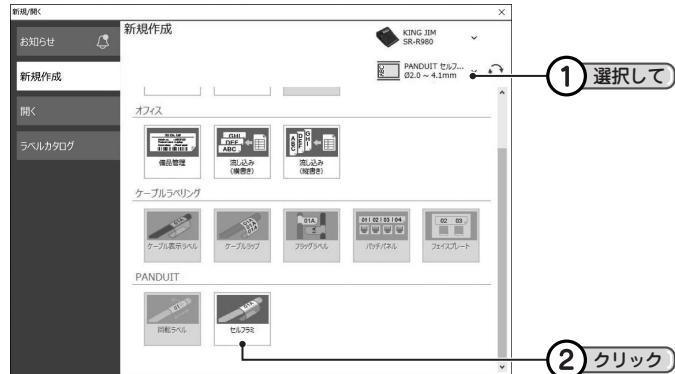
- ・印刷位置が合わない場合は、テープ設定ツールバーから選択中のプリントアイコンの設定  をクリックし、プリントドライバの [オプション] タブの「カットラベル位置調整」を変更してください。
- ・カットラベルがきれいに印刷できない場合は、プリントドライバの [オプション] タブの「印刷速度」を「低速印刷」に変更してください。



- ・「テキスト / データ流し込み」でインポートできる最大行は 2,000 行までです。

セルフラミネートラベルを作成する

- ① [新規作成] 画面の [PANDUIT] から「セルフラミ」をクリックする
[セルフラミ] 専用画面が表示されます。

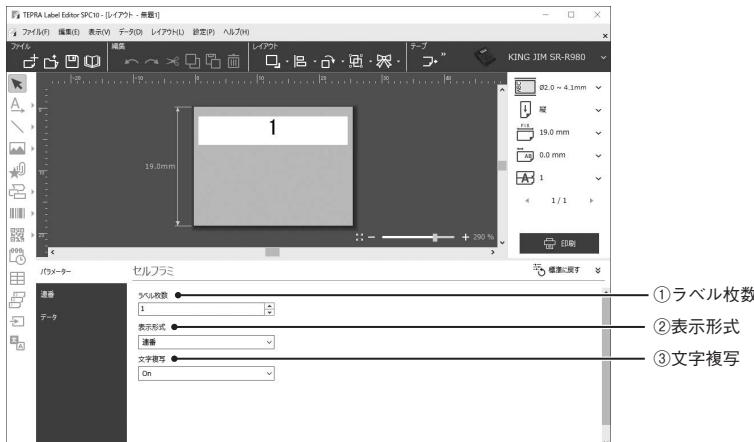


!! 注意 !!

「セルフラミ」は、テープ設定ツールバーの「テープ幅」で「PANDUIT セルフラミ」を選択しているときにのみ表示されます。

- ② [パラメーター] タブで必要事項を入力する

[パラメーター] タブから、必要に応じて入力内容を設定します。



- ①ラベル枚数 : 作成するラベルの枚数を設定します。2以上に設定した場合、入力した枚数のラベルを作成します。

- ②表示形式 : 表示形式を「連番」または「テキスト / データ流し込み」のいずれかから設定します。表示形式の詳細は、「ケーブルラップを作成する」を参照してください。
参照☞ P.87 「ケーブルラップを作成する」
- ③文字複写 : 「On」にすると、ラベル内に余白がある場合に入力項目をラベルいっぱいまで複写します。

● [連番] タブで必要事項を入力する

[パラメーター] タブで表示形式を「連番」に設定した場合、[連番] タブで必要事項を入力します。

各項目の詳細は、「ケーブルラップを作成する」を参照してください。

参照☞ P.87 「ケーブルラップを作成する」

● [データ] タブで必要事項を入力する

[パラメーター] タブで表示形式を「テキスト / データ流し込み」に設定した場合、[データ] タブでテキストを入力します。

あらかじめ作成されている Excel などからデータを流し込みたい場合、[インポート] からデータを選択します。

③ [印刷] をクリックする

全ての入力が完了したら、[印刷] をクリックし印刷します。

!! 注意 !!

カットラベル・バンドウイット セルフラミ専用画面では、テープ設定ツールバーからテープ幅を下記のテープに変更することができません。下記のテープに変更したい場合は、新規作成画面から再度テープ幅などを選択してください。

- ・カットラベル・バンドウイット 回転ラベル
- ・24mm インデックスラベル
- ・カットラベル

MEMO

- 印刷位置が合わない場合は、テープ設定ツールバーから選択中のプリンタアイコンの設定  をクリックし、プリンタドライバの [オプション] タブの「カットラベル位置調整」を変更してください。カットラベルがきれいに印刷できない場合は、プリンタドライバの [オプション] タブの「印刷速度」を「低速印刷」に変更してください。



- 「テキスト / データ流し込み」でインポートできる最大行は 2,000 行までです。

●ハーフカット深さを設定する

ハーフカットの深さを設定します。

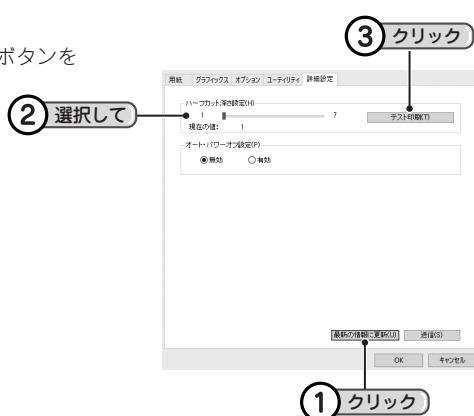
!!注意!!

ハーフカット深さ調整機能は、特定の「テプラ」本体に対応した機能です（対象機種：SR-R7900P）。

対応機種以外の「テプラ」本体には対応していません。

- ① プリンタドライバの【詳細設定】タブを開く**
[最新の情報に更新] ボタンをクリックして「テプラ」本体の設定を読み込みます。

- ② ハーフカット深さを調整する**
ハーフカット深さを設定し、テスト印刷ボタンをクリックします。



- ③ テスト印刷を確認する**
現在の値に応じて異なる深さでハーフカットされた3枚のラベルが印刷されます。
設定しなおすときは、再度手順②の操作をします。

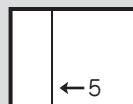
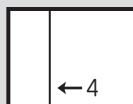
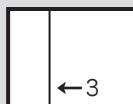
MEMO

テスト印刷について

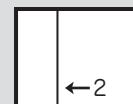
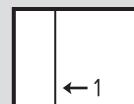
- 【テスト印刷】で印刷されるラベルはそれぞれ【現在の値 -1】、【現在の値】、【現在の値 +1】でハーフカットされます。
- 現在の値が1もしくは7の場合、【現在の値】、【現在の値 +1】もしくは【現在の値 -1】、【現在の値】でハーフカットされた2枚のラベルが印刷されます。
- ハーフカットでラベルが切断された場合は印刷を中止します。調整値を数字が小さい方に下げ、再度ハーフカット深さ調整を実施してください。

例：

現在の値：4の場合



現在の値：1の場合



④ [送信] をクリックする

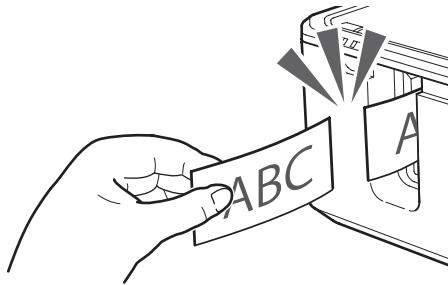
現在の設定値を「テプラ」本体に送信します。

MEMO

変更した設定を「テプラ」本体に反映させるために、必ず [送信] ボタンをクリックしてください。
[送信] ボタンをクリックしないと、変更した設定は「テプラ」本体に反映されません。

●ピック＆プリント印刷をする

ピック＆プリント機能とは、連続印刷時に、ラベルを引き抜くと次のラベルが印刷される機能です。あて名印刷など、貼り間違いが無いように、1枚ずつ順番にラベルを貼りたいシーンで活用できます。

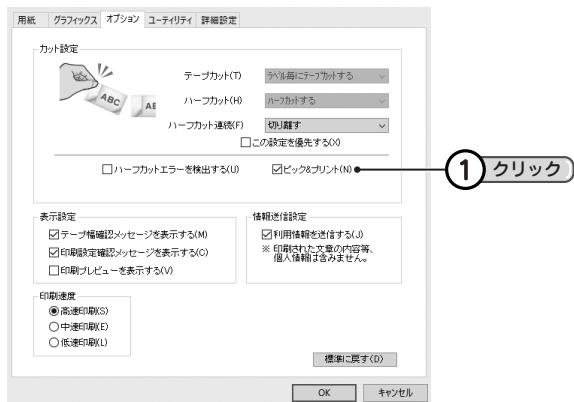


!!注意!!

ピック＆プリントは、特定の「テプラ」本体に対応した機能です（対象機種：SR-R980/SR-R7900P）。

対応機種以外の「テプラ」本体には対応していません。

① プリンタドライバの【オプション】タブを開き、【ピック＆プリント】にチェックを付ける



※画像は SR-R7900P のプリンタドライバ画面です

② 2枚以上のラベルを連続印刷する

ピック＆プリントがおこなわれます。

MEMO

- カット設定が以下のいずれかの場合、ピック＆プリントはおこなわれません。
 - テープカット：印刷 JOB 毎にテープカットする / しない
 - ハーフカット連続：つなげる
- 次の各機種の場合、以下の長さ未満のラベルはピック＆プリント機能に対応していません。
 - SR-R7900P：長さ 33mm 未満
 - SR-R980：長さ 28mm 未満
- 「ハーフカットエラーを検出する」をチェックをした場合、ラベルの長さによってハーフカットしきが長くなる場合があります（対象機種：SR-R7900P）。

●市販のアプリケーションから印刷する

Word や Excel などから印刷する

「テプラ」本体を指定することで、市販のアプリケーション（Word、Excel など）からも印刷することができます。市販のアプリケーションを利用するときは、以下の注意をよくお読みになってご使用ください。

- プリンタ名には必ず現在パソコンと接続している「テプラ」本体の機種名（例：KING JIM SRxxx または WRxxxx）を指定してから、文書を作成してください。
- 印刷前には、必ず「印刷プレビュー」で印刷状態を確認してください。
- プリンタドライバの「プロパティ」画面で、「用紙設定」中の「テープを末端で自動的にカットする」のチェックボックスをはずし、「テープ長」を設定して印刷してください。
- 用紙の設定は、「テプラ」本体にセットしているテープカートリッジのテープ幅に合わせてください。
- ヘッダーやフッターは指定しないでください。また、ページ番号は入れないでください。
- 文字サイズの指定は、テープ幅に合ったポイントになるよう調整するか、拡大率を指定してください。
- 文字数の多い文章はテープの幅に収まらない可能性があります。
- 画像やイラストを印刷するときは、テープ幅に収まるサイズになるよう調整してください。レイアウトがわからないときは、「印刷プレビュー」で状態を確認してください。
- 画像やイラストを「テプラ」本体で印刷すると、白黒の濃淡で表現されるため、濃い色は黒っぽく、薄い色は白っぽく印刷されます。
- グラデーションなどの装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字のツブレが発生することがあります。
- アプリケーションによっては正しく印刷できないものがあります。
- 「テプラ」Grand 宛名ラベルは、市販のアプリケーションではうまく印刷できない場合があります。TEPRA Label Editor SPC10 を使用してラベル作成をおこなってください。

- 幅の狭いテープで余白値を大きくすると、上下の印刷範囲が狭くなり文字が入力できなくなることがありますので、上下余白の設定は、下表を参考にできるだけ余白を小さく設定してください。左右の余白値はお好みで設定してください。

SR-R980

テープ幅	上下余白	左右余白
4mm	0.6mm	3mm
6mm	0.7mm	3mm
9mm	0.9mm	3mm
12mm	1.1mm	3mm
18mm	1.6mm	3mm
24mm	2.1mm	3mm
36mm	2.9mm	3mm

SR970/SR950/SR750/SR5900P/SR3900P

テープ幅	上下余白	左右余白
4mm	0.6mm	3mm
6mm	0.7mm	3mm
9mm	0.9mm	3mm
12mm	1.1mm	3mm
18mm	1.6mm	3mm
24mm	2.1mm	3mm
36mm	4.7mm	3mm

**SR-R680/SR670/SR550/
SR530/SR5500P/SR3700P/SR3500P**

テープ幅	上下余白	左右余白
4mm	0.6mm	10mm
6mm	0.7mm	10mm
9mm	0.9mm	10mm
12mm	1.1mm	10mm
18mm	1.7mm	10mm
24mm	3.1mm	10mm

SR-R7900P

テープ幅	上下余白	左右余白
4mm	0.6mm	3mm
6mm	0.7mm	3mm
9mm	1.1mm	3mm
12mm	1.1mm	3mm
18mm	1.6mm	3mm
24mm	2.1mm	3mm
36mm	2.9mm	3mm
50mm	1.5mm	3mm

- * 上下左右の余白値はテープを横置きにした場合です。
縦置きの場合は「上下余白」が「左右余白」、「左右余白」が「上下余白」となります。
- * 「上下余白」(縦置きの場合は「左右余白」)を表の値より小さくすることはできません。
- * アプリケーションによっては、表の設定で正しく印刷できないものがあります。
- * WR1000 では、上下余白を 4.0mm 以下に設定してください。左右の余白値はお好みで設定してください。

機能

SPC10-API を利用する

当社では、他のアプリケーションから「TEPRA Label Editor SPC10」を呼び出して「テプラ」本体で印刷をおこなう、アプリケーション連携機能「SPC10-API」を公開しています。詳しくは、当社ホームページ (<https://kingjim.jp/spc10-api>) をご覧ください。

MEMO

- 「SPC10-API」をお使いになるには、Windows でのプログラミングの知識、「TEPRA Label Editor SPC10」の操作について充分に理解されている必要があります。
- 外部プログラムの呼び出しがおこなえないアプリケーションソフトからは、お使いになられません。
- プログラミングに関するアドバイスやデバッグなどにつきましては、当社のサポート対象外となります。

●Web ページを利用する

MEMO

- Web ページの利用には、インターネットへの接続環境が必要です。インターネットに接続されたパソコンから利用してください。
- Web ページを利用するための推奨環境については、サイト上の「ご利用にあたって」の項をご覧ください。
- 使用するパソコンには、あらかじめ「テプラ」のプリンタドライバをインストールしておいてください。

キングジムストアを利用する

キングジムストアでは「テプラ」本体をはじめ、テープやオプション品を購入することができます。

- ① メニューバーの【ヘルプ】 - 【□ KINGJIM STOREへのリンク】をクリックする
インターネットブラウザが起動し、キングジムストアの Web ページを表示します。

ラベルデザインをダウンロードする

TEPRA Label Editor SPC10 で使用できるラベルデザインをダウンロードします。

- ① ラベルカタログを開き、ラベルデザインを Web から取得するをクリックする
インターネットブラウザが起動し、ラベルデザインの Web ページを表示します。
参照☞ P.78 「ラベルデザインをカタログに追加する」

お知らせ通知機能を利用する

当社からのおすすめ情報やお知らせをお届けします。

- ① [新規 / 開く] 画面の【お知らせ】タブをクリックする
各お知らせをクリックするとインターネットブラウザが起動し、関連する Web ページを表示します。

新しいお知らせがある場合は
この欄に表示されます



MEMO

- お知らせ通知機能の利用には、インターネットへの接続環境が必要です。インターネットに接続されたパソコンから利用してください。
- Web ページを利用するための推奨環境については、サイト上の「ご利用にあたって」の項をご覧ください。
- お知らせテキストが全文表示されていない場合、カーソルをテキストに重ねると全文が表示されます。
- 新規お知らせがある場合、お知らせアイコン  が  と表示されます。
- お知らせのテキストが「…」で省略されている場合、マウスカーソルを重ねると全文が表示されます。

付録

●テープカートリッジを使いわける

使用するテープ種類に合わせて、下記の通り対応してください。

「テプラ」PRO テープカートリッジ：

	テープ種類	設定方法
オートカッター使用禁止	耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・りぼん	①カッターの刃の磨耗を防ぐため、プリンタドライバの「オプション」タブで「テープカット」を「テープカットしない」に設定して印刷する。②「テプラ」本体からテープカートリッジを取り出す。③カートリッジ側にテープを3mm（りぼんの場合は10mm）程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットする。
ハーフカット禁止	耐熱ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・熱収縮チューブ・ロングテープ・上質紙ラベル・転写テープ・りぼん・クラフトラベル・カットラベル	プリンタドライバの「オプション」タブで「ハーフカット」を「ハーフカットしない」にする。
オートトリマー使用禁止	耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・熱収縮チューブ・上質紙ラベル・マスキングテープ「mt」ラベル・りぼん・カットラベル	「テプラ」本体のオートトリマーにラベルを差し込まない。
印刷濃度の調整が必要	耐熱ラベル・ギフトシール	プリンタドライバの「グラフィックス」タブで印刷濃度を「+3」に設定して印刷する。
	上質紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル	印刷がカスレた場合、プリンタドライバの「グラフィックス」タブで印刷濃度を「+3」に設定して印刷する。
印刷速度の調整が必要 (対象機種： SR-R980/SR970/ SR5900P/ SR-R7900P)	上質紙ラベル・マスキングテープ「mt」ラベル・りぼん・ギフトシール・クラフトラベル・カットラベル(SR-R980、SR970、SR5900Pのみ)	プリンタドライバの「オプション」タブで印刷速度を「低速印刷」に設定して印刷する。
鏡文字の設定が必要	アイロン転写テープ	プリンタドライバの「用紙」タブで「鏡文字印刷」を「する」に設定して印刷する。

テープの種類を自動で識別できる「テプラ」本体では、テープの種類を正しく認識するために、本体ソフトウェアのバージョンは常に最新にしてください。詳しくは当社ホームページでご確認ください。
<https://kingjim.jp/tepra-update/>

「テプラ」Grand テープカートリッジ：

テープ種類	設定方法
Grand テープカートリッジ	Grand インクリボンカートリッジと合わせて使用してください。 「テープ種類」を「通常」に設定し、「テープ色」と「インク色」を使用する色に合わせてください。
Grand カットラベル・宛名	感熱対応テープです。 インクリボンカートリッジを外して使用してください。 「テープ種類」を「カットラベル」に設定し、「テープ色」と「インク色」を使用する色に合わせてください。

テープカートリッジの詳しい使用方法は、テープカートリッジのパッケージおよび同梱されている取扱説明書をご覧ください。

!!注意!!

テープを「テプラ」本体にセットしたら、必ず一度「テープ送り」をしてテープやインクリボンのたるみを取ってください。

MEMO

- アイロンラベル・アイロン転写テープをご使用の際は、アイロンをご用意ください。
- 熱収縮チューブをご使用の際は、工業用ドライヤーをご用意ください。
- マスキングテープ「mt」ラベル、クラフトラベルは素材の性質上、一般的な「テプラ」テープに比べ、印刷がカスレやすくなっています。プリンタドライバの【グラフィックス】タブで印刷濃度を変えることによりカスレ具合の調整は可能ですが、細かな文字や白抜き文字、網掛け印刷などには不向きです。
- マスキングテープ「mt」・ケーブル表示・屋外に強いラベルはヘッド接触部のインクがテープに転写しないよう、印刷時以外は、カートリッジを「テプラ」本体から取り外してください。
- レイアウト編集画面で【ファイル】 - 【プリンタの設定】を選択すると、プリンタドライバの【プロパティ】画面が表示され、【用紙】タブ、【グラフィックス】タブ、【オプション】タブなどで設定内容を変更することができます。
この【プロパティ】から変更したプリンタドライバの設定内容はアプリケーションを終了すると初期設定に戻ります。プリンタドライバの初期設定を変更したい場合は、【コントロールパネル】から開く【デバイスとプリンターの表示】画面で【印刷設定】を開き、設定してください。
- 一部の「テプラ」本体ではテープの種類を自動で識別し、最適な設定で印刷をおこないます（対象機種：SR-R980/SR-R680/SR-R7900P）。現在の印刷設定による印刷では品質を保証できないテープについては、自動的に印刷設定を変更します。
自動変更される設定値の内、鏡文字印刷、カット設定について【プロパティ】画面の「この設定を優先する」にチェックマークをつけることで【プロパティ】で指定した設定内容で印刷をおこなうことができます。

●故障かな？ と思ったら

動作しない、印刷できないなど、問題が発生した場合は、次の項目を確認してください。

印刷を実行しても「テプラ」本体が動作しない

パソコンの画面にエラーメッセージが表示されませんか？

エラーが発生すると印刷できません。エラーメッセージの内容を確認してください。

プリントドライバがインストールされていますか？

プリントドライバがインストールされていないと印刷できません。

プリントドライバをインストールしてください。また、インストール後に、パソコンを再起動しなかった場合、プリントドライバが正常にインストールされていない可能性があります。プリントドライバをインストールしなおしてください。

参照☞P.6 「パソコンにインストールする」

ネットワーク設定や無線 LAN 設定は正しく実行しましたか？

正しい手順でパソコンとの接続をおこなったかどうかを確認してください。

有線 LAN または無線 LAN で接続する手順については、SR-R7900Pは同梱の取扱説明書を、SR5900Pは同梱の「セットアップガイド」を参照してください。

有線 LAN での接続が確立していますか？

LAN ランプの点灯状態で、接続されているかどうかを確認してください（対象機種：SR-R7900P/SR5900P）。

無線 LAN での接続が確立していますか？

「テプラ」本体のランプで、接続されているかどうかを確認してください（対象機種：SR-R7900P/SR5900P）。

Bluetooth® での接続が確立していますか？

テープ情報取得で、接続されているかどうか確認してください（対象機種：SR5500P）。

「テプラ」本体が正しくパソコンに接続されていますか？

パソコンと適切なケーブルで接続されているか確認してください。

参照☞P.16 「パソコンと「テプラ」本体を接続する」

「テプラ」本体が PC リンク状態になっていますか？

「テプラ」本体に PC リンク状態へ切り替えるボタンがある場合は、ボタンを押して PC リンク状態にします。

参照☞P.16 「パソコンと「テプラ」本体を接続する」

正しいプリンタ名が選択されていますか？

他のプリンタを指定していると正しく印刷されません。選択しているプリンタ名を確認してください。

参照☞P.33 「印刷する」

プリンタがオフラインになっていますか？

「テプラ」本体を接続していない状態でパソコンを起動すると、「プリンタの設定」がオフラインになることがあります。接続しても印刷できないときは、以下の方法でオフラインの状態を解除してください。

[デバイスとプリンター] 画面で機種名を右クリックして「印刷ジョブの表示」を選択し、表示される [印刷ジョブ] 画面で [プリンター] - [プリンターをオフラインで使用する] を指定し、チェックをはずしてください。

機能が選択できません

対象範囲を選択していますか？

変更したいプロックを選択してください。

文字がきちんと印刷されない

テープカートリッジは正しくセットされていますか？

テープカートリッジを正しくセットしていないと、きちんと印刷できません。テープカートリッジを取り出し、もう一度手順に従ってセットしてください（「テプラ」Grandの場合は、インクリボンカートリッジについても正しくセットされているか確認してください）。

印刷ヘッドが汚れていませんか？

印刷ヘッドにゴミ、ホコリなどが付着すると文字の一部がカスレることができます。綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。「テプラ」PRO本体の場合は、別売のヘッド・クリーニングテープをご使用いただけます。

途中までしか印刷されない

テープカートリッジの残りがありますか？

新しいテープカートリッジをセットし、もう一度印刷しなおしてください。

テープが終了するなどで印刷が中断していますか？

新しいテープカートリッジをセットし、もう一度印刷しなおしてください。印刷再開を設定する画面が表示された場合は、印刷を再開するかキャンセルするかを選択できます（対象機種：SR-R980/SR970/SR-R680/SR670/SR-R7900P/SR5900P）。

ラベル印刷後、自動カットされない

テープカットを「テープカットしない」に指定していますか？

「テープカット」を「テープカットしない」に設定すると、印刷後の自動カットはおこないません。

プリンタドライバで、設定を確認してください。

カッターの刃が磨耗していませんか？

カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照☞巻末「アフターサービスについて」

特定の「テプラ」本体で印刷していませんか？

一部の「テプラ」本体ではテープの種類を自動で識別し、最適な設定で印刷をおこないます（対象機種：SR-R980/SR-R680/SR-R7900P）。現在の印刷設定による印刷では品質を保証できないテープについては、自動的に印刷設定を変更します。

自動変更される設定値の内、鏡文字印刷、印刷濃度、カット設定については「[プロパティ]」画面の「[用紙]」タブ、「[グラフィック]」タブ、「[オプション]」タブ中の「この設定を優先する」にチェックすることで「[プロパティ]」で指定した設定内容にて印刷をおこなうことができます。

カッターの刃が外れていますか？

（SR-R7900P 専用）

SR-R7900Pではユーザー自身によりカッター刃の交換が可能です。

カッター刃が未セットもしくは印刷中に外れた場合、印刷を中止します。

カッター刃が正しくセットされているかご確認ください。

文字が欠けたり、カスレる

テープカートリッジは正しく装着されていますか？

テープがたるんでいると、文字が欠けたり、カスレたりすることがあります。

テープ送りをして、たるみを取ってください。

印刷位置がおかしい

カットラベルのレイアウトが正しく設定されていますか？

テープ設定で正しいカットラベルを選択してください。正しいラベルを選択しても位置が合わない場合は、プリンタドライバの〔オプション〕タブで「カットラベル位置調整」を変更してください（対象機種：SR-R980/SR970/SR5900P）。

参照☞ P.122 「カットラベル印刷をする」

アプリケーションで正しく設定していますか？

市販のアプリケーションを使用している場合、アプリケーションによっては、余白の設定や印刷位置の調整が必要なことがあります。「印刷プレビュー」機能などで印刷状態を確認してください。

MEMO

上記以外のときや、上記項目を確認しても改善しないときは、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照☞ 巻末「アフターサービスについて」

ハーフカットがうまくできない

「ハーフカットする」になっていますか？

プリンタドライバの〔オプション〕タブでハーフカットを設定してください。

「テープカットしない」になっていますか？

プリンタドライバの〔オプション〕タブで「テープカットしない」になっている場合はハーフカットも動作しません。

ハーフカットの刃が磨耗してませんか？

カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッター刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照☞ 巻末「アフターサービスについて」

特定の「テプラ」本体で印刷していませんか？

一部の「テプラ」本体ではテープの種類を自動で識別し、最適な設定で印刷をおこなっています（対象機種：SR-R980/SR970/SR-R7900P）。現在の印刷設定による印刷では品質を保証できないテープについては、自動的に印刷設定を変更します。

自動変更される設定値の内、鏡文字印刷、印刷濃度、カット設定については〔プロパティ〕画面の〔用紙〕タブ、〔グラフィック〕タブ、〔オプション〕タブ中の「この設定を優先する」にチェックすることで〔プロパティ〕で指定した設定内容にて印刷をおこなうことができます。

ハーフカットの刃が外れていますか？

（SR-R7900P 専用）

SR-R7900Pではユーザー自身によりカッター刃の交換が可能です。

カッター刃が未セットもしくは印刷中に外れた場合、印刷を中止します。

カッター刃が正しくセットされているかご確認ください。

ハーフカット深さ調整をおこなっていますか？

（SR-R7900P 専用）

ハーフカットがきれいにできるように、ハーフカット深さ調整をおこなってください。

調整方法に関しましては、専用工ディタの取扱説明書をご参照ください。

※ macOS または iOS/Android ではハーフカット深さ調整機能をご使用になれませんので、ご注意ください。

索引

英数字

90 度回転	49
Bluetooth® 接続	6
CODE 39 (バーコード)	103
CODE 128 (バーコード)	103
CSV 形式	60、62、66
Data Matrix (バーコード)	107
Excel	62、134
Grand テープカートリッジ	140
GS1-128 定型 (バーコード)	103
GS1-128 (バーコード)	103
GS1 データバー (バーコード)	104
ITF (バーコード)	103
JAN-8/JAN-13 (バーコード)	103
LAN ケーブル	16
Iw1 形式 (TEPRA Label Editor SPC10 ファイル)	22、37
MaxiCode (バーコード)	107
NW-7 (バーコード)	103
PC リンク	16
PDF417 (バーコード)	107
PRO テープカートリッジ	139
QR コード	105、107
データ作成	74
QR コード / マイクロ QR コード (バーコード)	107
SPC9 DRAW3 ファイル	22、37
SPC10 ファイル	22、37
TDL 形式	78
TEPRA Label Editor SPC10	7、18
TEPRA Label Editor SPC10 ファイル	22、37
tpc 形式 (SPC9 DRAW3 ファイル)	22、37
tpe 形式 (SPC10 ファイル)	22、37
TXT 形式	60、62、66
UPC-A (バーコード)	103
UPC-E (バーコード)	103
USB	6、16
USB ケーブル	16
Word	134
XLSM 形式	60、62
XLSX 形式	60、62、66
XLS 形式	60、62、66

あ

アイロン転写テープ	139
アイロンラベル	139
頭にゼロをつける (連番)	89、113
アップデート通知機能	18

アフターサービスについて	卷末
アプリケーション	7、12
淡文字	41
アンインストール	
アプリケーション	12
プリンタドライバ	12
安全上のご注意	1
アンダーライン (下線)	41
位置	43、46、98
～を揃える	51
一番後ろへ	50
一番前へ	50
移動する	
ブロックを～	47
イメージ	98
イメージデータ	
データ作成	73
イメージファイル	97
印刷	
データ流し込み	65
貼り合わせラベル	118
印刷条件	65
印刷速度	139
印刷チェック	61、65
印刷濃度	139
印刷範囲	
～を指定する	119
印刷部数	34、119
印刷ボタン	25
インストール	
アプリケーション	7
プリンタドライバ	10
インターバル (パッチパネル)	93
インポート	62
上揃え	52
上書き保存	37
エクスポート	66
縫文字・記号	100
円弧	45
円 (図形)	32
扇形	45
扇形 (図形)	32
オートカッター	139
オートトリマー	139
お気に入り	80
お知らせ通知機能	136
お名前タグ	121

か	
外国語	56
回転	48
回転角	43、46、98
鏡文字	139
拡大・縮小	25
影	43
重ね順	50
カスタマバーコード	108
データ作成	74
カスタマバーコード（バーコード）	104
下線	41
画像調整	98
カットラベル	122
カットラベル位置調整	123、126、129
カットラベル・バンドウイット	124
カットラベル・バンドウイット回転ラベル	124、128
カットラベル・バンドウイットセルフラミネートラベル	126、127
角丸正方形	45
角丸長方形	45
画面各部の名称	24
間隔	43
環境設定	43、46、61
機種の選択	19、24
起動	18
ギフトシール	139
基本操作	28
行	
～を削除する	67
～を挿入する	67
～を並び換える	69
行間	43
行数	110
行番号	61
共有プリンタ	15
キングジムストア	136
均等割付	41
区切り（パッチパネル）	93
クラフトラベル	139
繰り返し数（連番）	88、113
グループ化	53
グレー文字ラベル	139
形状	45
罫線編集	111
ケーブルタイプ	87、90
ケーブル表示ラベル	85
ケーブルラップ	87
ケーブルラベリング	85
桁区切り（連番）	113
桁数（連番）	89、113
現在の情報を取得	19
減色方式	98
原文	57
更新方法（日付・時刻）	116
コード（バーコード）	101
故障かな？と思ったら	141
コピーする	47
さ	
サイズ	42
最大（小）値（連番）	88、113
削除	54
ソフトウェア（アンインストール）	12
座標	43、46、98
左右中央	52
左右中央揃え	52
四角形（图形）	32
しきい値	98
時刻	116
字体	42
下揃え	52
自動（テープ長）	26
市販のアプリケーション	134
地紋	117
斜体	41
修飾	42
住所表示番号	108
自由線（图形）	32
終了	
TEPRA Label Editor SPC10 を～	23
順序印刷（流し込み）	65
順序印刷（貼り合わせ印刷）	65、119
上下中央	52
上下中央揃え	51、52
条件（パソコン）	6
上質紙ラベル	139
初期値（連番）	88、113
書式（連番）	88、112
書体を変更する	38
白黒反転	41
白黒反転する	42
白抜き	41
新規作成	19
データ作成	61
新規作成（一般）	19
新規作成（オフィス）	19
新規作成（ケーブルラベリング）	19
新規作成（PANDUIT）	19
新規 / 開く	19
垂直等間隔	52

垂直反転	49	～を入力する	63
水平等間隔	52	～を保存	66
水平反転	49	データ設定	25、30
スクリーンキャプチャ	99	データ設定画面	60、61
図形		データ読み込み	62
～の編集	44	テープカートリッジを使いわける	139
～を描画する	32	テープ設定	26
図形設定画面	44	テープ設定ツールバー	25、26
図形の設定	45	テープ長	26
図形の塗りつぶし	45	テープの置き方	26
図形ボタン	32	テープの先端	52
スタイル	42	テープの末端	52
スナップボタン	121	テープ幅	19、26、118、122
すべてを保存する	66	テープ幅確認	34
正多角形	45	テープ幅確認メッセージを表示する	35
正多角形（図形）	32	テープ幅設定値	35
接続	16	テキスト	
セットアップ	5	～以外のデータ	72
セル	61	～データ	72
～を削除する	68	テキスト設定画面	38、41
～を挿入する	68	テキストの向き	93、95
線	45	テキストブロック	28
線の種類	45	テキストボックス固定長	39、41、42
線の太さ	45	テキストボックス自動長	39、41、42
前面に移動	50	テスト印刷	130
装飾	41	転写テープ	139
装飾を指定する	41	取り消し線	41
装着テープ幅	35		
増分（連番）	88、113		
ソート	69		
外枠	96、110		
揃える（位置）	51		

た

タイトルバー	24
耐熱ラベル	139
縦書き	40、41
縦罫線	110
中央合わせ	41
直線（図形）	32
ツールバー	24
ツールボタン（図形）	32
ツールボックス	25
定長（テープ長）	26
データ	67
～作成と流し込み	60
～設定画面	60、61
～流し込み	64
～のみ保存する	66
～を検索する	70

～を入力する	63
～を保存	66
データ設定	25、30
データ設定画面	60、61
データ読み込み	62
テープカートリッジを使いわける	139
テープ設定	26
テープ設定ツールバー	25、26
テープ長	26
テープの置き方	26
テープの先端	52
テープの末端	52
テープ幅	19、26、118、122
テープ幅確認	34
テープ幅確認メッセージを表示する	35
テープ幅設定値	35
テキスト	
～以外のデータ	72
～データ	72
テキスト設定画面	38、41
テキストの向き	93、95
テキストブロック	28
テキストボックス固定長	39、41、42
テキストボックス自動長	39、41、42
テスト印刷	130
転写テープ	139
取り消し線	41

な

流し込み	60
流し込み印刷	65
流し込み枠	64
名前を付けて保存	37
並び（ソート）	69
二重取り消し線	41
入力ボックス	61
入力（文字）	28
任意角度	48
塗りつぶし	42、45
熱収縮チューブ	139
ネットワーク管理者	11
ネットワーク設定確認ツール	7、9

は

バーコード	101
データ作成	74
バーコードオプション	101
ハーフカット	139
ハーフカット深さ	130
背景	117

背景を透過する	98	文書を保存	37
配置	51	ページ単位で印刷	119
背面に移動	50	ページ単位で印刷（流し込み）	65
パスを閉じる	45	ベースライン	43
パソコン		ベジエ曲線（図形）	32
～の条件	6	ポート数	92、94
～の接続	16	保存	37
パッチパネル	92	翻訳	56
貼り合わせ印刷	26、118		
貼り付け	48		
反転	49		
ハンドル	28		
左揃え	52		
左寄せ	41		
ピック＆プリント	132		
日付	116		
備品管理	83		
描画（図形）	32		
表組み	110、111		
表組み種別	110		
表示形式	87、90、92、94、125、128		
テキスト／データ流し込み	87		
連番	87		
開く	19		
開く（ファイル）	21		
ファイルを開く	21		
フェイスプレート	94		
フォント	42		
フォントスタイル	38		
複写する	47		
部数単位で印刷	119		
部数単位で印刷（流し込み）	65		
縁強調	41		
縁取り	41		
フチなし	20、27、36		
太さ	42、98		
太字	41		
フラッグ長（フラッグラベル）	90		
フラッグラベル	90		
プリンタ機種	34		
プリンタドライバ	7、12、139		
プリンタプロパティ	34、140		
プレビュー（連番）	113		
プロックの大きさ	41、43、46、98		
プロックの回転角	43、46、98		
プロックの座標	41、43、46、98		
プロックを編集する	47		
プロパティ（プリンタ）	34、140		
プロパティ（文字の設定）	42		

ま

マーカー	45
マグネットテープ	139
マスキングテープ「mt」ラベル	139
右揃え	52
右寄せ	41
無線 LAN	6、16
目印（フラッグラベル）	91
メニューバー	24
文字	42
～サイズを変更する	39
～の編集	38
～を入力する	28
文字間	43
文字の設定	42
文字の輪郭	42
文字複写	88、125、128
元に戻す	42

や

訳文	57
有線 LAN	6、16
優先順位（ソート）	69
郵便番号	108
弓形	45
横書き	41
横罫線	110
余白	26

ら

ラベル	26
ラベルカタログ	19、76
ラベルデザインのダウンロード	136
ラベルデザインをカタログに追加する	78
ラベル範囲	123
ラベル枚数	87、90、92、94、125、127
りぼん	139
りぼんの長さ	120
りぼん連続	120
履歴	22
レイアウト（フラッグラベル）	91

レイアウト編集画面	25、60、61
列	
～属性を変更する	72
～タイトル入力	75
～のタイトルを変更する	75
～を削除する	67
～を挿入する	67
列数	110
列属性	61
列タイトル	61、64
連続印刷	114
連続直線（図形）	32
連続流し込みを行う	65
連番	112
連番追加（連番）	89、113
ロック	53
ロングテープ	139
わ	
枠	42、98
枠をつける	98

わ

枠	42、98
枠をつける	98

●アフターサービスについて

■保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめの上、販売店よりお受け取りください。保証書と保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本体およびご使用中のACアダプタ・テープカートリッジなど一式と保証書をお買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。商品をお買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店までお持ちください。

■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

お客様相談室 ☎ 0120-79-8107

携帯電話からの場合 0570-06-4759 (通話料お客様負担)

■最新情報については

「テプラ」に関する最新の情報は、当社のホームページをご覧ください。
ホームページアドレス <https://www.kingjim.co.jp/>

TEPRA Label Editor SPC10

取扱説明書

お客様相談室 ☎ 0120-79-8107

携帯電話からの場合 0570-06-4759 (通話料お客様負担)

株式会社 キングジム

東京都千代田区東神田二丁目10番18号 〒101-0031
<https://www. kingjim.co.jp/>